

2018 年 4 月分新聞書評

**47 都道府県の偏差値(小学館新書 317)**

久保 哲朗 著

小学館

47 都道府県の統計データを人口当りに換算し偏差値化した統計エンタメ本。「コンビニの数は北海道が圧勝」「最もすし好きなのは栃木県民」など、身近な生活や社会に関するデータを厳選して 100 以上紹介する。

2018:2./ 222p

978-4-09-825317-3

本体 ¥780+税



産経新聞 2018/04/01

**北朝鮮核の資金源～「国連捜査」秘録～**

古川 勝久 著

新潮社

厳しい国際包囲網の中、なぜ北朝鮮は核兵器や米国にまで届くミサイルを開発できるのか。犯罪ネットワークを駆使して戦闘機やミサイルすら密輸する非合法ビジネス、組織の中核で暗躍する日本人の存在を明らかにする。

2017:12./ 463p

978-4-10-351411-4

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2018/04/01

**色川武大・阿佐田哲也ベスト・エッセイ(ちくま文庫 い19-5)**

大庭 萱朗 編

色川 武大、阿佐田 哲也 著

筑摩書房

純文学作家・色川武大と雀聖・阿佐田哲也というふたつの顔を持つ男。色川名の時代、文学、芸能、ジャズ・映画、交遊。阿佐田名の博打、食。息を飲むような気迫あふれるエッセイ集。

2018:1./ 369p

978-4-480-43495-1

本体 ¥950+税



産経新聞 2018/04/01

**幹事長秘録**

大下 英治 著

毎日新聞出版

55 年体制後、12 人の総理を輩出した「宰相への最短ポスト」である与党「幹事長」。党資金、政局の行方を左右するその権力の実体を、若き日の田中角栄幹事長から現職の二階俊博自民党幹事長まで肉迫し続ける大下英治が描く。

2018:3./ 349p

978-4-620-32510-1

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2018/04/01

**ブリーシヴィンの日記～1914-1917～**

ミハイル・ブリーシヴィン、太田 正一 著

成文社

未曾有の戦争の勃発、母の死、ローマノフ王朝の崩壊、二つの革命。誰もが渦中にあり、翻弄されずには済まなかった。作家、ミハイル・ブリーシヴィンの 1914-1917 年の日記を収録。略年譜も掲載。

2018:2./ 526p

978-4-86520-025-6

本体 ¥6,400+税



産経新聞 2018/04/01

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2018 年 2 月時点での税抜価格です。



それまでの明日

原 京 著

早川書房

探偵事務所の沢崎のもとに、消費者金融で支店長を務める望月が訪れた。融資が内定している赤坂の料亭の女将の身辺調査を依頼されるが、女将はすでに亡くなっていた。さらに望月が姿を消し、沢崎は金融絡みの事件の渦中に...

2018:2./ 409p

978-4-15-209748-4

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/04/01、朝日新聞 2018/04/28



久保田万太郎の履歴書

久保田 万太郎、大高 郁子 著

河出書房新社

家は三度も火事で焼け、女関係にだらしく、溺愛した猫に死なれ、息子にも先立たれ...。下町に生きる人々を描き続けた小説家・劇作家・俳人、久保田万太郎の波乱の人生を、自伝的文章と絵でつづる。見返しにも絵あり。

2018:2./ 300p

978-4-309-02653-4

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2018/04/01、毎日新聞 2018/04/08



ザハ・ハディド全仕事

ザハ・ハディド、松下 希和、田辺 晴美 著

エクスナレッジ

斬新なデザインや素材、先端技術によって可能となった空間構造を特徴とする未来の建築-。ドローイングやペインティング、そしてデザインを通じて建築の世界を変えたザハ・ハディドの全仕事を紹介する。

2018:3./ 320p

978-4-7678-2418-5

本体 ¥3,800+税



産経新聞 2018/04/07、朝日新聞 2018/04/07、読売新聞 2018/04/22



空気の検閲～大日本帝国の表現規制～(光文社新書 938)

辻田 真佐憲 著

光文社

絶対悪の代名詞「検閲」。その実態は? 1928年?1945年、エロ・グロ・ナンセンスから日中戦争・太平洋戦争時代まで、大日本帝国期の資料を丹念に追いながら、摩訶不思議な検閲の世界に迫る。

2018:3./ 304p

978-4-334-04344-5

本体 ¥880+税



産経新聞 2018/04/07、毎日新聞 2018/04/22、日本経済新聞 2018/04/28



棋士とAI～アルファ碁から始まった未来～(岩波新書 新赤版 1701)

王 銘【エン】 著

岩波書店

世界のトップ棋士たちを圧倒したアルファ碁は、人間の未来に多くの可能性を示すとともに、多くの未確定性と課題を残し、そして多くの問いも投げかけた。囲碁ソフト制作にも関わる人気棋士が、肌身で感じたその実像を綴る。

2018:1./ 7p,211p

978-4-00-431701-2

本体 ¥780+税



産経新聞 2018/04/08



なぜ中国は民主化しなくてもできないのか～「皇帝政治」の本質を知れば現代中国の核心がわかる～

石 平 著

KADOKAWA

なぜ習近平は「終身主席」を狙ったのか。21世紀の現在に「皇帝政治」が再び台頭してきた政治的・社会的理由とその歴史的必然性を論じ、日本と東アジアに「新しい皇帝政治」が与えるインパクトを読み解く。

2018:3./ 206p

978-4-04-602297-4

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/04/08



オリンピックへ行こう!

真保 裕一 著

講談社

世界最高のスポーツの祭典に出たい! 一心不乱に励み、夢の実現を目指す爽快感動ストーリー。「行こう!」シリーズ第4弾。『小説現代』連載を単行本化。

産経新聞 2018/04/08

2018:3./ 285p

978-4-06-220986-1

本体 ¥1,500+税



保守の真髓～老酔狂で語る文明の素乱～(講談社現代新書 2455)

西部 邁 著

講談社

世界恐慌や戦争の危機が見込まれる現在、政治や文化に関する能力を国民は身につける必要がある。歴史と国家のコモンセンスが問われているいま、大思想家・ニシベが、保守の真実を語り尽くす。

産経新聞 2018/04/08

2017:12./ 265p

978-4-06-288455-6

本体 ¥840+税



孤高の国母貞明皇后～知られざる「昭和天皇の母」～

川瀬 弘至 著

産経新聞出版

病に陥った大正天皇の妃として、皇室の安定に心を砕いた「国母」貞明皇后。宮内庁所蔵の資料などをもとに、明治・大正・昭和の激動の時代を生きた貞明皇后の数奇な生涯を描く。『産経新聞』連載を加筆、再構成。

産経新聞 2018/04/08

2018:3./ 445p

978-4-8191-1332-8

本体 ¥2,200+税



日本のポスター(京都工芸繊維大学美術工芸資料館デザインコレクション 3)

並木 誠士、和田 積希、京都工芸繊維大学美術工芸資料館 著

青幻舎

浮世絵の名残を感じさせる「美人画」的なポスターから、より多彩でモダンなポスターへ。明治時代末から大正・昭和初期という、日本のビジュアルデザインが花開いた時代の229点を、飲食品、観光などの分野別に紹介する。

産経新聞 2018/04/08

2018:3./ 287p

978-4-86152-656-5

本体 ¥1,500+税



消滅遺産～もう見られない世界の偉大な建造物～(NATIONAL GEOGRAPHIC)

ナショナルジオグラフィック 編

安倍 雅史 著

日経ナショナルジオグラフィック社

バーミヤーンの大仏のように粉々になってしまったものから、都市計画の一環で解体されてしまったもの、紛争地帯で消滅の危機にさらされているものまで。世界の偉大な建築物を、かつての姿を記録した写真で紹介する。

産経新聞 2018/04/08

2018:2./ 157p

978-4-86313-412-6

本体 ¥2,400+税



ウマシ

伊藤 比呂美 著

中央公論新社

熊本で、老いた父と呑み込む生卵。カリフォルニアで、娘とつづくパンケーキ。東京で、やっと出会えたあの鰻重…。満身創痍で東奔西走する詩人の、エネルギーな食エッセイ。『honto+』連載を単行本化。

産経新聞 2018/04/08、読売新聞 2018/04/08

2018:3./ 188p

978-4-12-005062-6

本体 ¥1,400+税





光明皇后～平城京にかけた夢と祈り～(中公新書 2457)

瀧浪 貞子 著

中央公論新社

聖武天皇とともに大仏を建立した光明皇后は、「稀代の女傑」か、慈悲深い篤信の女性か。毀誉褒貶半ばする光明皇后の心奥まで光を当て、天平文化のヒロインの実像にダイナミックに迫る。

2017:10./ 4p,282p

978-4-12-102457-2

本体 ¥880+税



産経新聞 2018/04/14



<実践>小説教室～伝える、揺さぶる基本メソッド～

根本 昌夫 著

河出書房新社

多くの作家のデビューに立ち会った、文芸誌元編集長の小説指南。小説の基本について触れたうえで、小説の書き方を、テーマ設定や人称、文体など具体的な項目を設けて説明。さらに村上春樹ら5人の作品を読み解く。

2018:3./ 231p

978-4-309-02663-3

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/04/14



ソラタとヒナタ～ともだちのつくりかた～(わくわくライブラリー)

かんの ゆうこ、くま あやこ 著

講談社

やさしくまのソラタと、ひとりぼっちのきつね・ヒナタが出会いました。さて、ふたりはともだちになれるでしょうか? 「なまえ」「ともだちのつくりかた」「すてきなばしょ」「かこへのてがみ」など6つの話を収録。

2018:4./ 92p

978-4-06-195794-7

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2018/04/15



こじらせママ子育てしながらココナッツオイルで年商7億円。

荻野 みどり 著

集英社

オーガニックのココナッツオイルを販売し、ブームの火付け役となったママ起業家が、どうやって会社を作り、成長させていったのか、子育てと仕事をどう両立しているのかを伝える。

2018:3./ 214p

978-4-08-786095-5

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/04/15



折りたたみ北京～現代中国 SF アンソロジー～(新☆ハヤカワ・SF・シリーズ 5036)

ケン・リュウ 編

中原 尚哉 著

早川書房

北京、異形の都市。緻密にして巨大なルービック・キューブ型都市の社会と文化に翻弄される男の冒険を描いた表題作をはじめ、7人の作家による全13作品を、短篇の名手ケン・リュウが精選した現代中国 SF アンソロジー。

2018:2./ 412p

978-4-15-335036-6

本体 ¥1,900+税



産経新聞 2018/04/15



縄文人に相談だ(縄文 ZINE Books)

望月 昭秀 著

国書刊行会

悩みなんて全部まとめて貝塚にポイ。お金が貯まらない、恋人ができない、将来が不安…。現代人のリアルな悩みに縄文的な価値観で答える。縄文時代の事だけしか載っていないマガジン『縄文 ZINE』から生まれた本。

2018:1./ 223p

978-4-336-06239-0

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/04/15



アンダーカバー〜秘録・公安調査庁〜

麻生 幾 著

幻冬舎

公安調査庁の分析官・芳野綾は、武装した中国漁船が 6 日後に尖閣諸島へ上陸するという情報入手。タイムリミットが迫る中、中国の真意を探る綾が行き着いたのは、日本を国家的危機に引きずり込む「悪魔のシナリオ」だった!

2018:3./ 390p

978-4-344-03269-9

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2018/04/15



現代国際刑事法〜国内刑事法との協働を中心として〜

城 祐一郎 著

成文堂

法科大学院での国際刑事法の講義用テキスト。国際刑事法の基本構造をはじめ、逃亡犯罪人引渡し・国際刑事共助、マネー・ローンダリング等の問題について解説する。法的根拠を明示し、裁判例や罪となるべき事実なども多数掲載。

2018:3./ 26p,499p

978-4-7923-5236-3

本体 ¥4,500+税



産経新聞 2018/04/15



日本酒の人〜仕事と人生〜

山同 敦子、廣木 健司、五十嵐 哲朗、高嶋 一孝、今村 友香、庄司 隆宏、森谷 康市 著

フィルムアート社

恵まれた出会いがあったからこそ、そこで出会えた人たちに恥ずかしくない酒造りがしたい。飛露喜の廣木健司、白隠正宗の高嶋一孝など、日本酒の造り手 6 人の仕事と人生に迫ったロングインタビュー。

2018:2./ 239p

978-4-8459-1645-0

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/04/15



みちのく仙台常盤町 小田原遊廓随想録

千葉 由香 著

荒蝦夷

「妓楼 33 軒、娼妓 300 人」と謳われ、東北一の規模を誇った宮城県の仙台小田原遊廓。当時を知る人の生の声や娼妓健康診断証などの発掘資料をもとに、地域における遊廓とそこに生きた女性たちの姿を追う。

2018:1./ 169p

978-4-904863-61-9

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/04/15



ルポ中国「潜入バイト」日記(小学館新書 328)

西谷 格 著

小学館

上海の寿司屋、反日ドラマ、パクリ遊園地…。理解しがたい超大国・中国のリアルな姿を知りたいという想いから、ジャーナリストの著者が 6 年に渡って様々なアルバイトを敢行。日本人が知らない中国への潜入労働ルポ。

2018:4./ 252p

978-4-09-825328-9

本体 ¥800+税



産経新聞 2018/04/21



帳簿の世界史(文春文庫 S22-1)

ジェイコブ・ソール 著

文藝春秋

なぜスペイン帝国は没落したのか、なぜフランス革命は起きたのか…。歴史の裏にはすべて、帳簿を駆使する会計士たちがいた。歴史家たちが見逃してきた「帳簿の世界史」を、会計と歴史のプロフェッショナルが紐解く。

2018:4./ 414p

978-4-16-791060-0

本体 ¥880+税



産経新聞 2018/04/21



悩む人ほど強くなる～神経質を喜べ～

斎藤 茂太 著

小学館

自分のすることに自信が持てない。人に気兼ねして、噂を気にする…。さまざまな悩みへの対処法を、人生の達人・モタさんがアドバイス。「悩むことは悪いことではない」という、悩む人の心をとときほぐすメッセージを伝える。

2018:2./ 221p

978-4-09-388603-1

本体 ¥1,000+税



産経新聞 2018/04/22



戦前の怪談

田中 貢太郎 著

河出書房新社

惻々と、また深々と、ときに何とも言えず、心の奥底に迫る。「虫採り」「薬指の曲り」「白いシャツの群」「死人の手」「妖影」「黒風」「墓の血」…。元祖・実話怪談の大家が贈る、恐ろしい話、全 24 話。

2018:3./ 277p

978-4-309-02658-9

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2018/04/22



想像力欠如社会

水島 宏明、水島ゼミ取材班 著

弘文堂

世の中はしんどい。でも、生きる。ドキュメンタリー作品を制作するゼミの現役女子大学生たちが、一般的に「社会的弱者」と呼ばれる人々を描いた、10 編の人生物語。

2018:3./ 226p

978-4-335-95039-1

本体 ¥1,500+税



産経新聞 2018/04/22



らいちょうころころ～立山室堂のライチョウ親子～

戸塚 学 著

文一総合出版

ころころした体形、小さくつぶらな瞳、もこもこの羽毛。標高 2400 メートルの立山室堂で暮らすライチョウ親子の 1 年を写真で紹介。ライチョウにまつわる疑問にも答えます。

2018:2./ 63p

978-4-8299-7912-9

本体 ¥1,200+税



産経新聞 2018/04/22



写真のなかの江戸～絵図と古地図で読み解く 20 の都市風景～

金行 信輔 著

ユウブックス

北斎も描いた「さざえ堂」は、じつは富士山を向いていた！都心・赤坂には、茅葺屋根が並んでいた！幕末から明治初期の絵図・古地図・文献史料を駆使し、都市江戸の建築・都市風景の実像を読み解く。

2018:1./ 239p

978-4-908837-03-6

本体 ¥2,200+税



産経新聞 2018/04/22



トコヤ・ロード

林 朋彦 著

風人社

ちょっと中山道を歩いてみたり、以前旅先で見つけた床屋さんを再訪してみたり。気分次第でマイ「トコヤ・ロード」を旅して撮った、昔懐かしい床屋さん、94 枚。「東海道中床屋ぞめき」に続く床屋写真集、第 2 弾。

2018:3./ 92p

978-4-938643-78-2

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/04/22



祝祭の日々～私の映画アトランダム～

高崎 俊夫 著

国書刊行会

映画から文学へ、文学からジャズへ、そして映画へ。ジャンルを縦横無尽に越境しながら綴る、魅惑の 20 世紀カルチュア・グラフィティ。清流出版ホームページの連載「高崎俊夫の映画アトランダム」を抜粋して収録。

2018:2./ 315p

978-4-336-06248-2

本体 ¥2,600+税



産経新聞 2018/04/22、読売新聞 2018/04/22、日本経済新聞 2018/04/28



アイリーンはもういない

オテッサ・モシュフエグ、岩瀬 徳子 著

早川書房

少年矯正施設の事務員として退屈な日々を過ごすアイリーン。孤独で怒りを抱えた彼女は、魅惑的な女性レベッカに出会い、誰にも言えない「転機」を迎え。黒い感情に満ちたサスペンスフルな長篇。

2018:1./ 319p

978-4-15-209739-2

本体 ¥2,100+税



産経新聞 2018/04/29



元号～年号から読み解く日本史～(文春新書 1156)

所 功、久禮 旦雄、吉野 健一 著

文藝春秋

「平成」の次の元号は何になるのか? 年号・天皇研究の第一人者が、その千数百年に及ぶ、日本の歴史とのかかわり、元号決定のメカニズムなどをわかりやすく解説する。日本公年号年表等も収録。

2018:3./ 350p

978-4-16-661156-0

本体 ¥1,000+税



産経新聞 2018/04/29



検証検察庁の近現代史(光文社新書 935)

倉山 満 著

光文社

警察を上回る権限を持つ検察とはいかなる組織なのか。近代司法制度が始まった明治時代から、熾烈な派閥抗争、政治との駆け引きに明け暮れる昭和の時代、不祥事で揺れる現在までの検察庁の軌跡を概観し、日本の近現代史を描く。

2018:3./ 398p

978-4-334-04341-4

本体 ¥920+税



産経新聞 2018/04/29



じてんしゃがしゃがしゃ

絵本塾出版

誕生日に自転車を買ってもらったゆうたは、がしゃがしゃ補助輪をつけて走ります。いつか補助輪をはずそうと、お父さんと内緒の約束をしました。ところが、お父さんが仕事で遠いところに行ってしまう...

2018:3./ 32p

978-4-86484-130-6

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/04/29



はじめてのサウナ

タナカ カツキ、ほり ゆりこ 著

リトル・モア

サウナ=我慢→キレイになるところ! 日本では「おじさんのもの」というイメージがつよいサウナの健康、精神面のメリットを、写真やイラストを交えて紹介する。サウナ未経験の人への贈り物にも最適な一冊。

2018:3./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-89815-474-8

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2018/04/29



目的なき人生を生きる(角川新書 K-189)

山内 志朗 著

KADOKAWA

世間は「目的を持って」とうるさい。社会に煽られ、急かされ続ける人生を、一体いつまで過ごせばいいのか。「人生に目的はない」と「小さな倫理学」を唱える倫理学者が、“反倫理”を真面目に考え、解放の哲学を説く。

2018:2./ 262p

978-4-04-082134-4

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/04/07



長く高い壁

浅田 次郎 著

KADOKAWA

日中戦争の最中。従軍作家として北京にいた流行探偵作家の小柳逸馬は、突然の要請で前線へ向かうことに。万里の長城、張飛嶺で待っていたのは、分隊 10 名全員死亡という大事件だった。『小説野性時代』掲載を単行本化。

2018:2./ 298p

978-4-04-104829-0

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/04/07



ものするひと<1>(BEAM COMIX)

オカヤ イヅミ 著

KADOKAWA

柴崎友香(作家)、姫乃たま(地下アイドル)、杉浦紺(30)。“先生”でも“天才”でもない、若き純文作家の日常をのぞいてみませんか？

2018:3./ 193p

978-4-04-735069-4

本体 ¥720+税



朝日新聞 2018/04/07



「国境なき医師団」を見に行く

いとう せいこう 著

講談社

大地震後のハイチで、ギリシャの難民キャンプで、ウガンダの国境地帯で-。「国境なき医師団」の活動を現地取材した小説家が、世界の<リアル>と人間の<希望>を綴る。『Yahoo!ニュース』掲載を書籍化。

2017:11./ 383p

978-4-06-220841-3

本体 ¥1,850+税



朝日新聞 2018/04/07



パーソナル<上>(講談社文庫 ち 5-19)

リー・チャイルド、小林 宏明 著

講談社

フランス大統領が演説中に狙撃された。1 キロ以上の射程を狙えるスナイパーは世界にひと握りで、かつてリーチャーが逮捕した元米軍兵もそのひとり。捜査に変わったリーチャーが真相を追うと、第二の暗殺事件が…。

2018:3./ 293p

978-4-06-293870-9

本体 ¥920+税



朝日新聞 2018/04/07



パーソナル<下>(講談社文庫 ち 5-20)

リー・チャイルド、小林 宏明 著

講談社

潜伏中のスナイパーたちを捜して、ロンドンの暗黒街に足を踏み入れるリーチャーと CIA の才媛ナイス。無法のセルビア人組織やギャング集団を相手に、ふたりは命を賭して闘いを挑む。事件を計画した、意外な黒幕の正体は…。

2018:3./ 292p

978-4-06-293871-6

本体 ¥920+税



朝日新聞 2018/04/07



オンブレ(新潮文庫 レ-11-1)

エルモア・レナード、村上 春樹 著

新潮社

「男(オンブレ)」の異名を持つ西部の男ジョン・ラッセル。幼少期をアパッチに育てられた伝説の男と悪党たちが、灼熱の荒野で息詰まる死闘を繰り広げる! 表題作ほか、レナードの傑作全2作品を、村上春樹が痛快無比に翻訳。

2018:2./ 309p

978-4-10-220141-1

本体 ¥550+税



朝日新聞 2018/04/07



原発事故と「食」～市場・コミュニケーション・差別～(中公新書 2474)

五十嵐 泰正 著

中央公論新社

農水産物の一大供給地であった福島は、3・11 以後、「デマ」や風評によって、苦しい状況に追い込まれている。流通や市場の課題、消費者とのコミュニケーション、差別の問題等から「食」を多面的に論じ、残る課題を考える。

2018:2./ 6p,220p

978-4-12-102474-9

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/04/07



背教者ユリアヌス<1>(中公文庫 つ 3-25)

辻 邦生 著

中央公論新社

大帝の甥として生まれるも、勢力拡大を狙うキリスト教一派の陰謀に父を殺され、幽閉生活を送るユリアヌス。哲学者の塾で学ぶことを許され、友を得、生きる喜びを見出す彼に、運命は容赦なく立ちはだかる…。エッセイも収録。

2017:12./ 424p

978-4-12-206498-0

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/04/07



背教者ユリアヌス<2>(中公文庫 つ 3-26)

辻 邦生 著

中央公論新社

ユリアヌスは、皇族であることを知られたのちも、変わらぬ学友や軽業師ディアたちと平穏な日々を過ごしていた。だが副帝となった兄ガルススの謀反の疑いから宮廷に召喚され、裁かれることに…。連載時日記(抄)も収録。

2018:1./ 449p

978-4-12-206523-9

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2018/04/07



背教者ユリアヌス<3>(中公文庫 つ 3-27)

辻 邦生 著

中央公論新社

今日の決戦こそが諸君の名をローマ戦史のなかに不朽のものにするだろう。ガリア統治を任せられたユリアヌス。その真摯な姿は兵士たちの心を打ち、ついにゲルマン人の侵攻を退ける。「背教者ユリアヌス」歴史紀行も収録。

2018:2./ 394p

978-4-12-206541-3

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/04/07



背教者ユリアヌス<4>(中公文庫 つ 3-28)

辻 邦生 著

中央公論新社

ガリア軍を率い首都を目指すユリアヌスに、コンスタンティウス帝崩御の報が届く。ついに皇帝に即位した彼は宮廷政治の改革に着手。そして、ペルシア軍討伐のため、自ら遠征に出るが…。完結巻。北杜夫との対談なども収録。

2018:3./ 348p

978-4-12-206562-8

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/04/07



高い城の男(ハヤカワ文庫 SF)

フィリップ・K・ディック 著

早川書房

第二次世界大戦が枢軸国側の勝利に終わってから 15 年、世界はいまだに日独二国の支配下にあった。現実と虚構との間の微妙なバランスを、緻密な構成と迫真の筆致で描いた、D・K・ディックの最高傑作!

1984:7./ 399p

978-4-15-010568-6

本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/04/07



ブラック企業～日本を食いつぶす妖怪～(文春新書 887)

今野 晴貴 著

文藝春秋

違法な労働条件で若者を働かせ使いつぶす「ブラック企業」。1500 件にも及ぶ労働相談を受け付けてきた NPO 法人「POSSE」の代表が、その実態を解説し、労働者、そして日本社会がこの問題にどう対応すべきかを論じる。

2012:11./ 245p

978-4-16-660887-4

本体 ¥770+税



朝日新聞 2018/04/07



ブラック企業<2>「虐待型管理」の真相(文春新書 1003)

今野 晴貴 著

文藝春秋

「ブラック企業」になぜ入ってしまうのか? なぜ辞めないのか? そのカギは「虐待型管理」という経営戦略にあった! 前著での問題提起に続き、労働相談の「現場」からの解決策決定版。

2015:3./ 283p

978-4-16-661003-7

本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/04/07



辞令(文春文庫 た 72-5)

高杉 良 著

文藝春秋

大手メーカー宣伝部副部長の広岡に左遷辞令が下る。同期中の出世頭だったはずなのになぜだ!? 自ら調査に乗り出した広岡は、社内に渦巻く陰謀に巻き込まれていく。不可解な「辞令」をモチーフに、組織と人間のあり方に迫る。

2017:11./ 415p

978-4-16-790962-8

本体 ¥850+税



朝日新聞 2018/04/07



長いお別れ(文春文庫 な 68-3)

中島 京子 著

文藝春秋

かつて中学の校長だった東昇平はある日、同窓会に辿り着けず、自宅に戻ってくる。認知症だと診断された彼は、妻と 3 人の娘を予測不能なアクシデントに巻き込んでいく…。あたたかくて切ない、家族の物語。

2018:3./ 286p

978-4-16-791029-7

本体 ¥660+税



朝日新聞 2018/04/07



精霊たちの家<上>(河出文庫 ア 8-1)

イサベル・アジェンデ、木村 榮一 著

河出書房新社

クラウラは不思議な予知能力を持っていた。ある日、緑の髪をたなびかせ人魚のように美しい姉のローサが毒殺され、その屍が秘かに解剖されるのを目の当たりにし、以来 9 年間口を閉ざしてしまう…。三世代にわたる女たちの物語。

2017:7./ 349p

978-4-309-46447-3

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2018/04/07



精霊たちの家<下>(河出文庫 ア 8-2)

イサベル・アジェンデ、木村 榮一 著

河出書房新社

精霊たちが見守る館で始まった一族の物語は、やがて身分違いの恋に引き裂かれるクララの娘ブランカ、そして恐怖政治下に生きる孫娘アルバへと引き継がれてゆく。三世代にわたる女たちの運命は…。

2017:7./ 401p

978-4-309-46448-0

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/04/07



ブラック職場～過ちはなぜ繰り返されるのか?～(光文社新書 913)

笹山 尚人 著

光文社

社会に大きな課題を突きつけた電通女子社員の過労死事件。なぜ、ブラックな職場はなくなるのか。労働弁護士が、豊富な事例からブラック職場の問題に横たわる背景を検討しつつ、ホワイトな社会の実現に向けた具体策を示す。

2017:11./ 241p

978-4-334-04319-3

本体 ¥780+税



朝日新聞 2018/04/07



誰も書かなかった老人ホーム(祥伝社新書 532)

小嶋 勝利 著

祥伝社

サービスは結局、金次第? 隣人トラブルに巻き込まれたら? 快適なホームはどう探す? 介護の現場を経験し、相談者のニーズに合った施設を提案する著者が、老人ホームのウラ話を語り、さまざまな疑問に答える。

2018:3./ 280p

978-4-396-11532-6

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/04/07



ブラックバイトに騙されるな!

大内 裕和 著

集英社クリエイティブ

ブラックバイトの巧妙な手口とは? 身を守るには? ブラックバイト発見の経緯から、その社会的背景、学生がアルバイトにのめり込むメカニズム、対処法まで、豊富な事例とともにわかりやすく解説。相談窓口も多数紹介する。

2016:7./ 207p

978-4-420-31075-8

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/04/07



そしてミランダを殺す(創元推理文庫 M ス 16-1)

ピーター・スワンソン、務台 夏子 著

東京創元社

空港のバーで見知らぬ美女に出会った実業家のテッド。彼は酔った勢いで、不貞を働いた妻を殺したいと言ってしまふ。彼女は協力を申し出るが…。男女 4 人のモノログで、殺す者と殺される者の策略と攻防を描くミステリ。

2018:2./ 427p

978-4-488-17305-0

本体 ¥1,100+税



朝日新聞 2018/04/07



経営継承の鎖～「歴代成長」企業の DNA を探る～

松田 真一 著

日本経済新聞出版社

人材や仕組みに大差のない巨大企業が継承後の盛衰を分けてきたのはなぜなのか。「経営陣入替」の慣習が継承後の衰退を招いてきたことをデータで裏づけ、経営陣を基軸にした経営継承の再構築を提案する。

2018:2./ 201p,19p

978-4-532-32187-1

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/04/07



聖書の成り立ちを語る都市～フェニキアからローマまで～

ロバート・R.カーギル、真田 由美子 著
白水社

ヘブライ語聖書、キリスト教の新約聖書(外典を含む)の成り立ちについて考察。背景、歴史、考古資料を示しながら、聖書を形作った都市を探っていき、そのうえで聖書本文における都市の意義を考える。

朝日新聞 2018/04/07

2018:3./ 304p,55p 図
版 16p
978-4-560-09546-1

本体 ¥3,800+税



* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 5 4 6 1 *



アメリカ「帝国」の中の反帝国主義～トランスナショナルな視点からの米国史～

イアン・ティレル、ジェイ・セクストン、藤本 茂生、坂本 季詩雄、山倉 明弘 著
明石書店

アメリカにおいて、反帝国主義は帝国と双子の関係にあった。政治的・軍事的な側面のみならず、キリスト教の海外伝道、女性史などの文化面も取り上げ、独立革命から 21 世紀に至る「帝国」と「反帝国主義」の多様な歴史を辿る。

朝日新聞 2018/04/07

2018:2./ 366p
978-4-7503-4632-8
本体 ¥3,700+税



* 9 7 8 4 7 5 0 3 4 6 3 2 8 *



全脳エミュレーションの時代～人工超知能 EM が支配する世界の全貌～<上>

ロビン・ハンソン、小坂 恵理 著
NTT出版

全脳エミュレーションとは、人間の脳をスキャンしてつくられる人工超知能のこと。脳科学、心理学、経済学などの知見を踏まえ、汎用 AI 実現後の世界を描きだす。上は、第 1 部「基礎」から第 3 部「経済」までを収録。

朝日新聞 2018/04/07

2018:2./ 322p
978-4-7571-0373-3
本体 ¥2,300+税



* 9 7 8 4 7 5 7 1 0 3 7 3 3 *



全脳エミュレーションの時代～人工超知能 EM が支配する世界の全貌～<下>

ロビン・ハンソン、小坂 恵理 著
NTT出版

全脳エミュレーションとは、人間の脳をスキャンしてつくられる人工超知能のこと。脳科学、心理学、経済学などの知見を踏まえ、汎用 AI 実現後の世界を描きだす。下は、第 4 部「組織」から第 6 部「未来の姿」までを収録。

朝日新聞 2018/04/07

2018:2./ 267p,42p
978-4-7571-0374-0
本体 ¥2,300+税



* 9 7 8 4 7 5 7 1 0 3 7 4 0 *



大学生のためのアルバイト・就活トラブル Q&A

石田 眞、浅倉 むつ子、上西 充子 著
旬報社

大学生が働くうえで直面する可能性があるトラブルを「アルバイト」「インターンシップ」「就職活動」「内定と内定後」「労働契約と入社後」に分けて、Q&A 形式で解説する。相談の仕方や相談機関に関する情報も掲載。

朝日新聞 2018/04/07

2017:3./ 127p
978-4-8451-1499-3
本体 ¥920+税



* 9 7 8 4 8 4 5 1 1 4 9 9 3 *



ラブという薬

いとう せいこう、星野 概念 著
リトル・モア

もう我慢を大切にするのはやめよう。ケガをしたら外科へ行くような単純さで、つらいなら精神科へ行こう。患者・いとうせいこうと、主治医の精神科医・星野概念の、心をめぐる対話。

朝日新聞 2018/04/07

2018:2./ 245p
978-4-89815-473-1
本体 ¥1,500+税



* 9 7 8 4 8 9 8 1 5 4 7 3 1 *



満州天理村「生琉里」の記憶～天理教と七三一部隊～

エイミー・ツジモト 著

えにし書房

弾圧を受けながらも逞しく生き延び、満州に天理村を建設するに至った天理教団は七三一部隊にも協力していた！満州開拓の裏にあった知られざる実態と驚くべき史実を、元開拓団員の赤裸々な証言から明らかにする。

朝日新聞 2018/04/07

2018:2./ 219p

978-4-908073-48-9

本体 ¥2,000+税



本のエンドロール

安藤 祐介 著

講談社

印刷会社の営業・浦本学は就職説明会で言った。「印刷会社はメーカーです」営業、工場作業員、DTP オペレーター、デザイナー…。印刷会社全面協力のもと、奥付には載らない本造りの裏方たちを描いたお仕事小説。

朝日新聞 2018/04/07、東京・中日新聞 2018/04/15

2018:3./ 381p

978-4-06-220988-5

本体 ¥1,650+税



地元経済を創りなおす～分析・診断・対策～(岩波新書 新赤版 1704)

枝廣 淳子 著

岩波書店

人口減少、駅前のシャッター通り…。地元経済の悪循環を断ち切る方策はないのか。現状をまずは「見える化」し、お金や雇用を外部に依存する割合を減らすための考え方やツールを紹介。好循環を生んだ事例も掲載する。

朝日新聞 2018/04/07、日本経済新聞 2018/04/21

2018:2./ 8p,209p

978-4-00-431704-3

本体 ¥780+税



日本人の恋びと

イサベル・アジェンデ、木村 裕美 著

河出書房新社

毎週届くクチナシの花、黄色い封筒に入った手紙、お忍びの小旅行…。80代を迎えたアルマの謎めいた日常の背後に、いったい何があるのか。日系人イチメイとの悲恋を主軸に過去と現代のドラマが展開する、現代版「嵐が丘」。

朝日新聞 2018/04/07、日本経済新聞 2018/04/28

2018:2./ 317p

978-4-309-20737-7

本体 ¥2,900+税



経済史～いまを知り、未来を生きるために～

小野塚 知二 著

有斐閣

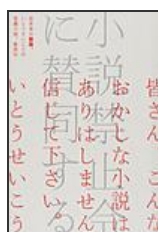
経済はなぜ成長するのか、人類はいかにして生存してきたのか、経済はいかに成長してきたのか。分業、市場、貨幣といった経済学の用語のみならず、権力、文化、共同体等人文科学の基本的な概念も用いて経済史を俯瞰する。

朝日新聞 2018/04/07、日本経済新聞 2018/04/28

2018:2./ 27p,541p,28p

978-4-641-16515-1

本体 ¥4,000+税



小説禁止令に賛同する

いとう せいこう 著

集英社

「小説という作り物を、わたしは徹底的に否定したいのであります」2036年の日本。わたしが獄中で書いた随筆は、政府が発布した「小説禁止令」を礼讃する内容になるはずだったのだが…。『すばる』掲載を単行本化。

朝日新聞 2018/04/07、毎日新聞 2018/04/22

2018:2./ 170p

978-4-08-771134-9

本体 ¥1,400+税





ライシテから読む現代フランス～政治と宗教のいま～(岩波新書 新赤版 1710)
伊達 聖伸 著
岩波書店
数々のテロ事件を受け、政治と宗教、共生と分断のはざまで揺れているフランス。国内第二の宗教であるイスラームとの関係をめぐり、2017 年大統領選挙の主要争点ともなったライシテについて論じる。

2018:3./ 3p,243p
978-4-00-431710-4
本体 ¥840+税


朝日新聞 2018/04/14



学年誌が伝えた子ども文化史<昭和 40?49 年編>(ワンダーライフスペシャル)
小学館
昭和のニュースと流行と人物を、学年誌とともに振り返る。昭和 40?49 年編では、日本万国博覧会、アポロ 11 号の月面着陸、三億円事件、怪獣ブーム、長嶋茂雄引退等を取り上げる。組立てふろく「万国博大パノラマ」付き。

2018:2./ 95p
978-4-09-106610-7
本体 ¥1,200+税


朝日新聞 2018/04/14



無常の月～ザ・ベスト・オブ・ラリイ・ニーヴン～(ハヤカワ文庫 SF 2173)
ラリイ・ニーヴン、小隅 黎、伊藤 典夫 著
早川書房
突如地球を襲った未曾有の大災害をスリリングに描き、映画化された表題作をはじめ、「中性子星」「帝国の遺物」など、奇抜な発想と論理的な設定の妙が味わえる名作中短篇全 7 篇を収録した日本オリジナル傑作選集。

2018:3./ 319p
978-4-15-012173-0
本体 ¥960+税


朝日新聞 2018/04/14



ありがたうって言えたなら
瀧波 ユカリ 著
文藝春秋
余命宣告、実家の処分、お墓や遺影のこと、最後の旅行。決して仲のいい母娘じゃなかったからこそ、今伝えたいことがある...。「母の死」を真正面から描いたコミックエッセイ。『CREA WEB』連載を書籍化。

2018:3./ 175p
978-4-16-390810-6
本体 ¥1,000+税


朝日新聞 2018/04/14



ボルヘス怪奇譚集(河出文庫 ホ 5-3)
ホルヘ・レイス・ボルヘス、アドルフ・ビョーク・カサーレス、柳瀬 尚紀 著
河出書房新社
渦巻く笑いと戦慄-中国の妖怪物語。アラビアンナイト。カフカやポオの掌篇。セイロンの人食い鬼伝説...。「迷宮の作家」ボルヘスが選び抜いた短くて途方もない話 92 篇を収録。

2018:4./ 185p
978-4-309-46469-5
本体 ¥830+税


朝日新聞 2018/04/14



お金 2.0～新しい経済のルールと生き方～(NewsPicks Book)
佐藤 航陽 著
幻冬舎
仮想通貨、フィンテック、シェアリングエコノミー、評価経済...。「新しい経済」を私たちはどう生きるか!「時間」を売買する経済システム「タイムバンク」を発明したメタップス創業者が明かす、資本主義の先の世界。

2017:11./ 263p
978-4-344-03215-6
本体 ¥1,500+税


朝日新聞 2018/04/14



ハイエク全集<2-2> 貨幣論集

ハイエク 著

春秋社

ユーロ危機はなぜ起こったのか? 統一通貨が抱える原理的な欠陥を指摘し、貨幣発行の民営化とその競争を説いた、ハイエクの貨幣論に関連する著作・論文を収録する。

2012:6./ 3p,310p,3p

978-4-393-62192-9

本体 ¥4,600+税



朝日新聞 2018/04/14



美しい電子顕微鏡写真と構造図で見るウイルス図鑑 101

マリリン・J.ルーシーク、布施 晃、北川 玲 著

創元社

ウイルス学の基礎とともに、101 種類のウイルスを宿主別に紹介する。彩色した電子顕微鏡写真、ウイルスの構造の理解を助けるイラストに加え、それぞれの特徴、発見の経緯、利用法などを簡潔に記載する。

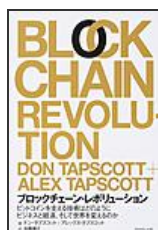
2018:2./ 255p

978-4-422-43027-0

本体 ¥3,800+税



朝日新聞 2018/04/14



ブロックチェーン・レボリューション～ビットコインを支える技術はどのようにビジネスと経済、そして世界を変えるのか～

ドン・タプスコット、アレックス・タプスコット、高橋 璃子 著

ダイヤモンド社

個人のプライバシーや安全が守られ、データが自分自身のものになる世界。大企業が技術を独占することなく、誰もがテクノロジーの発展に参加できる世界。ブロックチェーンが可能にする新たな動きを様々な分野から紹介する。

2016:12./ 407p

978-4-478-06996-7

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2018/04/14



童謡の百年～なぜ「心のふるさと」になったのか～(筑摩選書 0157)

井手口 彰典 著

筑摩書房

童謡や唱歌は、誕生した当初からずっと「日本人の心のふるさと」であり続けてきたのか? 時代や社会の変化で、童謡がどう歌われ消費されてきたのかを辿り、童謡がまとう権威の正体を明らかにする。

2018:2./ 309p

978-4-480-01664-5

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/04/14



スタートボタンを押してください～ゲーム SF 傑作選～(創元 SF 文庫 SF ン 10-1)

ケン・リュウ、桜坂 洋、アンディ・ウィアー、J.J.アダムズ 編

ケン・リュウ、桜坂 洋、アンディ・ウィアー、中原 尚哉、古沢 嘉通 著

東京創元社

「紙の動物園」のケン・リュウ、「All You Need Is Kill」の桜坂洋、「火星の人」のアンディ・ウィアーら、現代 SF を牽引する豪華執筆陣が、ビデオゲームと小説の新たな可能性に挑んだ 12 編を収録。

2018:3./ 363p

978-4-488-77201-7

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/04/14



復興の空間経済学～人口減少時代の地域再生～

藤田 昌久、浜口 伸明、亀山 嘉大 著

日本経済新聞出版社

三陸沿岸部の復興には、どのようなメカニズムが必要なのか？ 人口減少時代における国土づくりと大規模災害からの被災地の復興政策を中心テーマに、日本の重要課題を最先端経済学「空間経済学」で分析する。

2018:2./ 281p

978-4-532-13478-5

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2018/04/14



新訳ベケット戯曲全集<1> ゴドーを待ちながら/エンドゲーム

サミュエル・ベケット、岡室 美奈子、長島 確、岡室 美奈子 著

白水社

演劇の戯曲だけでなくラジオ、テレビ、映画のための作品も網羅した新訳ベケット戯曲全集。1 は、不条理演劇の最高傑作が楽しめる「ゴドーを待ちながら」と、チェスの終盤戦になぞえられる「エンドゲーム」を収録。

2018:3./ 297p

978-4-560-09331-3

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2018/04/14



お寺はじめました

渡邊 源昇 著

原書房

サラリーマン家庭の息子が 15 歳で出家し、日蓮宗のお坊さんに。交通量調査から始めた埼玉での開教、民家のお寺、駅前でのチラシ配り…。街の中の架け橋となるお寺をめざし、現場で奮闘する若き僧侶が理想と挑戦を綴る。

2018:2./ 204p

978-4-562-05471-8

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/04/14



福岡市が地方最強の都市になった理由

木下 斉 著

PHP研究所

まちづくりとは、どこかの「真似をする」のではなく、これまでの「常識を疑う」こと。常識にとらわれず、自分たちで戦略を考え、覚悟を持って行動している福岡市が発展したポイントを「都市経営的な視点」で読み解く。

2018:2./ 302p

978-4-569-83767-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/04/14



周作人読書雑記<1>(東洋文庫 886)

周 作人、中島 長文 著

平凡社

群を抜いた読書家だった、魯迅の弟・周作人が、古今東西の選り抜きの書物を縦横に読み抜いた記録を集成する。1 は、読書指南「わたしの雑学」のほか、「読書論」「禁書」「書誌」などのテーマで文章を収録。

2018:1./ 446p

978-4-582-80886-5

本体 ¥3,300+税



朝日新聞 2018/04/14



周作人読書雑記<2>(東洋文庫 888)

周 作人 著

平凡社

群を抜いた読書家だった、魯迅の弟・周作人が、古今東西の選り抜きの書物を縦横に読み抜いた記録を集成する。2 は、民俗に対する興味から取り上げた書物などについての雑記を収録。

2018:3./ 434p

978-4-582-80888-9

本体 ¥3,300+税



朝日新聞 2018/04/14



パブリック・スクールと日本の名門校～なぜ彼らはトップであり続けるのか～(平凡社新書 869)

秦 由美子 著

平凡社

イギリスのパブリック・スクール(PS)4校と、日本の名門私立4校を比較。各校の人間教育の特徴とともに、イギリスと日本の共通点、相違点、そして日本の学校がPSから学ぶべき点を明らかにする。

2018:3./ 263p
978-4-582-85869-3

本体 ¥840+税



朝日新聞 2018/04/14



スイート・ホーム

原田 マハ 著

ポプラ社

平凡だけどおだやかな日々。それでじゅうぶんだった。あの日、あの人と出会うまでは…。美しい高台の街にある小さな洋菓子店で繰り広げられる、愛に満ちた家族の物語。阪急不動産のHP『阪急宝塚山手台』掲載を加筆修正。

2018:3./ 236p
978-4-591-15668-1

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/04/14



石を聴く～イサム・ノグチの芸術と生涯～

ヘイデン・ヘレーラ、北代 美和子 著

みすず書房

周囲の人々の新たな証言とともに資料を駆使して、イサム・ノグチの波瀾万丈の生涯をたどりつつ、変幻自在な彫刻群、庭園、舞台装置、家具・照明など、多ジャンルにわたる作品の誕生を克明に解き明かす。図版も多数収録。

2018:2./ 544p,8p
978-4-622-08675-8

本体 ¥6,800+税



朝日新聞 2018/04/14



世界の中の日本地図～16世紀から18世紀西洋の地図にみる日本～

ジェイソン・C.ハバード、日暮 雅通 著

柏書房

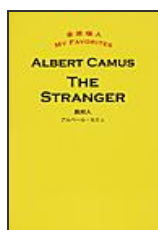
1528年のヴェネツィアから1797年のローマまで、西洋の世界地図の中から、日本が登場する部分を年代順に125枚収録。詳細不明の「ジバング」が、正確な形に描かれていく過程を通し、西洋による日本理解の変遷を追う。

2018:4./ 465p
978-4-7601-4975-9

本体 ¥20,000+税



朝日新聞 2018/04/14



異邦人(金原瑞人 MY FAVORITES)

アルベール・カミュ、金原 瑞人 編

アルベール・カミュ、Matthew Ward 著

青灯社

朝日新聞 2018/04/14

2012:11./ 251p
978-4-86228-063-3

本体 ¥1,200+税



水田マリのわだかまり

宮崎 誉子 著

新潮社

高校を中退した16歳の水田マリ。ストレスがホコリのように積もっていく毎日だけど、ウップンと不満は、生きるのに欠かせないガソリンで…。低賃金労働の現場といじめ、介護の問題をリアルに描く。『新潮』掲載を単行本化。

2018:2./ 158p
978-4-10-300853-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2018/04/14、朝日新聞 2018/04/15



ニュースの深き欲望(朝日新書 659)

森 達也 著

朝日新聞出版

表現とは何だろう? 情報とは何だろう? オウム真理教、3・11、死刑、ドキュメンタリー映画「FAKE」…。タブーに身を投じ、世界という視点から「日本」を再考察する。

朝日新聞 2018/04/14、朝日新聞 2018/04/28

2018:3./ 205p

978-4-02-273759-5

本体 ¥720+税



人工知能時代を<善く生きる>技術(集英社新書 0926)

堀内 進之介 著

集英社

技術は生活を便利にする一方で、終わらない仕事を増やし、人間関係に疲れる世の中に変えていく。「ユビキタスネットワーク社会」の弊害に対処するには、技術の便益を最大限に引き出し、現在の技術との関係を刷新すべきと説く。

朝日新聞 2018/04/14、読売新聞 2018/04/22

2018:3./ 205p

978-4-08-721026-2

本体 ¥720+税



教養としてのテクノロジー〜AI、仮想通貨、ブロックチェーン〜(NHK 出版新書 545)

伊藤 穰一、アンドレー・ウール 著

NHK出版

AI やロボットは人間の労働を奪うのか? 仮想通貨は国家をどう変える? ブロックチェーンがもたらす金融・経済への影響は? 米国 MIT でメディアラボ所長を務める著者が、経済・社会・日本の3つの視点で未来を見通す。

朝日新聞 2018/04/14、毎日新聞 2018/04/29

2018:3./ 193p

978-4-14-088545-1

本体 ¥780+税



天龍院亜希子の日記

安壇 美緒 著

集英社

人材派遣会社で働く田町譲。平凡な男のブラックな日常を勇気づけるのは、幼い頃に憧れていた野球選手と、長らく会っていない元同級生の日記だった…。『小説すばる』掲載に加筆し単行本化。

朝日新聞 2018/04/15

2018:3./ 219p

978-4-08-771136-3

本体 ¥1,400+税



月の炎

板倉 俊之 著

新潮社

異変は、皆既日食から始まった。小学校周辺で発生した謎の連続放火。犯人は誰なのか? 「真相」を追う少年がたどり着いたのは、想像を絶する切ない「真実」だった…。ハートウォーミング・ミステリー。

朝日新聞 2018/04/15

2018:2./ 277p

978-4-10-351591-3

本体 ¥1,600+税



風は西から

村山 由佳 著

幻冬舎

大手居酒屋チェーンの店長・健介が突然、自ら命を絶った。彼はなぜ、死ななければならなかったのか? 恋人の千秋と健介の両親は、大企業を相手に闘うことを決意し…。『上毛新聞』『神奈川新聞』等掲載に加筆し単行本化。

朝日新聞 2018/04/15

2018:3./ 407p

978-4-344-03268-2

本体 ¥1,600+税





プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神(ワイド版岩波文庫 91)

マックス・ヴェーバー 著

岩波書店

朝日新聞 2018/04/21

1991:12./ 412p

978-4-00-007091-1

本体 ¥1,500+税



幸福寿命～ホルモンと腸内細菌が導く100年人生～(朝日新書 657)

伊藤 裕 著

朝日新聞出版

腸内細菌が万病を遠ざけ、ミトコンドリアが内臓を若返らせ、ホルモンがワクワク感を生む。私たちが生きる目的は「健康でいること」より「幸せになること」。そこに導く生命のメカニズムと、幸せを呼びさます生活習慣を紹介。

2018:3./ 235p

978-4-02-273757-1

本体 ¥760+税



朝日新聞 2018/04/21



地図から消される街～3.11 後の「言ってはいけない真実」～(講談社現代新書 2472)

青木 美希 著

講談社

帰還率「4.3%」の衝撃、母子避難者の自死、不正と中抜きだらけの除染…。避難指示解除が進む福島第一原子力発電所近隣地域で進行する恐るべき事態とは。震災から取材を続ける女性記者が「不都合な事実」を記す。

2018:3./ 284p

978-4-06-220996-0

本体 ¥920+税



朝日新聞 2018/04/21



TOEIC 亡国論(集英社新書 0923)

猪浦 道夫 著

集英社

TOEIC が支持され始めてから 40 年近いが、日本人の英語力是一向に上達していない。TOEIC に振り回されるからくりを明らかにし、「早期英語教育はムダ」「中高年こそ英語が上達する」など具体的な学習法を論じる。

2018:3./ 220p

978-4-08-721023-1

本体 ¥740+税



朝日新聞 2018/04/21



怠惰の美德(中公文庫 う37-1)

萩原 魚雷 編

梅崎 春生 著

中央公論新社

大学にはほとんど出席せず、志望した新聞社は全滅。やむなく勤めた役所では、毎日ぼんやり過ごして給料を得る…。戦後派を代表する作家が、怠け者のままだに生きてきたのかを綴った随筆と、7つの短篇を収録した作品集。

2018:2./ 307p

978-4-12-206540-6

本体 ¥900+税



朝日新聞 2018/04/21



文化政策の現在<1> 文化政策の思想

小林 真理 編

東京大学出版会

多様なセクターによって実践されている文化政策について学術的に基礎づけ、その可能性を総合的に展望する。1 は、思想や主義、原理原則を振り返り、その射程を確認することで浮び上る文化政策の根源的な姿を論じる。

2018:2./ 20p,305p

978-4-13-003495-1

本体 ¥4,200+税



朝日新聞 2018/04/21



文化政策の現在<2> 拡張する文化政策

小林 真理 編

東京大学出版会

多様なセクターによって実践されている文化政策について学術的に基礎づけ、その可能性を総合的に展望する。2 は、文化政策が拡張していく姿を領域・政策概念・担い手の視点から浮かび上がらせ、そこに孕む課題を明らかにする。

朝日新聞 2018/04/21

2018:3./ 15p,231p

978-4-13-003496-8

本体 ¥3,800+税



闇に魅入られた科学者たち～人体実験は何を生んだのか～

NHK「フランケンシュタインの誘惑」制作班 著

NHK出版

稀代の解剖マニア、ジョン・ハンターの「死のコレクション」、悪魔の手術ロボトミー、史上最悪の心理学実験…。戦慄の人体実験の歴史を紐解くことで、科学の闇の顔に迫る。NHK「フランケンシュタインの誘惑」を書籍化。

朝日新聞 2018/04/21

2018:3./ 235p

978-4-14-081735-3

本体 ¥1,500+税



父として考える(生活人新書)

東 浩紀、宮台 真司 著

NHK出版

もはや父親として、この国の現状を黙視してはいられない!東浩紀、宮台真司というふたりの父親が、育児体験から教育制度、若者の非婚、おひとりさまの問題点、ツイッターを利用した民主主義の可能性までをホンネで語る。

朝日新聞 2018/04/21

2010:7./ 254p

978-4-14-088324-2

本体 ¥740+税



ケラリーノ・サンドロヴィッチ<2> 百年の秘密/あれから(ハヤカワ演劇文庫 44)

ケラリーノ・サンドロヴィッチ 著

早川書房

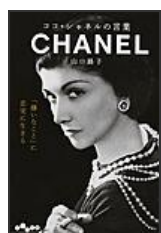
2 人の女性が一生守り続けた秘密「百年の秘密」、2 組の夫婦の倦怠を苦く滑稽に描く「あれから」。演出家、ミュージシャン、映画監督でもあるケラリーノ・サンドロヴィッチの戯曲 2 編を収録。

朝日新聞 2018/04/21

2018:4./ 569p

978-4-15-140044-5

本体 ¥1,500+税



ココ・シャネルの言葉～「嫌いなこと」に忠実に生きる～(だいわ文庫 327-3D)

山口 路子 著

大和書房

貧しい子ども時代を経て、「シャネル帝国」と呼ばれる一大ブランドを築き上げ、莫大な富と成功、愛を手にしたシャネル。彼女の強く情熱ある言葉を集め、簡潔に解説する。

朝日新聞 2018/04/21

2017:10./ 222p

978-4-479-30672-6

本体 ¥680+税



額の星/無数の太陽(平凡社ライブラリー 865)

レーモン・ルーセル、國分 俊宏、新島 進 著

平凡社

言葉が言葉をつむぎ事実の方程式が解かれたとき、そこに奇想天外な物語が生まれる-。独自の<手法>を用いて書かれた星と太陽の双子の戯曲。「額の星/無数の太陽」小事典も収録。

朝日新聞 2018/04/21

2018:3./ 427p

978-4-582-76865-7

本体 ¥1,600+税





メルロ＝ポンティ読本

廣瀬 浩司 編

法政大学出版局

現象学、実存主義などの現代思想全体にインパクトを与え、哲学から言語学、心理学、政治、医療へと影響を広げたメルロ＝ポンティの思想。未邦訳も含めたほぼすべての著作を詳しく紹介し、その全貌を明らかにする。

2018:3./ 10p,358p,62p

978-4-588-15092-0

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2018/04/21



被抑圧者の教育学 50 周年記念版

パウロ・フレイレ、三砂 ちづる 著

亜紀書房

被抑圧者の教育学とは、自らの解放のための闘いをめざす人々のための教育学である。被抑圧者が“全き人間”となるための条件を深く思索した不朽の名著。同時代の学者たちへのインタビューを加えた 50 周年記念版。

2018:4./ 406p

978-4-7505-1545-8

本体 ¥2,600+税



朝日新聞 2018/04/21



名画の中の料理

メアリー・アン・カウズ、富原 まさ江 著

エクスナレッジ

芸術家たちの食生活とは？ モダニズム初期の印象派から現代美術まで、19?21 世紀に台所とアトリエで育まれた、数々の作品に描かれた料理を幅広く取り上げる。現代の作家や詩人たちが綴った食べ物にまつわる文章も紹介。

2018:3./ 271p

978-4-7678-2403-1

本体 ¥2,200+税



朝日新聞 2018/04/21



『ニッポン国 VS 泉南石綿村』製作ノート～「普通の人」を撮って、おもしろい映画ができるのか?～

疾走プロダクション 編

現代書館

ドキュメンタリー映画「ニッポン国 VS 泉南石綿村」の製作ノート。産業発展の犠牲者として国に捨てられたアスベスト被害者が国家と対峙するまでの 8 年間の葛藤を、出演者と作り手へのインタビューによって明らかにする。

2018:3./ 286p

978-4-7684-7649-9

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2018/04/21



義足でダンス～両足切断から始まった人生の旅～

エイミー・パーディ、ミシェル・バーフォード、藤井 留美 著

辰巳出版

ラスベガス生まれの 19 歳の女の子を突然襲った細菌性髄膜炎。両足を失い、病氣と闘い続けた彼女は、逆境をはねのけてふたたび自分の足で歩いた…。両足義足のパラリンピアン、魂の旅の物語。

2018:3./ 351p

978-4-7778-2047-4

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/04/21



赤ちゃん教育

野崎 欽 著

青土社

突然、赤ん坊を授かった文学教師は欣喜雀躍。だが、文学などはねのける幼児のエネルギーにはたじたじ。子育ての苦労を笑いのめし、赤ちゃんに触れあう甘美な経験を悦楽にみちた文章で綴る。『群像』連載に加筆。

2005:6./ 160p

978-4-7917-6193-7

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/04/21



イヌの老いじたく～年を重ねた愛犬を守るために本当に大切なこと～(サイエンス・アイ新書 SIS-397)

臼杵 新 著

SBクリエイティブ

老犬に最適なフードは？ 筋肉を落とさないための秘訣とは？ 脳に刺激を与えるテクニックがある...？ イヌの老いから目をそらさず、後悔しないように、飼い主が自分でできる最善の「老いじたく」を解説する。

2018:2./ 189p

978-4-7973-6900-7

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2018/04/21



酒の起源～最古のワイン、ビール、アルコール飲料を探す旅～

バトリック・E.マクガヴァン、藤原 多伽夫 著

白揚社

トモロコシのビール、バナナのワイン、大麻入りの酒、神話や伝説の飲み物...。数十年にわたり世界中を旅し摩訶不思議な先史の飲料を再現してきた考古学者の、酒と人類にまつわる研究の記録。

2018:3./ 475p

978-4-8269-9060-8

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2018/04/21



パパは脳研究者～子どもを育てる脳科学～

池谷 裕二 著

クレヨンハウス

子どもの脳って育てられるの？ 脳研究者・池谷裕二が、娘の 4 歳までの成長を、脳の発達と機能の原理から分析し、子育てのコツとして惜しみなく紹介する。『月刊クーヨン』掲載に加筆修正し、書き下ろしを加え編集。

2017:8./ 307p

978-4-86101-343-0

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/04/21



お父さん、だいじょうぶ？日記

加瀬 健太郎 著

リトル・モア

お父さんはカメラマン。天才と言われることもある。少々頼りないけどひょうきんな父と、愉快な家族の物語。たまらなく可愛くておかしい男の子たちの写真と、クセになる文章で人気の著者の子育て写真ブログを書籍化。

2017:9./ 191p

978-4-89815-466-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/04/21



竹内好とその時代～歴史学からの対話～

山田 智 編

有志舎

戦後思想のなかに独自の地歩を占める思想家・竹内好は、同時代の歴史学とどのような対話を繰り広げ、歴史そのものをどのように考えていたのか。歴史学の立場と手法から、竹内の思想と歴史認識に様々な角度からアプローチする。

2018:2./ 7p,316p

978-4-908672-19-4

本体 ¥5,000+税



朝日新聞 2018/04/21



赤ちゃん本部長<1>(ワイド KC)

竹内 佐千子 著

講談社

株式会社モアイに勤める武田本部長 47 歳。ある朝突然、頭の中はそのままに体だけが赤ん坊という状態に……。部下の坂井部長 40 歳、天野課長 35 歳、西浦平社員 28 歳による社内育児スタートです！

2018:3./ 128p

978-4-06-511109-3

本体 ¥700+税



朝日新聞 2018/04/21、読売新聞 2018/04/29



憎しみに抗って～不純なものへの賛歌～

カロリン・エムケ、浅井 晶子 著

みすず書房

人種主義、ファナティズム、民主主義への敵意-。なぜ憎しみを公然と言うことが普通のことになったのか。ドイツのジャーナリストが、自分とは「違う」存在を作りだして攻撃するという、世界的に蔓延する感情に向き合う。

2018:3./ 211p

978-4-622-08670-3

本体 ¥3,600+税



朝日新聞 2018/04/21、読売新聞 2018/04/29



百貨店の展覧会～昭和のみせもの 1945-1988～

志賀 健二郎 著

筑摩書房

戦後、都心の各百貨店は競うようにして文化的な催し物に取り組んだ。国宝級の美術品、ニュースや事件、文学者、漫画、昆虫、生け花…。戦後カルチャーを創りだした百貨店展覧会の歩みから、昭和という一時代をふり返る。

2018:3./ 254p

978-4-480-86458-1

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/04/21、日本経済新聞 2018/04/21



すごい廃炉～福島第1原発・工事秘録<2011?17年>～

日経コンストラクション 編

篠山 紀信、木村 駿 著

日経BP社

7年近くの取材の成果を基に、福島第1原発の廃炉の作業や工事を詳細かつわかりやすく解説しながら、その技術や現場の空気を篠山紀信の写真とともに伝える。福島県双葉町の「帰還困難区域」の風景も収録。

2018:2./ 191p

978-4-8222-5791-0

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2018/04/21、毎日新聞 2018/04/29



いらっしやい～歌集～(まひる野叢書 第353篇)

山川 藍 著

KADOKAWA

じゅうぶんに生きた気もする雨の午後誰かの菓子を勝手に食べる いっぱいになったポットを持ち上げること揺るぎなき昼のよるこび 2010年から2017年までの463首を収録した第1歌集。

2018:3./ 189p

978-4-04-884147-4

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2018/04/22



いのちの食べかた(角川文庫 も13-7)

森 達也 著

KADOKAWA

魚は切り身で泳いじゃいない、そんなことは知っている。では、毎日食べるお肉はどこからどうやって、やってくる? 「東京都中央卸売市場食肉市場」の様子を紹介しながら、生きるために食べるいのちについて考える。

2014:6./ 179p

978-4-04-101332-8

本体 ¥440+税



朝日新聞 2018/04/28



FAKEな平成史

森 達也 著

KADOKAWA

天皇、放送禁止歌、オウム、オカルト、小人プロレス…。撮影したいテーマはことごとくタブー視され、発表媒体も限られるドキュメンタリー監督が、自粛と萎縮の正体を探るルポ&インタビュー。『本の旅人』連載に加筆し書籍化。

2017:9./ 262p

978-4-04-105254-9

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2018/04/28



祈りのカルテ

知念 実希人 著

KADOKAWA

内科、外科、小児科、救急科…。初期臨床研修で様々な科を回っている新米医師の諏訪野良太は、患者たちが抱える問題に耳を傾け、解決の糸口を懸命に探し…。連作医療ミステリ。『小説野性時代』掲載に加筆し単行本化。

朝日新聞 2018/04/28

2018:3./ 246p

978-4-04-106580-8

本体 ¥1,300+税



A〜マスコミが報道しなかったオウムの素顔〜(角川文庫)

森 達也 著

角川書店

朝日新聞 2018/04/28

2002:1./ 266p

978-4-04-362501-7

本体 ¥629+税



徴産制

田中 兆子 著

新潮社

新型インフルエンザの蔓延により 10?20 代女性の 9 割を喪った日本。性転換を義務化し出産を目指す「徴産制」に従事した 5 人の男たちが、苦悩と葛藤の果てに手にした「生きる意味」とは? 『小説新潮』に書き下ろしを追加。

朝日新聞 2018/04/28

2018:3./ 250p

978-4-10-335352-2

本体 ¥1,500+税



長いお別れ(ハヤカワ・ミステリ文庫 HM 7-1)

レイモンド・チャンドラー 著

早川書房

朝日新聞 2018/04/28

1981:1./ 488p

978-4-15-070451-3

本体 ¥1,000+税



手を伸ばせ、そしてコマンドを入力しろ

藤田 祥平 著

早川書房

母が自殺したとき、僕は自室で宇宙艦隊を率いていた。ネットゲームにはまり高校を中退、母親の自殺、鬱を乗り越え、大学で創作を学びつつ、星系間戦争ゲームで海外列強チームと対峙した日々を描いた、自伝的青春小説。

朝日新聞 2018/04/28

2018:4./ 343p

978-4-15-209762-0

本体 ¥1,700+税



プロ野球と鉄道〜新幹線開業で大きく変わったプロ野球〜(交通新聞社新書 121)

田中 正恭 著

交通新聞社

黎明期から現在までのプロ野球と鉄道の関わりについて、各種資料を検証・考察。往時のスター選手たちが語るエピソード、昭和の遠征事情、鉄道会社のプロ野球チームなど、さまざまな視点から、その深いつながりを紹介する。

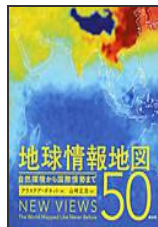
朝日新聞 2018/04/28

2018:2./ 255p

978-4-330-86318-4

本体 ¥800+税





地球情報地図 50〜自然環境から国際情勢まで〜

アラステア・ボネット、山崎 正浩 著

創元社

気象、海洋、災害、エネルギーから、移民、格差、幸福度、生物多様性まで、50ジャンルにおよぶ統計データを世界地図にマッピング。現代世界の知られざる側面を映し出すビジュアル報告書。

2018:3./ 223p

978-4-422-25082-3

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2018/04/28



たったひとつの「真実」なんてない〜メディアは何を伝えているのか?〜(ちくまプリマー新書 221)

森 達也 著

筑摩書房

ニュースや新聞は間違えないという思い込みは捨てよう。でも、?ばかりというのも間違い。メディアはすべて、事実と?の境界線上にある。私たちに不可欠となっているメディアを正しく使う方法を考える。

2014:11./ 201p

978-4-480-68926-9

本体 ¥820+税



朝日新聞 2018/04/28



電遊奇譚

藤田 祥平 著

筑摩書房

人生がゲームなのではなく、ゲームこそ人生の解釈である。ありとあらゆるゲームの魅力にとりつかれた若者が経巡る、栄光と喪失の遍歴の物語。『IGN JAPAN』連載を加筆し単行本化。

2018:4./ 279p

978-4-480-81544-6

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/04/28



失われた手稿譜〜ヴィヴァルディをめぐる物語〜

フェデリーコ・マリア・サルデッリ、関口 英子、栗原 俊秀 著

東京創元社

18 世紀に消えた、作曲家ヴィヴァルディの自筆楽譜がたどる数奇な運命とは? 指揮者、演奏家、音楽学者、版画家など幅広い活動で知られる鬼才が、綿密な研究調査をもとに描いた、謎解きと冒険譚の魅力を併せ持つ傑作小説。

2018:3./ 310p

978-4-488-01078-2

本体 ¥2,100+税



朝日新聞 2018/04/28



きょう、おともだちができたの(童心社のおはなしえほん)

得田 之久 著

童心社

はずかしがりやのゆうなちゃんに、初めてのおともだちができました。りなちゃんが「ゆうなちゃん、あそぼ」と言ってくれたのです。お家に帰ったゆうなちゃんは、明日が待ち遠しくて…。子どものまっすぐな気持ちを描いたお話。

2018:2./ 28p

978-4-494-01627-3

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2018/04/28



太陽系観光旅行読本〜おすすめスポット&知っておきたいサイエンス〜

オリヴィア・コスキー、ジェイナ・グルセヴィッチ、露久保 由美子 著

原書房

水星から海王星そして冥王星まで、架空の太陽系観光ツアーをガイド。準備、持ち物からおすすめ観光スポット、楽しいアクティビティ、知っておきたい科学知識まで、カラーイラスト付きで案内する。

2018:2./ 281p

978-4-562-05481-7

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/04/28



アニメと鉄道～鉄道シーンが記憶に残るアニメ～

「旅と鉄道」編集部 編

山と溪谷社

新海誠が描く美しい鉄道シーン、鉄道シーンの聖地巡礼、記憶に残る鉄道シーンが登場する注目のアニ鉄、懐かしアニメの鉄道…。鉄道シーンが記憶に残るアニメを紹介する。『旅と鉄道』掲載を単行本化。

2018:3./ 158p

978-4-635-82040-0

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/04/28



墓石が語る江戸時代～大名・庶民の墓事情～(歴史文化ライブラリー 464)

関根 達人 著

吉川弘文館

自らの想いや願いを石に刻むことが流行した江戸時代。当時の墓石からは、いかなる社会が見えてくるのか。歴史災害、大名家の見栄と建前、海運によるヒト・モノ・情報の交流など、墓石を通して垣間見える江戸時代像を提示する。

2018:4./ 6p,238p

978-4-642-05864-3

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2018/04/28



不染鉄之画集

不染 鉄 著

求龍堂

生涯にわたり各地を転々としながら、それぞれの場所で過ごした大切な思い出とともに風景を描き続けた幻の天才画家・不染鉄。その画業をオールカラーで収録した、没後 40 年にして初めての画集。横に開くパノラマページあり。

2018:3./ 181p

978-4-7630-1805-2

本体 ¥3,000+税



朝日新聞 2018/04/28



憲法関係答弁例集<第 9 条・憲法解釈関係>～(平成 28 年 9 月)内閣法制局執務資料～(信山社ブックス)

信山社出版

内閣法制局の情報公開資料を、検索に便利な項目細目次を付して復刻。憲法 9 条と自衛権、武力の行使、交戦権、有事法制など、平成 28 年までの憲法(第 9 条・憲法解釈)関係の国会答弁例等を集成。

2017:1./ 25p,549p

978-4-7972-8652-6

本体 ¥6,000+税



朝日新聞 2018/04/28



4ミリ同盟

高楼 方子、大野 八生 著

福音館書店

ひとり悩むポイト氏に、ある日見知らぬ女性が声をかけてきた。「あなた、まだ<アレ>を食べていませんか?」そして知らされる衝撃の事実…。どこか風変わりな中年と老年の男女 4 人による、ちょっと奇妙なお話。

2018:3./ 115p

978-4-8340-8395-8

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2018/04/28



エレクトリック・ギター革命史(Guitar magazine)

ブラッド・トリンスキー、アラン・ディ・ペルナ、石川 千晶 著

リットーミュージック

自らの指先で壮大なキャンパス上にギターのトーンや色彩や奏法を描き、広く世界へ向けて発信し、ギターという楽器の文化的な重要性を高めたアーティストたち。彼らを主役に、エレクトリック・ギター 130 年の歴史を綴る。

2018:2./ 543p

978-4-8456-3209-1

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2018/04/28



復刻版戦争放棄編～参議院事務局編『帝国憲法改正審議録 戦争放棄編』抜粋 (1952年)～

寺島 俊穂 著
三和書籍

第 90 回帝国議会における貴衆両院本会議および特別委員会の議事録を、国民が容易に通読し理解できるよう編まれた「帝国憲法改正審議録 戦争放棄編」(1952 年刊)の重要部分を抜粋し、復刻。解説付き。

2017:11./ 6p,399p
978-4-86251-284-0
本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2018/04/28



イオマンテ～めぐるいのちの贈り物～(北の大地の物語)

寮 美千子、小林 敏也 著
ロクリン社

アイヌの男の子のとうさんが、子熊を連れて帰ってきた。男の子は子熊といつも一緒に遊んでいた。やがて、大きくなった子熊を、カムイ(神)の国へ送ることになり…。アイヌ民族の熊送りの儀式「イオマンテ」を題材にした絵本。

2018:2./ 65p
978-4-907542-56-6
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2018/04/28



沖縄 憲法なき戦後～講和条約三条と日本の安全保障～

古関 彰一、豊下 樹彦 著
みすず書房

沖縄が「基地の島」になったのはなぜか。憲法と外交史の専門家が、膨大な国会議事録や行政文書、外交文書を渉猟し、「軍事植民地」沖縄が生み出された経緯と、日米両国がそれぞれ依拠してきた論理を解き明かす。

2018:2./ 11p,343p,23p
978-4-622-08676-5
本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2018/04/28、東京・中日新聞 2018/04/29



日本伝承遊び事典

東京おもちゃ美術館 編
黎明書房

ひな祭り、七夕、かごめかごめ、花いちもんめ、ベーゴマ…。日本の四季折々の伝統的な行事や遊びから約 300 を厳選し、遊び方の図解や多数の写真、わらべうたの楽譜などを交えて紹介した事典。

2018:2./ 270p
978-4-654-07632-1
本体 ¥4,500+税



朝日新聞 2018/04/28、毎日新聞 2018/04/29



イップス～魔病を乗り越えたアスリートたち～

澤宮 優 著
KADOKAWA

大事な場面で手が動かない…。その地獄から彼らはどうやって這い上がったのか? 原因不明の病「イップス」を体験したプロ野球選手やプロゴルファーが、どう症状に立ち向かい、そこからどう人生を切り開いていったかを記す。

2018:1./ 224p
978-4-04-105928-9
本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2018/04/01



かちがらす～幕末を読みきった男～

植松 三十里 著
小学館

佐賀藩主・鍋島直正は、日本を欧米列強の従属国にさせないために、反射炉の建設、大砲の製造、蒸気船の建造などの事業にいどんだ。その軍事力は、幕府側と倒幕派双方から求められ…。『佐賀新聞』連載を加筆し単行本化。

2018:2./ 318p
978-4-09-386493-0
本体 ¥1,750+税



東京・中日新聞 2018/04/01



高齢ドライバー(文春新書 1157)

所 正文、小長谷 陽子、伊藤 安海 著

文藝春秋

逆走、踏み間違い…。高齢ドライバーの痛ましい事故はなぜ続くのか？ 高齢者が免許を返納すれば済む話なのか？ 高齢ドライバーの認知、身体、社会について、専門家が提言する。

2018:2./ 230p

978-4-16-661157-7

本体 ¥830+税



東京・中日新聞 2018/04/01



源氏物語の教え～もし紫式部があなたの家庭教師だったら～(ちくまプリマー新書 294)

大塚 ひかり 著

筑摩書房

姫君の家庭教師・紫式部の教育方針とは？ 男女の出会いから婚姻に至るやり取りまでを克明に描いた「源氏物語」の実用性に光を当て、作者・紫式部が物語に込めた思いや知恵、女子が幸せになる方法などを紹介する。

2018:3./ 255p

978-4-480-68999-3

本体 ¥880+税



東京・中日新聞 2018/04/01



「明星」初期事情～晶子と鉄幹～(青磁社評論シリーズ 3)

尾崎 左永子 著

青磁社

著者がライフワークのひとつとして永年書き継いできた『明星』論や、そこに集った女流歌人群像の、初期からの論考をまとめた書。100 年以上昔に情熱的に生きた彼女たちを丁寧に描く。対談・講演録などを含む全 13 篇を収録。

2018:1./ 200p

978-4-86198-399-3

本体 ¥2,800+税



東京・中日新聞 2018/04/01



俳句の誕生

長谷川 櫂 著

筑摩書房

なぜ日本に俳句という短い詩が誕生したのか。言葉と詩歌の発生から、江戸時代半ばの近代大衆俳句の出発、戦後の高度成長以後の近代大衆俳句の内部崩壊までを扱い、松尾芭蕉、小林一茶、谷川俊太郎、大岡信らを論じる。

2018:3./ 190p

978-4-480-82379-3

本体 ¥2,300+税



東京・中日新聞 2018/04/01、日本経済新聞 2018/04/07



劉曉波伝

余 傑、劉 燕子 編

余 傑、劉 燕子、横澤 泰夫、和泉 ひとみ 著

集広舎

天安門事件、〇八憲章、ノーベル平和賞…。度重なる拘束や監視にもかかわらず、中国の民主化を訴えた劉曉波。最後まで彼と行動を共にした知識人が、劉曉波のライフヒストリーや思想を歴史の変動という脈絡に位置づけた伝記。

2018:2./ 508p

978-4-904213-55-1

本体 ¥2,700+税



東京・中日新聞 2018/04/01、日本経済新聞 2018/04/14



期待はずれのドラフト 1 位～逆境からのそれぞれのリベンジ～(岩波ジュニア新書 843)

元永 知宏 著

岩波書店

失敗しても、成功しても、そこで終わりではない。何歳になっても「人生はこれから」なのだ。将来を嘱望されてプロ入りした 6 人の野球選手。戦力外通告、現役引退…。彼らの苦悩と新たな挑戦の軌跡を追う。

2016:10./ 12p,200p

978-4-00-500843-8

本体 ¥860+税



東京・中日新聞 2018/04/08



死体は?をつかない～全米トップ検死医が語る死と真実～

ヴィンセント・ディ・マイオ、ロン・フランセル、満園 真木 著

東京創元社

白人男性による黒人少年射殺は殺人か、正当防衛か。男児 3 人は悪魔崇拝者に殺されたのか。驚愕、衝撃、悲劇の事件の真実を、全米トップ検死医が鮮やかに解き明かす。アメリカ探偵作家クラブ賞候補の傑作ノンフィクション。

2018:1./ 333p

978-4-488-00386-9

本体 ¥2,500+税



東京・中日新聞 2018/04/08



宝塚戦略～小林一三の生活文化論～(読みなおす日本史)

津金澤 聡廣 著

吉川弘文館

阪急・東宝グループの創立者小林一三は、沿線の住宅地開発やターミナル・デパートの創設など、鉄道以外の分野にも進出した。最大の功績は宝塚少女歌劇に代表される文化活動にある。時代を先取りした彼の理想と戦略に迫る。

2018:4./ 191p

978-4-642-06760-7

本体 ¥2,200+税



東京・中日新聞 2018/04/08



宮本常一瀬戸内文化誌

宮本 常一、田村 善次郎 編

宮本 常一 著

八坂書房

宮本常一にとって終生のテーマであった「瀬戸内海の研究」。3000 の島、海上交通の大動脈、船旅、多様な漁業、製塩、海賊衆などについて綴った、瀬戸内海関係の論考を収録する。

2018:1./ 411p

978-4-89694-243-9

本体 ¥2,800+税



東京・中日新聞 2018/04/08



私の少女マンガ講義

萩尾 望都 著

新潮社

「リボンの騎士」から「大奥」まで、少女マンガの歴史をひもといたイタリアでの講義を、聴衆との質疑応答とともに完全収録。創作作法や新作「春の夢」など、自作についてもしっかり語り下ろしたハギオモト流少女マンガ論。

2018:3./ 221p

978-4-10-399602-6

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2018/04/08、日本経済新聞 2018/04/21



雪の階

奥泉 光 著

中央公論新社

華族の娘・惟佐子は、親友・寿子の心中事件に疑問を抱き、新米カメラマンの千代子とともに謎を追ひ始める。ふたりの前にさまざまな人物が現れ…。戦前昭和を舞台に描くミステリーロマン。『中央公論』連載を単行本化。

2018:2./ 587p

978-4-12-005046-6

本体 ¥2,400+税



東京・中日新聞 2018/04/15



日本の初期モダニズム建築家

吉田 鋼市 著

王国社

大正・昭和戦前期に活躍した建築家たちは、時代と格闘しつつも、時に時代に寄り添い、今日に残る仕事をした。モダニズムの建築家の証跡である現存する建物を紹介しながら、それらを手がけた建築家の真の姿に切り込む。

2018:3./ 190p

978-4-86073-067-3

本体 ¥1,800+税



東京・中日新聞 2018/04/15



「愛国」という名の亡国論～「日本人すごい」が日本をダメにする～

窪田 順生 著

さくら舎

「日本人は優れている」「日本は世界一」をうたうテレビ・新聞・本の「愛国番組・報道」が蔓延する日本はもはや危険水域に入っている! 「いつか来た道」を辿らないために、メディアリテラシーの重要性を説く警告の書。

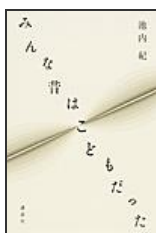
2017:11./ 238p

978-4-86581-123-0

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2018/04/22



みんな昔はこどもだった

池内 紀 著

講談社

何か、とても肝心なことを宿しており、おりにつけ奇妙な初々しきでよみがえる。手塚治虫、向田邦子、高峰秀子、野坂昭如ら、個性的な仕事をなした 15 人のこども時代を、当人が回想してつづったものや資料をもとに振り返る。

2018:3./ 253p

978-4-06-220737-9

本体 ¥1,950+税



東京・中日新聞 2018/04/29



ホロヴィッツ～20 世紀最大のピアニストの生涯と全録音～

中川 右介、石井 義興 著

アルファベータブックス

「レコード」が実用化されたのと同時期にアメリカにデビューし、CD が普及した頃に亡くなった。「レコードのピアニスト」だったホロヴィッツの演奏の録音記録と生涯の物語を一冊に集約する。ディスコグラフィ付き。

2018:4./ 284p,67p

978-4-86598-053-0

本体 ¥2,500+税



東京・中日新聞 2018/04/29



美の日本～「もののあはれ」から「かわいい」まで～(明治大学リバティブックス)

伊藤 氏貴 著

明治大学出版会

1862 年のロンドン万博から「クールジャパン」に至るまで、日本は海外に対して「日本的なるもの」を売りにしてきた。日本的な「美」とは何か。美意識をめぐる概念を審問に付す。明治大学文学部での講義をもとに書籍化。

2018:3./ 7p,223p

978-4-906811-23-6

本体 ¥2,300+税



東京・中日新聞 2018/04/29



ギガタウン～漫符図譜～

こうの 史代 著

朝日新聞出版

うさぎ一家と動物たちが繰り広げるほんわか日常生活を、鳥獣戯画へのオマージュを込めてユーモラスに描いた4コマ漫画。漫画特有の表現記号=漫符の解説付き。『一冊の本』連載を単行本化。

2018:1./ 119p

978-4-02-251512-4

本体 ¥840+税



読売新聞 2018/04/01



沙門空海唐の国にて鬼と宴す<巻ノ3>(角川文庫 ゆ 3-8)

夢枕 獏 著

角川書店

安祿山の乱の折、最愛の楊貴妃を処刑せざるを得ない状況に陥った玄宗皇帝。だがそこに現れた道士・黄鶴は驚くべき提案をする——。安倍仲麻呂が李白に遺した手紙で空海たちが知った、身の毛もよだつ顛末とは!?

2011:11./ 484p

978-4-04-100016-8

本体 ¥640+税



読売新聞 2018/04/01



沙門空海唐の国にて鬼と宴す<巻ノ4>(角川文庫 ゆ 3-9)

夢枕 獏 著

角川書店

玄宗と楊貴妃の悲劇から始まった呪いは時を越えて結晶し、順宗皇帝は瀕死の状態に陥る。柳宗元に呪法の正体を暴くように依頼された空海は、驪山の華清宮へと向かった——。壮大な歴史伝奇絵巻、ここに完結!

2011:11./ 508p

978-4-04-100017-5

本体 ¥640+税



読売新聞 2018/04/01



沙門空海唐の国にて鬼と宴す<巻ノ1>(角川文庫 ゆ 3-6)

夢枕 獏 著

角川書店

読売新聞 2018/04/01

2011:10./ 490p

978-4-04-162616-0

本体 ¥640+税



沙門空海唐の国にて鬼と宴す<巻ノ2>(角川文庫 ゆ 3-7)

夢枕 獏 著

角川書店

読売新聞 2018/04/01

2011:10./ 498p

978-4-04-162617-7

本体 ¥640+税



空海「三教指帰」(角川ソフィア文庫)

空海、加藤 純隆、加藤 精一 著

角川学芸出版

読売新聞 2018/04/01

2007:9./ 185p

978-4-04-407202-5

本体 ¥720+税





伝わる技術～力を引き出すコミュニケーション～(講談社現代新書 2468)

風間 八宏 著

講談社

名古屋グランパスを1年でJ1に復帰させ、川崎フロンターレ初優勝の礎となった「面白くて強い」サッカーを作った、常識を覆す「伝え方」とは。人を変える、成長させるための「伝え方」、コミュニケーションの方法を公開する。

2018:2./ 221p

978-4-06-220997-7

本体 ¥800+税



読売新聞 2018/04/01



その可能性はすでに考えた(講談社文庫 い 144-1)

井上 真偽 著

講談社

少年は首を斬り落とされながらも彼女を守った。集団自殺の唯一の生き残りである少女の不可思議な記憶。依頼を受けた探偵は奇蹟がこの世に存在することを証明するため、すべてのトリックが不成立であることを立証する!

2018:2./ 391p

978-4-06-293853-2

本体 ¥760+税



読売新聞 2018/04/01



ラメルノエリキサ(集英社文庫 わ 16-1)

渡辺 優 著

集英社

女子高生・小峰りなのモットーはどんな些細な不愉快事でも必ず「復讐」でケリをつけること。そんな彼女が夜道でナイフで切り付けられた。りなは犯人が残した「ラメルノエリキサ」という言葉を手がかりに事件の真相を追うが....

2018:2./ 194p

978-4-08-745700-1

本体 ¥460+税



読売新聞 2018/04/01



曼陀羅の人～空海求法伝～<上>(集英社文庫)

陳 舜臣 著

集英社

読売新聞 2018/04/01

1997:12./ 431p

978-4-08-748718-3

本体 ¥686+税



曼陀羅の人～空海求法伝～<下>(集英社文庫)

陳 舜臣 著

集英社

読売新聞 2018/04/01

1997:12./ 460p

978-4-08-748719-0

本体 ¥686+税



空海の風景<上巻> 新装改版

司馬 遼太郎 著

中央公論新社

弘法大師空海の足跡をたどり、その時代風景のなかに自らを置き、過去と現在の融通無碍の往還によって、日本が生んだ最初の「人類普遍の天才」の実像に迫る。司馬文学の傑作。75年中央公論社刊の新装改版。上巻。

2005:6./ 347p

978-4-12-003645-3

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/04/01



空海の風景<下巻> 新装改版

司馬 遼太郎 著

中央公論新社

弘法大師空海の足跡をたどり、その時代風景のなかに自らを置き、過去と現在の融通無碍の往還によって、日本が生んだ最初の「人類普遍の天才」の実像に迫る。司馬文学の傑作。75年中央公論社刊の新装改版。下巻。

2005:6./ 384p

978-4-12-003646-0

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/04/01



高座のホームズ～昭和稲荷町らくご探偵～(中公文庫 あ 79-2)

愛川 晶 著

中央公論新社

昭和 50 年代、八代目林家正蔵の住む稲荷町の長屋には、傷害事件から恋愛沙汰まで、さまざまな謎が持ち込まれ…。なつかしいあの頃の落語界を舞台に、探偵・正蔵が快刀乱麻を断つ。林家正雀の寄稿も収録。

2018:3./ 256p

978-4-12-206558-1

本体 ¥680+税



読売新聞 2018/04/01



誰が音楽をタダにした?～巨大産業をぶっ潰した男たち～(ハヤカワ文庫 NF 518)

スティーヴン・ウィット、関 美和 著

早川書房

田舎の工場で発売前の CD を盗んでいた労働者、mp3 を発明した技術者、業界を牛耳る大手レーベルの CEO…。音楽産業を没落させた張本人たちの強欲と悪知恵、才能と友情に迫った群像ノンフィクション。

2018:3./ 378p

978-4-15-050518-9

本体 ¥940+税



読売新聞 2018/04/01



炎と怒り～トランプ政権の内幕～

マイケル・ウォルフ、関根 光宏、藤田 美菜子 著

早川書房

2017 年 1 月の就任以来、世界を振り回してきたアメリカのトランプ大統領。1 年半にわたる 200 件以上の関係者取材をもとに、驚くほど政策を知らない大統領の姿と、政権の知られざる内情を描き出す。

2018:2./ 493p

978-4-15-209756-9

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/04/01



陰陽師(文春文庫)

夢枕 獏 著

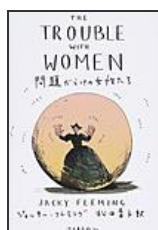
文芸春秋

読売新聞 2018/04/01

1991:2./ 333p

978-4-16-752801-0

本体 ¥590+税



問題だらけの女性たち

ジャッキー・フレミング、松田 青子 著

河出書房新社

19 世紀ヴィクトリア朝の女性たちが、いかにバカバカしい迷信と固定観念に苦しんだか。何をしても「問題」があると決めつけられ、歴史のゴミ箱に捨てられた女性たちを、イラストとともに、ユーモアと皮肉ですくい上げる。

2018:3./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-309-20739-1

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/04/01



センセイの書齋～イラストルポ「本」のある仕事場～

内澤 旬子 著

河出書房新社

南伸坊、森まゆみ、養老孟司、上野千鶴子...、細密なイラストと文章で明らかにする、31の「本が生まれる場所」。

読売新聞 2018/04/01

2011:1./ 240p

978-4-309-41060-9

本体 ¥750+税



レーニン権力と愛<上>

ヴィクター・セベスチエン、三浦 元博、横山 司 著

白水社

最新史料から見える「人間レーニン」とは？ 妻や愛人、同志や敵、人物模様と逸話を通して、革命の舞台裏と意外な素顔に迫る評伝。上は、生誕から革命前夜までを収録。

読売新聞 2018/04/01

2017:11./ 360p, 21p

978-4-560-09585-0

本体 ¥3,800+税



レーニン権力と愛<下>

ヴィクター・セベスチエン、三浦 元博、横山 司 著

白水社

最新史料から見える「人間レーニン」とは？ 妻や愛人、同志や敵、人物模様と逸話を通して、革命の舞台裏と意外な素顔に迫る評伝。下は、10月革命から志半ばの病死までを収録。

読売新聞 2018/04/01

2017:11./ 355p, 49p

978-4-560-09586-7

本体 ¥3,800+税



登山者のための法律入門～山の法的トラブルを回避する～(ヤマケイ新書YS039)

溝手 康史 著

山と溪谷社

落石で他人にケガをさせたら？ 山で焚き火をしてもよいのか？ 高校生の冬山は禁止できるか？ ツアー登山の事故と責任は？ 登山中に生じるさまざまな法的なトラブルと、それに巻き込まれない方法について弁護士が解説。

読売新聞 2018/04/01

2018:1./ 230p

978-4-635-51048-6

本体 ¥900+税



1924～ヒトラーが“ヒトラー”になった年～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 3-4)

ピーター・ロス・レンジ、菅野 楽章 著

亜紀書房

ヒトラーの挫折の年であり、挫折を栄光に変えるための転換の年でもあった 1924年。ミュンヘン一揆に敗れ、獄中で過ごした知られざるヒトラーの1年に、膨大な資料から肉薄する歴史ノンフィクション。

読売新聞 2018/04/01

2018:2./ 319p, 26p

978-4-7505-1536-6

本体 ¥3,000+税



まるごと本棚の本

センドポイント・パブリッシング 編

和田 侑子 著

グラフィック社

住空間や図書の種類にあわせてトランスフォームする本棚、ソファやランプ、彫刻や絵画の役割を果たすアーティスティックな本棚...。多機能性を持ちながら空間をスタイリッシュに演出する本棚の数々を紹介する。

読売新聞 2018/04/01

2017:4./ 269p

978-4-7661-3016-4

本体 ¥2,500+税





日本の最も美しい図書館

立野井 一恵 著

エクスナレッジ

歴史的な建物を今も使い続けているレトロ図書館から、モダニズム図書館、最新の図書館まで。一度は訪れたい日本の美しい 41 の図書館を厳選して紹介する。図書館の歴史等がわかるコラムも掲載。

読売新聞 2018/04/01

2015:5./ 153p

978-4-7678-1985-3

本体 ¥1,800+税



死神裁判〜妻を奪われたボヘミア農夫の裁判闘争〜

ヨハネス・デ・テプラ、青木 三陽、石川 光庸 著

現代書館

妻を病気で亡くした農夫が死神を殺人罪で訴え、さらに妻の生命回復を要求し、裁判長を務める神の前で論戦が始まった…。生命と愛の大切さを訴える農夫と、命のはかなさと現世の辛さを語る死神の問答集を新訳。

読売新聞 2018/04/01

2018:2./ 243p

978-4-7684-5808-2

本体 ¥2,500+税



パチンコ産業史〜周縁経済から巨大市場へ〜

韓 載香 著

名古屋大学出版会

パチンコ産業は、なぜ巨大市場へと発展することができたのか。パチンコ産業の発展の軌跡を、ホール、メーカー、規制や消費の動向からトータルにとらえ、その等身大の姿を浮きぼりにする。

読売新聞 2018/04/01

2018:2./ 5p,419p,9p

978-4-8158-0898-3

本体 ¥5,400+税



本棚の本

赤澤 かおり 著

KTC中央出版

料理家、花屋、カメラマン、文筆家…。編集者である著者が、全 19 組の仕事人の本と本棚と人生の物語を引き出した、本棚探訪記。それぞれの仕事人によるおすすめ本も掲載。アノニマ・スタジオの web サイト連載を加筆修正。

読売新聞 2018/04/01

2017:10./ 213p

978-4-87758-766-6

本体 ¥1,800+税



AI vs.教科書が読めない子どもたち

新井 紀子 著

東洋経済新報社

気鋭の数学者が AI の誤解や限界を示す一方で、大規模な調査の結果わかった日本人の読解力の低下を指摘。AI 化が進んだ未来の行き着く先の最悪のシナリオと教育への提言を導き出す。

読売新聞 2018/04/01、朝日新聞 2018/04/14、産経新聞 2018/04/15

2018:2./ 287p

978-4-492-76239-4

本体 ¥1,500+税



「亡命」の音楽文化誌

エティエンヌ・バリリエ、西 久美子 著

アルテスパブリッシング

音楽家の「祖国」はどこにあるのか？ 政治的亡命(ラフマニノフ)、祖国の喪失(ショパン)...。歴史の荒波に翻弄された音楽家たちの闘いを描く。ラ・フォル・ジュルネ音楽祭の日仏共通オフィシャル・ブック。

読売新聞 2018/04/01、毎日新聞 2018/04/08

2018:3./ 342p,15p

978-4-86559-182-8

本体 ¥2,400+税





その情報、本当ですか?〜ネット時代のニュースの読み解き方〜(岩波ジュニア新書 866)

塚田 祐之 著

岩波書店

ネットやテレビの膨大な情報から「真実」を読み取るにはどうすればよいのか。テレビ報道に長年携わってきた著者が、自身の経験を交えて「事実」「真実」とは何かを考え、ニュース・情報を読み解く力をつける大切さを伝える。

2018:2./ 14p,231p

978-4-00-500866-7

本体 ¥900+税



読売新聞 2018/04/01、毎日新聞 2018/04/15



朝鮮大学校物語

ヤン ヨンヒ 著

KADOKAWA

全寮制、日本語禁止、無断外出厳禁。大阪下町育ちのミヨンが飛びこんだ「大学」は、高い塀の中だった。東京に実在するもうひとつの<北朝鮮>を舞台に、恋と出会い、挫折、卒業を描く小説。

2018:3./ 231p

978-4-04-400092-9

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/04/08



宿命〜警察庁長官狙撃事件捜査第一課元刑事の23年〜

原 雄一 著

講談社

警察庁長官狙撃事件の容疑者・中村泰の捜査はなぜ封印されたのか? 警視庁幹部、警察組織、現場捜査員、社会情勢などの「宿命」が絡み合い、葬り去られた事件の真相に迫る。緻密な捜査ノートをもとに綴ったノンフィクション。

2018:3./ 303p

978-4-06-221024-9

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/04/08



ルナティック雑技団<1>(りぼんマスコットコミックス)

岡田 あ?みん 著

集英社

読売新聞 2018/04/08

2015:7./ 239p

978-4-08-867379-0

本体 ¥600+税



ルナティック雑技団<2>(りぼんマスコットコミックス)

岡田 あ?みん 著

集英社

読売新聞 2018/04/08

2015:7./ 233p

978-4-08-867380-6

本体 ¥600+税



ルナティック雑技団<3>(りぼんマスコットコミックス)

岡田 あ?みん 著

集英社

読売新聞 2018/04/08

2015:7./ 216p

978-4-08-867381-3

本体 ¥600+税





師匠、御乱心!(小学館文庫 さ30-1)

三遊亭 円丈 著
小学館

昭和 53 年、名人・三遊亭円生が、落語協会の方針に異を唱え、一門を率いて協会を脱退した。弟子たちに広がる疑心暗鬼、崩壊する師匠との絆…。落語界の一大騒動を内側から描く。後日譚、三遊亭円楽・小遊三との鼎談も収録。

読売新聞 2018/04/08

2018:3./ 317p
978-4-09-406499-5
本体 ¥630+税



誘拐犯はカラスが知っている〜天才動物行動学者白井旗男〜(新潮文庫 あ-92-1)

浅暮 三文 著
新潮社

イヌワシが有力目撃者? アリは身元を偽装する? 天才動物行動学者が、知られざる動物の習性に関する知識を武器に、次々と難事件を解決する新感覚ミステリ。『yomyom pocket』ほか掲載を加筆し文庫化。

読売新聞 2018/04/08

2018:2./ 392p
978-4-10-121291-3
本体 ¥630+税



話術(新潮文庫 と-31-1)

徳川 夢声 著
新潮社

話は誰でもできる。だからこそ、上手に話すことは難しい。ではどうすればいいか。会議、プレゼン、雑談、スピーチなど、あらゆる場面で役立つ、話術の神様・徳川夢声が書き残した<話し方>の教科書。

読売新聞 2018/04/08

2018:4./ 253p
978-4-10-121361-3
本体 ¥490+税



センチメンタルな旅・冬の旅

荒木 経惟 著
新潮社

読売新聞 2018/04/08

1991:2./ 1冊
978-4-10-380001-9
本体 ¥3,000+税



リズムの哲学ノート

山崎 正和 著
中央公論新社

文明一般から自然現象におよぶ森羅万象に遍在するリズム。リズムの構造を根底に据えることによって、古代以来、哲学を苦しめてきた病弊「一元論的二項対立」の克服をめざす。『アステイオン』連載に加筆して書籍化。

読売新聞 2018/04/08

2018:3./ 262p
978-4-12-005066-4
本体 ¥2,200+税



装飾とデザイン(中公文庫 や9-5)

山崎 正和 著
中央公論新社

秩序と逸脱、簡素と過剰、普遍への志向と個物への固執…。人間の根源的な営みである「造形」の歴史を、対極的な 2 つの原理、「デザイン」と「装飾」のダイナミックな葛藤として読み解く壮大な文明論。

読売新聞 2018/04/08

2015:11./ 357p
978-4-12-206199-6
本体 ¥1,000+税





世界文明史の試み～神話と舞踊～<上>(中公文庫 や 9-6)

山崎 正和 著
中央公論新社

人類の文明はいまや初めて地球的な規模で統一され、かつてない「世界文明」といふべきものが誕生しつつある。その始原を先史時代に遡って探り、人類の文明史を「一貫した趨勢の連続」として捉える野心的論考。

2017:12./ 311p
978-4-12-206482-9
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/04/08



世界文明史の試み～神話と舞踊～<下>(中公文庫 や 9-7)

山崎 正和 著
中央公論新社

レオ・フロベニウスに着想を得、ベルクソンやメルロー＝ポンティらの思索を批判的に継承しつつ、哲学と歴史学など関連諸学の成果を取り入れて展開される独創的な文明史。

2017:12./ 295p
978-4-12-206483-6
本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/04/08



あなたの人生の物語(ハヤカワ文庫 SF)

テッド・チャン 著
早川書房

読売新聞 2018/04/08

2003:9./ 521p
978-4-15-011458-9
本体 ¥960+税



夫婦からくり(光文社文庫 な 35-5)

中島 要 著
光文社

十手持ちの辰三が姿を消して 4 年。茶問屋の後家が、芝で辰三に 20 両を奪われたという。さらに、十手を受け継いでいる文治には、同心の栗山を殺した疑いが向けられる。辰三の行方、そしてすべての真相とは…。

2018:3./ 298p
978-4-334-77623-7
本体 ¥600+税



読売新聞 2018/04/08



野尻湖のナウマンゾウ～市民参加でさぐる氷河時代～

野尻湖発掘調査団 著
新日本出版社

長野県北部の野尻湖で旧石器時代遺跡の発掘調査が始まってから 57 年。野尻湖発掘調査団の成果を分かりやすく解説する。市民が参加して発掘調査が進められている、特色ある研究スタイルも紹介。見返しに分布図等あり。

2018:3./ 165p
978-4-406-06194-0
本体 ¥1,300+税



読売新聞 2018/04/08



享楽社会論～現代ラカン派の展開～

松本 卓也 著
人文書院

ジャック・ラカンが提出した「剰余享楽」「資本主義のディスクール」といった概念は、現代社会の現象の把握のためにきわめて有効である。現代ラカン派の理論を紹介し、臨床や政治社会における広範な事象に応用・分析を試みる。

2018:3./ 296p
978-4-409-34051-6
本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/04/08



避けられたかもしれない戦争～21 世紀の紛争と平和～

ジャン＝マリー・ゲロー、庭田 よう子 著

東洋経済新報社

大国のエゴ、奪われる命。どれだけ犠牲を払えば、人類は平和を手に入れられるのか。元国連 PKO 責任者がみた、11 の紛争の舞台裏。21 世紀の平和維持活動の現実とときわめて困難な任務を如実に語る回顧録。

2017:12./ 12p,617p,9p
978-4-492-44445-0

本体 ¥3,400+税



読売新聞 2018/04/08



湯川秀樹～詩と科学～(STANDARD BOOKS)

湯川 秀樹 著

平凡社

日本人初のノーベル賞を受賞した湯川秀樹は「科学界の詩人」と呼ばれ、端正な文章で人々を魅了した。鋭い観察眼と人間愛光る名随筆 35 篇を厳選して収録する。もっと湯川秀樹を知りたい人のためのブックガイド付き。

2017:2./ 217p

978-4-582-53159-6

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2018/04/08



足利尊氏と足利直義～動乱のなかの権威確立～(日本史リブレット人 036)

山家 浩樹 著

山川出版社

室町幕府を樹立した足利尊氏・直義兄弟は、権威の確立にどのように腐心したのか。ふたりによる草創期はのちの幕府にどのように位置づけられたのか。兄弟が共同で何をめざしたのかという視点から、権威確立のようすを概観する。

2018:2./ 94p

978-4-634-54836-7

本体 ¥800+税



読売新聞 2018/04/08



ニューヨークで考え中

近藤 聡乃 著

亜紀書房

2008 年の秋に単身ニューヨークへ。パワフルな大都会にもまれつつも、少しずつ自分の居場所を築いていった日々のあれこれを綴るコミックエッセイ。前日譚を描いたリーフレット付き。『マトグロソ』等掲載に加筆・修正。

2015:4./ 160p

978-4-7505-1429-1

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/04/08



ここは、おしまいの地

こだま 著

太田出版

私はヤンキーと百姓が九割を占める集落で生まれ育った。洗練されたものがまるで見当たらない最果ての土地だった。見てきた景色や屈折した感情をありのまま綴った自伝的エッセイ。『Quick Japan』連載を書籍化。

2018:1./ 244p

978-4-7783-1612-9

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2018/04/08



日本のムラージュ～近代医学と模型技術 皮膚病・キノコ・寄生虫～

石原 あえか、大西 成明 著

青弓社

皮膚疾患や珍しい症例を患部から石膏で直接かたどって作った現物大の?製医学模型標本「ムラージュ」。その歴史を丹念に調査した研究の集大成。職人たちの人生や、ユーモラスな寄生虫や愛らしいキノコも織り込んだ第一級史料。

2018:1./ 163p

978-4-7872-3430-8

本体 ¥3,600+税



読売新聞 2018/04/08



ちいさなうさこちゃん(子どもがはじめてであう絵本)

ディック・ブルーナ、いしい ももこ 著

福音館書店

ふわふわさんとふわおくさんに、赤ちゃんができました。うさこちゃんと名づけられたその赤ちゃんをお祝いするため、あちこちから動物がやってきて…。新ブルーナ・カラーで印刷、新しい書体ウサコズフォントを使用した改版。

1964:6./ 1冊

978-4-8340-0026-9

本体 ¥700+税



読売新聞 2018/04/08



雪割草

横溝 正史、浜田 知明 編

横溝 正史 著

戎光祥出版

突然婚約を取り消された、地元の実力者の一人娘・有為子。実の娘ではないことを知った彼女は、父の遺した手紙を頼りに上京し…。<探偵小説が禁じられた時代>に、家庭小説として地方紙に連載された横溝正史の幻の長編小説。

2018:3./ 451p

978-4-86403-281-0

本体 ¥2,600+税



読売新聞 2018/04/08



幸福書房の四十年ピカピカの本屋でなくちゃ!

岩楯 幸雄 著

左右社

小田急線代々木上原駅前の小さな書店「幸福書房」。1977 年の開店以来、40 年にわたって地元の人や多くの本好きに愛されてきたが、2018 年 2 月に閉店した。店主が、これまでのお客様との交流や本への思いなどを綴る。

2018:2./ 99p

978-4-86528-190-3

本体 ¥1,250+税



読売新聞 2018/04/08



潜伏キリシタンは何を信じていたのか

宮崎 賢太郎 著

KADOKAWA

江戸初期から明治国家誕生まで、命がけで信仰を守り通したとされる潜伏キリシタン。しかし彼らはキリスト教の三位一体の意味を理解できたのだろうか。キリシタン=「夢とロマン」の幻想を覆し、日本民衆の宗教観を紐解く。

2018:2./ 293p

978-4-04-400345-6

本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/04/08、朝日新聞 2018/04/14



かくれキリシタンの起源～信仰と信者の実相～

中園 成生 著

弦書房

現在も続く、かくれキリシタン信仰。見えてきたのは、宣教師たちが日本人の精神と暮らしを理解して創出した「日本人のキリスト教」と、信者が選択した「信仰並存」という形だった。かくれキリシタンの実像を明らかにする。

2018:3./ 486p 図版 8

枚

978-4-86329-165-2

本体 ¥4,000+税



読売新聞 2018/04/08、東京・中日新聞 2018/04/22



ヒトごろし

京極 夏彦 著

新潮社

鬼と恐れられた新選組の副長・土方歳三。幼き日に目にしたある光景が、彼の運命を狂わせていく。胸に蠢く黒い衝動に駆られ、人でなしとして生きる道の先には…。新選組の闇に切り込む禁断の異聞。『週刊新潮』連載を単行本化。

2018:1./ 1,083p

978-4-10-339612-3

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2018/04/08、日本経済新聞 2018/04/28



英国一家、日本を食べる<上>(角川文庫 フ 39-1)

マイケル・ブース、寺西 のぶ子 著

KADOKAWA

築地市場に魅了され、洗練された日本人の食感に驚き、相撲部屋を訪れ、かつぱ橋、ラーメン横丁、味の素社へ。現代日本のリアルな料理の現場を「食いしん坊」と「ジャーナリスト」の複眼で探し、食べまくった英国一家の食紀行。

読売新聞 2018/04/15

2018:2./ 236p

978-4-04-103888-8

本体 ¥800+税



英国一家、日本を食べる<下>(角川文庫 フ 39-2)

マイケル・ブース、寺西 のぶ子 著

KADOKAWA

京都ではホストに出逢って鯖鮓に舌鼓を打ち、大阪ではお好み焼きに串カツではしご酒-。現代日本のリアルな料理の現場を「食いしん坊」と「ジャーナリスト」の複眼で探し、食べまくった英国一家の食紀行。

読売新聞 2018/04/15

2018:2./ 234p

978-4-04-103889-5

本体 ¥800+税



英国一家、日本をおかわり

マイケル・ブース、寺西 のぶ子 著

KADOKAWA

英国人フードジャーナリスト一家が、またまた日本を食べにやって来た! ハブ酒や豆腐ように顔をしかめ、鮎寿司にくらくら...沖縄に始まり北海道へ、B 級から三ツ星までを食べ尽くす。列島縦断珍道中、爆笑の体験型食エッセイ!

読売新聞 2018/04/15

2018:3./ 427p

978-4-04-103890-1

本体 ¥1,800+税



幸福な遊戯(角川文庫)

角田 光代 著

角川書店

読売新聞 2018/04/15

2003:11./ 221p

978-4-04-372601-1

本体 ¥520+税



コマドリの賭け<上>(集英社文庫 ネ 1-12)

ジョー・ネスボ 著

集英社

アメリカ大統領の警護で起きたアクシデントを隠蔽したい上層部の意向で、公安警察局長の閑職に異動となったハリー。しかし、ある報告から、ノルウェーに高性能狙撃ライフルが密輸された形跡を見て取り...

読売新聞 2018/04/15

2018:2./ 415p

978-4-08-760746-8

本体 ¥920+税



コマドリの賭け<下>(集英社文庫 ネ 1-13)

ジョー・ネスボ 著

集英社

高性能ライフル密輸入の謎を追うハリーは、銃を手に入れた人物が、第二次世界大戦中に東部戦線で戦った男ではないかと見抜く。また、銃密輸組織の頂点に、“プリンス”と名乗る男がいることを知り...

読売新聞 2018/04/15

2018:2./ 331p

978-4-08-760747-5

本体 ¥780+税





吉祥寺デイズ～うまうま食べもの・うしうしゴシップ～

山田 詠美 著

小学館

美味なる食べものやお酒、大切な人との時間や場所から度重なる「不倫」報道や政治、事件のニュース…。日常をカラフルな幸せと共に過ごすためのエッセイ全95篇を収録。『女性セブン』連載を書籍化。

読売新聞 2018/04/15

2018:3./ 299p

978-4-09-396542-2

本体 ¥1,350+税



未来の呪縛～日本は人口減から脱出できるか～(中公新書ラクレ 617)

河合 雅司 著

中央公論新社

日本の少子化に戦後 GHQ が大きく関与していた。仕組みれた異とは何だったのか。1945 年(昭和 20 年)まで歴史をさかのぼり検証する。少子化対策 10 の提言も収録。

読売新聞 2018/04/15

2018:4./ 229p

978-4-12-150617-7

本体 ¥780+税



遺伝子～親密なる人類史～<上>

シッダールタ・ムカジー、仲野 徹、田中 文 著

早川書房

遺伝子研究はどのような歴史を経て、今日の隆盛を迎えたのか? ピュリッツァー賞を受賞した医学者が、専門知識と自らの家系に潜む精神疾患の悲劇を織り交ぜて「遺伝子」の全てを語る科学ノンフィクション。

読売新聞 2018/04/15

2018:2./ 420p

978-4-15-209731-6

本体 ¥2,500+税



遺伝子～親密なる人類史～<下>

シッダールタ・ムカジー、仲野 徹、田中 文 著

早川書房

遺伝情報を読むだけでなく、書き換えることができるようになったとき、人間の条件はどう変わるのか? 科学と倫理のせめぎ合いを通して、私たちの現在と未来を照らし出す。

読売新聞 2018/04/15

2018:2./ 418p

978-4-15-209732-3

本体 ¥2,500+税



死の島

小池 真理子 著

文藝春秋

定年後、小説講座で教えながら独り暮らす、澤登志夫。プライド高く生きてきた男が不治の病に侵され、余命を知った時、死をどう迎えるか。現代をゆさぶる傑作長編。『オール讀物』掲載を単行本化。

読売新聞 2018/04/15

2018:3./ 409p

978-4-16-390805-2

本体 ¥1,700+税



コルシア書店の仲間たち(文春文庫)

須賀敦子 著

文藝春秋

読売新聞 2018/04/15

1995:11./ 237p

978-4-16-757701-8

本体 ¥530+税





山本周五郎名品館<1> おたふく(文春文庫 や 69-1)

山本 周五郎、沢木 耕太郎 編

山本 周五郎 著

文藝春秋

膨大な山本周五郎の作品群から、名品を選びに選んだ短編傑作選。日本女性の最も美しく貴い姿を集約させたともいえる「松の花」、自らの性に翻弄される女を描いた「おさん」など、全9編を収録する。

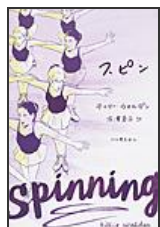
2018:4./ 473p

978-4-16-791055-6

本体 ¥850+税



読売新聞 2018/04/15



スピン

ティリー・ウォルデン、有澤 真庭 著

河出書房新社

あの頃、わたしにはスケートの才能があった。それが煩わしかった。そして、ひそかに女の人に恋をした…。5歳から12年間、アイススケーターだった著者が、練習と試合に明け暮れる日々を綴ったグラフィック・ノベル。

2018:2./ 396p

978-4-309-27918-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/04/15



ロンドン狂瀾<上>(光文社文庫 な 45-1)

中路 啓太 著

光文社

1930年1月、ロンドン海軍軍縮会議が始まろうとしている。首席全権の若槻礼次郎らと日本を旅立つ、外務省情報部長の雑賀潤。だが欧米列強との外交交渉は難航の連続。熾烈を極める状況の先に、雑賀は光明を見出させるか!?

2018:3./ 458p

978-4-334-77614-5

本体 ¥740+税



読売新聞 2018/04/15



ロンドン狂瀾<下>(光文社文庫 な 45-2)

中路 啓太 著

光文社

ロンドンでの難交渉を終え、帰国した全権団。だが条約の内容を受け入れられない海軍軍司令部は統帥権の独立を盾に批准に反抗。条約破棄を阻止するため、雑賀らは、軍人、枢密院、輿論に対して瀬戸際の攻防で対峙する。

2018:3./ 324p

978-4-334-77615-2

本体 ¥640+税



読売新聞 2018/04/15



異邦人(いりびと)(PHP 文芸文庫 は 2-2)

原田 マハ 著

PHP研究所

画廊の青年専務と結婚し、出産を控えて京都に長逗留していた菜穂は、気分転換に出かけた老舗の画廊で、一枚の絵に心を奪われ…。若き女性画家の才能と「美」に翻弄される人々の隆盛と凋落を艶やかに描く。

2018:3./ 421p

978-4-569-76816-8

本体 ¥840+税



読売新聞 2018/04/15



教養としての中国古典

湯浅 邦弘 著

ミネルヴァ書房

「論語」「老子」「戦国策」「菜根譚」など、代表的な中国の古典を最新の研究成果も踏まえて概説。原典にも親しみながら学べるよう、写本・版本の図版を掲載し、各章に「名文読解」の節を設ける。「中国の古典50選」も収録。

2018:4./ 16p,334p,8p

978-4-623-08275-9

本体 ¥3,000+税



読売新聞 2018/04/15



日本のグラフィック 100 年

山形 季央 編

パイインターナショナル

日本に商業デザイナーが登場してからの 100 年を一望できる本。高度経済成長を支えた広告や、雑誌の表紙、本の装幀、商品デザインなどをビジュアルで紹介する。日本のグラフィックの流れがつかめる小文も掲載。

2018:1./ 399p

978-4-7562-4885-5

本体 ¥3,900+税



読売新聞 2018/04/15



臨界点の政治学

有賀 誠 著

晃洋書房

かつて、「例外状況」においてこそ、政治の本質が露わになると述べた C.シュミット。その故知に倣い、「リベラリズム」「法」「正戦」といった政治学の重要概念を、その体系の完結性が揺らぎだす「臨界点」において考察する。

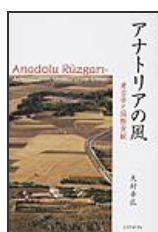
2018:2./ 8p,235p

978-4-7710-2993-4

本体 ¥3,500+税



読売新聞 2018/04/15



アナトリアの風～考古学と国際貢献～

大村 幸弘 著

リトン

長年、トルコ共和国のカマン・カレホユック遺跡で発掘調査を続ける著者が、発掘現場の遺跡、研究所、博物館を一体化させたプロジェクトの歩みを綴る。日本トルコ協会の季刊誌『アナトリアニュース』掲載をもとに書籍化。

2018:3./ 255p

978-4-86376-064-6

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/04/15



新宿 ゴールデン街のひとびと

佐々木 美智子、佐々木美智子写真集製作支援委員会 編

佐々木 美智子 著

七月堂

84 歳のいまも、新宿ゴールデン街のバー<ひしよ>に立つ写真家が、60 年以上撮りためた濃厚で濃密な“新宿村の住人”300 人余の顔。それらの人々との交遊録などから、濃密で多彩な新宿文化の姿をあぶり出す。

2018:3./ 388p

978-4-87944-317-5

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2018/04/15



ベックリן《死の島》～自己の英雄視と西洋文化の最後の調べ～(作品とコンテキスト)

フランツ・ツェルガー 著

三元社

ベックリンの代表作「死の島」を取り上げ、美術史上の解説を加えた一冊。作品の形式分析を踏まえながら、図像伝統の検討と時代背景、また受容面にまで目を配って過不足なく論じる。

2008:8./ 123p

978-4-88303-233-4

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/04/15



シリアの秘密図書館～瓦礫から取り出した本で図書館を作った人々～

デルフィーヌ・ミヌーイ、藤田 真利子 著

東京創元社

シリアの首都ダマスカス近郊の町ダラヤで、政府軍に包囲された人々。建物が破壊され、隣人が犠牲となる極限状況下、彼らは本を糧にして生きた…。図書館に安らぎを、本に希望を見出した人々を描くノンフィクション。

2018:2./ 195p

978-4-488-00387-6

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/04/15、東京・中日新聞 2018/04/22



職場のハラスメント～なぜ起こり、どう対処すべきか～(中公新書 2475)

大和田 敢太 著

中央公論新社

ハラスメントの起きやすい職種・組織の共通点は？ ハラスメント規制の先進地域である EU 諸国の法整備に通じ、民間団体で相談活動に関わる著者が、日本での概況を解説。判例や海外での事例などを紹介し、対策を提言する。

2018:2./ 6p,243p

978-4-12-102475-6

本体 ¥860+税



読売新聞 2018/04/15、日本経済新聞 2018/04/21



スポーツ国家アメリカ～民主主義と巨大ビジネスのはざままで～(中公新書 2479)

鈴木 透 著

中央公論新社

野球、アメフト、バスケットなどの母国アメリカ。大リーグの外国人選手獲得や、トランプ大統領とプロレスの関係は、現代アメリカの何を象徴するのか？ 超大国アメリカの成り立ちと現在をスポーツを通して読む。

2018:3./ 5p,254p

978-4-12-102479-4

本体 ¥860+税



読売新聞 2018/04/15、日本経済新聞 2018/04/28



江戸川乱歩作品集<3> パノラマ島奇談・偉大なる夢他(岩波文庫 31-181-6)

江戸川 乱歩、浜田 雄介 編

江戸川 乱歩 著

岩波書店

日本探偵小説の開拓者にして第一人者であった江戸川乱歩の作品をテーマ別に精選。3 は、美と享樂の完全なる人工樂園の建設という夢幻にとり憑かれた青年を描いた「パノラマ島奇談」、探偵小説「偉大なる夢」など全 7 篇を収録。

2018:3./ 484p

978-4-00-311816-0

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/04/22



マーティン・ルーサー・キング～非暴力の闘士～(岩波新書 新赤版 1711)

黒崎 真 著

岩波書店

人びとを非暴力による社会変革へと導いたキング牧師。栄光の前半生だけでなく、貧困のないアメリカを夢見た彼の後半生に焦点をあて、武器をとらずに闘い抜いた、苛烈な生涯をえがく。読書案内も収録。

2018:3./ 10p,240p

978-4-00-431711-1

本体 ¥820+税



読売新聞 2018/04/22



七夜物語<上>(朝日文庫 か 60-1)

川上 弘美 著

朝日新聞出版

小学校 4 年生のさよは、母さんとふたり暮らし。ある日、図書館で出会った「七夜物語」というふしぎな本にみちびかれ、同級生の灰田さんと「夜の世界」に迷い込んでゆく。料理上手の大ねずみから、皿洗いを命じられ…。

2015:5./ 296p

978-4-02-264777-1

本体 ¥540+税



読売新聞 2018/04/22



ことり(朝日文庫 お 52-2)

小川 洋子 著

朝日新聞出版

人間の言葉は話せないけれど、小鳥のさえずりを理解する兄と、兄の言葉を唯一わかる弟。二人は支えあってひっそりと生きていく。やがて兄は亡くなり、弟は「小鳥の小父さん」と人々に呼ばれて…。慎重な兄弟の一生を描く。

2016:1./ 311p

978-4-02-264803-7

本体 ¥580+税



読売新聞 2018/04/22



琥珀のまたたき

小川 洋子 著

講談社

妹を亡くし、ママと一緒にパパが残した古い別荘に移り住んだオパール・琥珀・瑠璃の三きょうだい。閉ざされた家の中、三人だけで独自に編み出した遊びに興じるうち、琥珀の左目にある異変が生じて…。『群像』連載を単行本化。

2015:9./ 317p

978-4-06-219665-9

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/04/22



私が愛した映画たち(集英社新書 0922)

吉永 小百合 著

集英社

日本映画の最前線を走り続ける大女優が、「キューポラのある街」から「北の桜守」まで、全出演作 120 本から特に思い出深い作品を自選。知られざるエピソードや愛すべき映画人たちの素顔を語り尽くす。

2018:2./ 253p

978-4-08-721022-4

本体 ¥760+税



読売新聞 2018/04/22



洋子さんの本棚(集英社文庫 お 67-4)

小川 洋子、平松 洋子 著

集英社

少女時代の思い出から抱腹絶倒の人生の極意まで。同郷で同世代で名前も同じ。作家・小川洋子とエッセイスト・平松洋子が、本と人生を名著と共に読みほどこき、語り尽くす、滋味あふれる対話集。

2017:10./ 269p

978-4-08-745650-9

本体 ¥580+税



読売新聞 2018/04/22



機嫌のいい犬〜句集〜

川上 弘美 著

集英社

夜店にて彗星の尾を見ついたり 青空床屋花野を髪のとびゆける 何気ない日常の光景が 17 文字のなかに広がる。俳句を始めて 16 年の人気作家・川上弘美が詠んだ 220 句をまとめた初句集。

2010:10./ 155p

978-4-08-775397-4

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/04/22



博士の愛した数式(新潮文庫)

小川 洋子 著

新潮社

[ぼくの記憶は 80 分しかもたない]博士の背広の袖には、そう書かれた古びたメモが留められていた。あまりに悲しく暖かい、奇跡の愛の物語。第 1 回本屋大賞受賞。

2005:11./ 291p

978-4-10-121523-5

本体 ¥550+税



読売新聞 2018/04/22



センセイの鞆(新潮文庫)

川上 弘美 著

新潮社

ひとり通いの居酒屋で 37 歳のツキコさんがたまさか隣あったご老体は、学生時代の国語の恩師だった。年齢のはなれた男女の、飄々として、やがて切々と慈しみあう恋情を描き、あらゆる世代をとりこにした谷崎賞受賞の名作。

読売新聞 2018/04/22

2007:9./ 299p

978-4-10-129235-9

本体 ¥550+税



どこから行っても遠い町(新潮文庫 か-35-11)

川上 弘美 著

新潮社

読売新聞 2018/04/22

2011:9./ 362p

978-4-10-129241-0

本体 ¥550+税



1ミリの後悔もない、はずがない

一木 けい 著

新潮社

ひりひりと肌を刺す恋の記憶。出口の見えない家族関係。抑えきれない欲望と想いを描く究極の恋愛小説。「西国疾走少女」「潮時」など全 5 編を収録する。『yomyom』『小説新潮』掲載に書き下ろしを追加。

読売新聞 2018/04/22

2018:1./ 222p

978-4-10-351441-1

本体 ¥1,400+税



昏い水(CREST BOOKS)

マーガレット・ドラブル、武藤 浩史 著

新潮社

高級老人ホームで余生を送る親友、重病の幼なじみ、自宅で寝たきりの元夫、飛び込んでくる訃報…。人生の終盤を送る人びとの心理と日常を、英国的ユーモアを随所にちりばめながら描きだした、ビターでみずみずしい長篇小説。

読売新聞 2018/04/22

2018:2./ 385p

978-4-10-590144-8

本体 ¥2,300+税



青空と逃げる

辻村 深月 著

中央公論新社

深夜の電話が、母と息子の日常を奪い去った。疑心、恐怖、そして怒り。壊れてしまった家族が、たどり着く場所は…。一家の再生の物語。『読売新聞』連載を単行本化。

読売新聞 2018/04/22

2018:3./ 389p

978-4-12-202061-9

本体 ¥1,600+税



シュガータイム(中公文庫)

小川 洋子 著

中央公論新社

読売新聞 2018/04/22

1994:4./ 215p

978-4-12-202086-3

本体 ¥495+税





人質の朗読会(中公文庫 お 51-6)

小川 洋子 著

中央公論新社

紙をめくる音、咳払い、慎重な拍手で朗読会が始まる。祈りにも似たその行為に耳を澄ませるのは、人質たちと見張り役の犯人。そして…。しみじみと深く胸を打つ、小川洋子ならではの小説世界。

2014:2./ 246p

978-4-12-205912-2

本体 ¥552+税



読売新聞 2018/04/22



本で床は抜けるのか(中公文庫 に 21-1)

西牟田 靖 著

中央公論新社

気づけば部屋中、本だらけ。蔵書家たちの対策は？ 売却、電子化、書庫づくり... どの方法で切り抜ける？ 本との暮らし方を模索し、その経緯を綴った体験記。章末に附記を加筆し文庫化。

2018:3./ 294p

978-4-12-206560-4

本体 ¥800+税



読売新聞 2018/04/22



真鶴

川上 弘美 著

文芸春秋

失踪した夫を思いつつ、恋人の青苴と付き合う京は、夫、礼の日記に、「真鶴」という文字を見つける。“ついてくるもの”にひかれて「真鶴」へ向かう京。夫は「真鶴」にいるのか?『文学界』連載を単行本化。

2006:10./ 266p

978-4-16-324860-8

本体 ¥1,429+税



読売新聞 2018/04/22



美しく、狂おしく〜岩下志麻の女優道〜

岩下 志麻、春日 太一 著

文芸春秋

私の女優人生は華麗ではありません。常に挑戦です-。女優生活 60 周年を迎えた岩下志麻が、清純な娘役から悪女・狂女、極道の女まで、その演技と女優人生のすべてを語り尽くす。写真も豊富に収録。

2018:2./ 295p

978-4-16-390778-9

本体 ¥1,750+税



読売新聞 2018/04/22



妊娠カレンダー(文春文庫)

小川 洋子 著

文芸春秋

読売新聞 2018/04/22

1994:2./ 202p

978-4-16-755701-0

本体 ¥420+税



蛇を踏む(文春文庫)

川上 弘美 著

文芸春秋

読売新聞 2018/04/22

1999:8./ 183p

978-4-16-763101-7

本体 ¥430+税





大好きな本〜川上弘美書評集〜(文春文庫)

川上 弘美 著

文芸春秋

読売新聞 2018/04/22

2010:9./ 478p

978-4-16-763107-9

本体 ¥695+税



* 9 7 8 4 1 6 7 6 3 1 0 7 9 *



河のほとりで(文春文庫 は36-9)

葉室 麟 著

文芸春秋

臨済の「済」の字には、「河の渡し場」という意味がある。臨済には「河のほとり」とも読めるのだ。歴史小説家として絶大な人気を持つ著者の、目配りの確かさと敗者の歴史への優しさ溢れる随筆集第2弾。

2018:2./ 228p

978-4-16-791020-4

本体 ¥620+税



* 9 7 8 4 1 6 7 9 1 0 2 0 4 *

読売新聞 2018/04/22



怪獣文学大全(河出文庫)

東 雅夫 著

河出書房新社

読売新聞 2018/04/22

1998:8./ 357p

978-4-309-40545-2

本体 ¥950+税



* 9 7 8 4 3 0 9 4 0 5 4 5 2 *



終わりに日常を生きろ〜オウム完全克服マニュアル〜

宮台 真司 著

筑摩書房

「終わらない日常」を生きるとは、何が良いのか悪いのか自明でない世界を生きることだ。混濁した世界の中で生きる知恵が、今必要とされている。気鋭の社会学者の緊急声明。「さまよえる良心」を徹底研究。

1995:7./ 187p

978-4-480-85720-0

本体 ¥1,262+税



* 9 7 8 4 4 8 0 8 5 7 2 0 0 *

読売新聞 2018/04/22



初代「君が代」

小田 豊二 著

白水社

丁髷がザンギリ頭に、着物が洋服になったあの時代に、はじめて「国歌」が作られた。しかもそれを吹奏したのは薩摩藩の少年たちで…。激動の幕末から明治初年までの初代「君が代」誕生までの風景を、多くの資料をもとに綴る。

2018:3./ 238p

978-4-560-09627-7

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 6 2 7 7 *

読売新聞 2018/04/22



監視大国アメリカ

アンドリュー・ガスリー・ファーガソン、大槻 敦子 著

原書房

ネットワーク分析、人工知能、ビッグデータ…。あなたの行動は把握されている。アメリカのビッグデータ警察活動における新技術の発展について説明し、データ駆動型警察活動がもたらす歪んだ影響を暴き出す。

2018:2./ 333p

978-4-562-05483-1

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 5 6 2 0 5 4 8 3 1 *

読売新聞 2018/04/22



豊国大明神の誕生～変えられた秀吉の遺言～(中世から近世へ)

野村 玄 著
平凡社

慶長 3 年の秀吉の死後、彼に贈られた神号は遺言と違い、改変されたという。秀吉の神格を巡る歴史的意味の変遷について、海外史料を採り入れながら描き直し、16 世紀から 19 世紀の日本史に新たな光を照射する。

2018:3./ 286p
978-4-582-47738-2
本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/04/22



リーマン・ショック～元財務官の回想録～

篠原 尚之 著
毎日新聞出版

「100 年に 1 度の金融危機」から学ぶべき教訓とは。財務省で国際関係を統括する責任者であった著者は、如何に各国政府と協調し、世界規模の金融危機に対応したのか。主に為替政策を中心にその実体験を明かす。

2018:2./ 301p
978-4-620-32501-9
本体 ¥2,000+税



読売新聞 2018/04/22



FUNGI～菌類小説選集～<第 1 コロニー>(ele-king books)

オリン・グレイ、シルヴィア・モレーノ＝ガルシア 編
Pヴァイン

ようこそ、真菌の地へ。キノコ潜水艦、菌類の侵略、精神を変容させるキノコ、エイリアンの菌類、キノコの怪物…。ホラーからダーク・ファンタジーまで、キノコが多様な役割を演じる菌類小説アンソロジー。

2017:3./ 190p
978-4-907276-77-5
本体 ¥1,600+税



読売新聞 2018/04/22



FUNGI～菌類小説選集～<第 2 コロニー>(ele-king books)

シルヴィア・モレーノ＝ガルシア 編
野村 芳夫 著
Pヴァイン

幻妖なる真菌ファンタジーの極み-。幽霊屋敷へと忍び込んだ超自然現象専門探偵の物語、エコロジック的観点から描かれた近未来的日常風景、菌類が紡ぐ記憶の連鎖…。キノコが多様な役割を演じる菌類小説アンソロジー第 2 弾。

2018:3./ 204p
978-4-907276-94-2
本体 ¥1,700+税



読売新聞 2018/04/22



いのりの海へ～出会いと発見大人の旅～

渡辺 憲司 著
婦人之友社

地名に魅かれて出かけた旅、自由について考える旅、戦時下に思いを寄せる旅…。海外 5 カ所を含めた旅先の歴史、文化、そしてそれに携わり、守る人々との出会いと発見を綴る。『明日の友』連載「たまさか紀行」を書籍化。

2018:3./ 229p
978-4-8292-0860-1
本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/04/22、毎日新聞 2018/04/29



記者襲撃～赤報隊事件 30 年目の真実～

樋田 毅 著
岩波書店

1987 年 5 月 3 日に朝日新聞記者 2 人が何者かに散弾銃で殺傷された阪神支局襲撃事件。この事件を含めた「赤報隊」による襲撃・脅迫事件を追い続けてきた著者が、30 年にわたる取材経過を辿り、事件の意味を改めて問い直す。

2018:2./ 12p, 226p
978-4-00-061248-7
本体 ¥1,900+税



読売新聞 2018/04/29



つよく結べ、ポニーテール(講談社文庫 あ 133-3)

朝倉 宏景 著

講談社

鳥海真琴、17 歳。初恋の人と交わした約束を胸に、強豪野球部の門を叩いたものの、待っていたのは苦難の日々。練習についていけず、試合にも出られず、マネージャー扱い…。一途な少女の想いに胸打たれる、ひたむき青春小説。

読売新聞 2018/04/29

2018:3./ 379p

978-4-06-293879-2

本体 ¥740+税



文明の衝突<上>(集英社文庫 ハ 20-2)

サミュエル・ハンチントン、鈴木 主税 著

集英社

冷戦後の新たな国際紛争は「文明による衝突」だ。国際政治学者・ハンチントンが、21 世紀の国際情勢を大胆に予測。アメリカ文明と中国文明の対立の中で、孤立する日本の未来を考える刺激的な書。

読売新聞 2018/04/29

2017:8./ 318p

978-4-08-760737-6

本体 ¥700+税



文明の衝突<下>(集英社文庫 ハ 20-3)

サミュエル・ハンチントン、鈴木 主税 著

集英社

冷戦後の新たな国際紛争は「文明による衝突」だ。国際政治学者・ハンチントンが、21 世紀の国際情勢を大胆に予測。アメリカ文明と中国文明の対立の中で、孤立する日本の未来を考える刺激的な書。

読売新聞 2018/04/29

2017:8./ 286p

978-4-08-760738-3

本体 ¥700+税



だから、生きる。

つんく♂ 著

新潮社

歌手、音楽プロデューサーとして成功を収める著者を突然襲った喉頭癌。声帯摘出に至るまでの壮絶な日々、なによりも大切な家族のこと、プロデューサーとして思うこと、そして声を失って歩き始めたばかりの人生について綴る。

読売新聞 2018/04/29

2015:9./ 220p

978-4-10-339591-1

本体 ¥1,300+税



読む力~現代の羅針盤となる 150 冊~(中公新書ラクレ 616)

松岡 正剛、佐藤 優 著

中央公論新社

既存の価値観がすべて費えた混沌の時代に、助けになるのは「読む力」だ。子どもの頃に読んだ本にはじまり、サルトルからデリダ、石原莞爾、弘兼憲史まで、読むべき 150 冊を提示する。『中央公論』掲載に加筆し書籍化。

読売新聞 2018/04/29

2018:4./ 238p

978-4-12-150616-0

本体 ¥820+税



ホーキング、宇宙を語る~ビッグバンからブラックホールまで~(ハヤカワ文庫 NF)

スティーヴン・W・ホーキング 著

早川書房

読売新聞 2018/04/29

1995:4./ 268p

978-4-15-050190-7

本体 ¥740+税





モリカズさんと私

沖田 修一、田村 祥蔵、藤森 武、山崎 努 著

文藝春秋

没後 40 年を迎えた画家・熊谷守一をモデルにした映画「モリのいる場所」の副読本。写真家・俳優・映画監督・新聞記者がそれぞれの流儀でモリカズ・ワールドに迫った軌跡を綴る。映画関連カラー写真も多数収録。

2018:3./ 117p

978-4-16-390808-3

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/04/29



知性は死なない～平成の鬱をこえて～

與那覇 潤 著

文藝春秋

世界秩序の転換点でもある平成という時代に、どうして「知性」は社会を変えられず、むしろないがしろにされ敗北していったのか。うつを体験した著書が、その理由をかつての自分自身に対する批判も含めて探った記録。

2018:4./ 292p

978-4-16-390823-6

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/04/29



収容所(ラーゲリ)から来た遺書(文春文庫)

辺見 じゅん 著

文芸春秋

読売新聞 2018/04/29

1992:6./ 297p

978-4-16-734203-6

本体 ¥520+税



現代アートとは何か

小崎 哲哉 著

河出書房新社

大富豪のスーパーコレクター、資本主義と距離を保つキュレーター、新秩序に挑むアーティスト…。日本からは見えてこない、グローバル社会における現代アートの真の姿を描く。『ニューズウィーク日本版』連載に加筆修正。

2018:3./ 419p,20p

978-4-309-27929-9

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2018/04/29



ロボットと生きる社会～法は AI どう付き合う?～

角田 美穂子、工藤 俊亮 著

弘文堂

ロボット工学者と民法学者の 2 人が、AI 研究から情報法、宇宙法、医事法まで、様々な分野の研究者・専門家を迎え、知的刺激に溢れたリレー鼎談で、ロボット・AI 時代に向けた法制度をデッサンする。

2018:1./ 20p,508p

978-4-335-35718-3

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2018/04/29



終わりなき日常を生きろ(ちくま文庫)

宮台 真司 著

筑摩書房

読売新聞 2018/04/29

1998:3./ 204p

978-4-480-03376-5

本体 ¥640+税





無限の本棚〜手放す時代の蒐集論〜 増殖版(ちくま文庫 と27-1)

とみさわ 昭仁 著

筑摩書房

漫画、中古レコード、ジッポーライター、野球カード…。ガタガタ言っていると集めるぞコノヤロウ! 蒐集にとりつかれた奇人の圧倒的コレクション論。伊集院光との対談も収録。

2018:3./ 339p

978-4-480-43505-7

本体 ¥860+税



読売新聞 2018/04/29



笛ふき天女(ちくま文庫 い95-1)

岩田 幸子 著

筑摩書房

旧藩主のお姫様に生まれ、裕福な少女時代を過ごすも、松方財閥に嫁いだ最初の結婚では不慮の事故により夫と死別。39歳のとき知人を介し獅子文六と再婚。大人気作家の晩年を支えた女性の自伝的エッセイ。

2018:4./ 286p

978-4-480-43515-6

本体 ¥740+税



読売新聞 2018/04/29



冬に散る華〜函館水上警察〜(創元推理文庫 Mこ-3-6)

高城 高 著

東京創元社

明治24年、函館水上警察署の五条警部は、見慣れぬ毛皮のコート姿の美貌の女に目を奪われた。彼女の切ない過去と謎を描く「ウラジオストクから来た女」をはじめ、日夜奔走する明治の刑事たちを活写した全5編を収録。

2013:4./ 300p

978-4-488-47406-5

本体 ¥740+税



読売新聞 2018/04/29



世界一シンプルで科学的に証明された究極の食事

津川 友介 著

東洋経済新報社

炭水化物は健康に悪く、食べると太る? 果汁100%のジュースは体に良い? 今、信じている健康情報は、本当に正しいのか。最新の膨大な研究論文をもとに、科学的根拠に裏付けされた「新しい時代の食の常識」を伝授する。

2018:4./ 196p

978-4-492-04624-1

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2018/04/29



国策紙芝居からみる日本の戦争(神奈川県立日本常民文化研究所非文字資料研究センター研究成果報告書 第3期)

安田 常雄 著

勉誠出版

戦時中、1000種類以上も作成されたという「国策紙芝居」は、銃後の子どもたちに何を伝えたのか。現存する紙芝居約240点をフルカラーで掲載し、あらすじを紹介するとともに制作の背景に迫る。所蔵を網羅したリスト付き。

2018:3./ 5p,463p

978-4-585-27044-7

本体 ¥6,000+税



読売新聞 2018/04/29



人体の限界～人はどこまで耐えられるのか 人の能力はどこまで伸ばせるのか～(サイエンス・アイ新書 SIS-401)

山崎 昌廣 著

SBクリエイティブ

人間の骨はどのくらいの力まで耐えられるのか。どの程度まで睡眠不足に耐えられるのか。生理学、心理学、運動学、生物学などの観点から、人体の限界を解説する。

2018:3./ 255p

978-4-7973-8843-5

本体 ¥1,000+税



読売新聞 2018/04/29



ゴールドマン・サックス M&A 戦記～伝説のアドバイザーが見た企業再編の舞台裏～

服部 暢達 著

日経BP社

米国の投資銀行ゴールドマン・サックスで日本における M&A アドバイザリー事業の責任者を務めた著者が、会社法・国税庁通達・ファイナンス理論などを駆使して、ハードワークでディールをまとめる M&A 交渉の舞台裏を明かす。

2018:4./ 326p

978-4-8222-5568-8

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/04/29



帰る家もなく

与那原 恵 著

ボーダーインク

沖縄、台湾、韓国、日本、欧米…。ノンフィクション作家・与那原恵が、旅のなかでよみがえる愛しい人たちの記憶などを綴る。『attention』『東京人』『日本経済新聞』掲載等を単行本化。

2018:4./ 332p

978-4-89982-340-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/04/29



カラヴァル～深紅色の少女～

ステファニー・ガーバー、西本 かおる 著

キノブックス

17歳の少女スカーレットは政略結婚させられる直前に、夢のイベント「カラヴァル」の招待状を受け取る。妹テラとカラヴァルへ足を踏みだすが、まもなく妹とはぐれ、妹を救い出すための冒険が始まり…。胸ときめく物語。

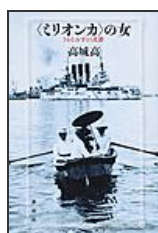
2017:8./ 407p

978-4-908059-77-3

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2018/04/29



<ミリオンカ>の女～うらじおすとく花暦～

高城 高 著

寿郎社

日露戦争前夜。元娼婦の令嬢がゆく、浦潮の迷宮街路「ミリオンカ」。日本ハードボイルドのベテランが描く、異色のピカレスクロマン。「ウラジオストクから来た女」の正編とも言える、もうひとつの物語。

2018:3./ 435p

978-4-909281-07-4

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2018/04/29



広辞苑 第7版・普通版

新村 出 編

岩波書店

総項目数 25 万の日本語辞典。各界第一線で活躍する専門家が、正確かつ簡明に解説する。言葉や社会の変化、学術研究の進展を反映し、基礎的な言葉の意味説明を刷新、古典用例を大幅に見直した第7版。机上版も同時刊行。

日本経済新聞 2018/04/07

2018:1./ 25p,3,188p

978-4-00-080131-7

本体 ¥8,500+税



* 9 7 8 4 0 0 0 8 0 1 3 1 7 *



透谷全集<第3巻>

北村透谷、勝本清一郎 著

岩波書店

日本経済新聞 2018/04/07

1994:4./ 710p

978-4-00-090003-4

本体 ¥4,369+税



* 9 7 8 4 0 0 0 9 0 0 0 3 4 *



マラルメ詩集(岩波文庫 32-548-1)

マラルメ、渡辺 守章 著

岩波書店

超絶技法の言語態を極限まで操った象徴派の詩人マラルメ。唯一の個人詩集である「ステファヌ・マラルメ詩集」と、そこに採られなかった詩篇、未定稿「半獣神変容」「エロディアド詩群」を新訳で収録。

日本経済新聞 2018/04/07

2014:11./ 579p

978-4-00-375086-5

本体 ¥1,260+税



* 9 7 8 4 0 0 3 7 5 0 8 6 5 *



旅人～ある物理学者の回想～(角川文庫ソフィア)

湯川 秀樹 著

角川書店

日本経済新聞 2018/04/07

1995:5./ 241p

978-4-04-123801-1

本体 ¥476+税



* 9 7 8 4 0 4 1 2 3 8 0 1 1 *



ことば選び実用辞典

学研辞典編集部 著

学研

言いたい言葉が出てこない時や、よりよい表現を使いたい時などに、少しでも適切な言葉や気のきいた表現を、簡便に見つけられる類語辞典。2002 年刊「言えて妙なことば選び辞典」をコンパクトサイズに再編集したもの。

日本経済新聞 2018/04/07

2003:10./ 390p

978-4-05-301676-8

本体 ¥630+税



* 9 7 8 4 0 5 3 0 1 6 7 6 8 *



噂の娘(講談社文庫)

金井 美恵子 著

講談社

日本経済新聞 2018/04/07

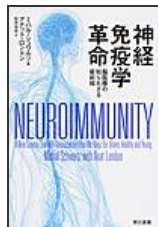
2004:12./ 400p

978-4-06-274951-0

本体 ¥695+税



* 9 7 8 4 0 6 2 7 4 9 5 1 0 *



神経免疫学革命～脳医療の知られざる最前線～

ミハル・シュワルツ、アナット・ロンドン、松井 信彦 著

早川書房

「免疫機構は脳の健康とは無関係」という定説を疑い、それを実証的に覆した神経免疫学の創始者が、アルツハイマー病治療や脊髄再生の可能性といった脳医療の最前線を明かす。お勧めの生活習慣や食べ物なども紹介する。

2018:3./ 284p

978-4-15-209749-1

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2018/04/07



極夜行

角幡 唯介 著

文藝春秋

暗闇のなか、氷床を歩き続け 3 カ月ぶりに太陽を見た時、人は何を思うのか。太陽が昇らない冬の北極を、一頭の犬とともに命懸けで体感した探検家がつづる冒険ノンフィクション。『文春オンライン』連載に加筆修正。

2018:2./ 333p

978-4-16-390798-7

本体 ¥1,750+税



日本経済新聞 2018/04/07



スタア誕生

金井 美恵子 著

文藝春秋

<金魚の娘>はスタアになれるかしら。モナミ美容室の女たちは噂する。50 年代の映画の記憶を精緻に編みこんだ、切なく甘い長編小説。「噂の娘」の姉妹作。『群像』『文藝界』掲載を単行本化。

2018:2./ 253p

978-4-16-390800-7

本体 ¥1,850+税



日本経済新聞 2018/04/07



愛が挟み撃ち

前田 司郎 著

文藝春秋

36 歳の京子ともうすぐ 40 歳の俊介。結婚して 6 年目の夫婦の悩みは、子どもができないこと。諦めきれない俊介は、驚くべき解決策を提案し…。男 2 人と女 1 人の、愛をめぐる危うい心理劇。『文藝界』掲載を単行本化。

2018:1./ 187p

978-4-16-390804-5

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/04/07



三省堂国語辞典<阪神タイガース仕様> 第 7 版

見坊 豪紀、市川 孝、飛田 良文、山崎 誠、飯間 浩明、塩田 雄大 編

三省堂

中学生から年配者、日本語学習者まで使える、最新の日本語を的確に反映した国語辞典。8 万 2 千項目を収録し、「要するにそれは何か」が分かるように、簡潔にやさしく説明する。阪神タイガース仕様。

2018:2./ 14p,1,745p

978-4-385-13924-1

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2018/04/07



工場日記(ちくま学芸文庫 ウ 5-3)

シモーヌ・ヴェイユ 著

筑摩書房

人間性を壊敗させる必然性の機構のなかで、はたして人間本来の生は可能なのか。教職をなげうち、女工として工場に飛び込んだうら若き女性哲学者が、極限の状況下で自己犠牲と献身について考え抜いた、魂の記録。

2014:11./ 287p

978-4-480-09646-3

本体 ¥1,200+税



日本経済新聞 2018/04/07



ファッションフード、あります。～はやりの食べ物クロニクル～(ちくま文庫 は 50-1)

畑中 三応子 著

筑摩書房

ファストフードからエスニック料理、B 級ご当地グルメ、カフェ飯まで、次々に登場する新しい食べ物。食べ物がファッションとして消費される日本独自の文化現象、「ファッションフード」の歴史をたどる。

2018:3./ 398p

978-4-480-43503-3

本体 ¥1,000+税



* 9 7 8 4 4 8 0 4 3 5 0 3 3 *

日本経済新聞 2018/04/07



「石油」の終わり～エネルギー大転換～

松尾 博文 著

日本経済新聞出版社

石油に依存していた時代が去り、エネルギーは大転換の時代を迎えた。中東の混乱が、さらに先行きを不透明にさせる。エネルギー問題を担当する日経新聞論説委員が、その最前線を書き下ろす。

2018:2./ 262p

978-4-532-35764-1

本体 ¥1,800+税



* 9 7 8 4 5 3 2 3 5 7 6 4 1 *

日本経済新聞 2018/04/07



ゲーム理論はアート～社会のしきみを思いつくための繊細な哲学～

松島 斉 著

日本評論社

ゲーム理論家が示す、生きづらい社会で生きる人のための道標-。複雑な社会や日常の暮らしがどのようなしくみで成り立っているのかを、ゲーム理論を使って解き明かす。ゲーム理論の面白さがわかる入門書。

2018:1./ 8p,280p,14p

978-4-535-55892-2

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 5 3 5 5 5 8 9 2 2 *

日本経済新聞 2018/04/07



宮川淳著作集 新装版

宮川淳、阿部良雄 著

美術出版社

日本経済新聞 2018/04/07

1999:9./ 3 冊

978-4-568-20161-1

本体 ¥24,000+税



* 9 7 8 4 5 6 8 2 0 1 6 1 1 *



イギリス肉食革命～胃袋から生まれた近代～(平凡社新書 868)

越智 敏之 著

平凡社

食肉生産のシステム化のなかで、ブリーダーたちは羊や牛を巨大化させ、より効率的に飼料を肉に変換するよう仕立て上げるための品種改良を続けていった。食肉をめぐる革命はどんな近代を実現したのか。「改良」の思潮をたどる。

2018:3./ 254p

978-4-582-85868-6

本体 ¥840+税



* 9 7 8 4 5 8 2 8 5 8 6 8 6 *

日本経済新聞 2018/04/07



ピサ詩篇

エズラ・パウンド 著

みすず書房

第二次大戦中、ムッソリーニ政権下に米軍の収容所に囚われ、失意と絶望のさなかに綴られた、エリオットの「荒地」に並ぶ 20 世紀モダニズム詩の古典。ホメロス、ダンテ、孔子を背景に構想した壮大な長篇詩。

2004:7./ 254p

978-4-622-07099-3

本体 ¥5,200+税



* 9 7 8 4 6 2 2 0 7 0 9 9 3 *

日本経済新聞 2018/04/07



<電気ショック>の時代～ニューロモデュレーションの系譜～

エドワード・ショーター、デイヴィッド・ヒーリー、川島 啓嗣、青木 宣篤、植野 仙
経、諏訪 太朗、嶽北 佳輝 著

みすず書房

精神科治療に光をもたらしたショック療法は、非人道的で危険な治療法なのか？
電気けいれん療法をはじめとする身体療法の開拓者たちの足跡を追ひ、ショック
療法がなぜこれほどまで忌避されてきたのか、その歴史を紐解く。

2018:2./ 2p,447p,84p

978-4-622-08678-9

本体 ¥5,800+税



* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 6 7 8 9 *

日本経済新聞 2018/04/07



余白のランナー

建畠 哲 著

思潮社

日本経済新聞 2018/04/07

1991:10./ 80p

978-4-7837-0355-6

本体 ¥2,330+税



* 9 7 8 4 7 8 3 7 0 3 5 5 6 *



田村隆一詩集(現代詩文庫)

田村隆一 著

思潮社

日本経済新聞 2018/04/07

1968:1./ 113p

978-4-7837-0700-4

本体 ¥1,165+税



* 9 7 8 4 7 8 3 7 0 7 0 0 4 *



死語のレッスン

建畠 哲 著

思潮社

どこまで駆けていっても 誰一人、追い抜くことはなかった 回転木馬のように、で
はない 野を渡る風の序列のように、だ(「風の序列」より) 未生の領野を眼差す 22
篇の詩を収録。

2013:7./ 107p

978-4-7837-3358-4

本体 ¥2,400+税



* 9 7 8 4 7 8 3 7 3 3 5 8 4 *

日本経済新聞 2018/04/07



1868～明治が始まった年への旅～

加来 耕三 著

時事通信出版局

1 月 1 日、江戸は晴天。江戸城に主はいない。激動の 1 年が始まった-。日本の
針路を決した明治元年の 1 年間を、人々の証言録や外国人の記録等、文献にあ
る生の声も織り込みながら再現する。詳細な注釈、毎日の天気表付き。

2018:2./ 369p

978-4-7887-1546-2

本体 ¥1,400+税



* 9 7 8 4 7 8 8 7 1 5 4 6 2 *

日本経済新聞 2018/04/07



古希のリアル(草思社文庫 せ 1-7)

勢古 浩爾 著

草思社

わたしにとって今日という日は、「老後」の一日でも、「じじい」の一日でもなく、あく
までも「わたし」の一日である-。古希を迎えた、「定年後のリアル」シリーズの著者
が、去来する思いを軽やかに綴る。

2018:2./ 222p

978-4-7942-2318-0

本体 ¥700+税



* 9 7 8 4 7 9 4 2 2 3 1 8 0 *

日本経済新聞 2018/04/07



評価の経済学

デビッド・ウォーラー、ルパート・ヤンガー、月沢 李歌子 著
日経BP社

炎上事件や不祥事を起こしても、なぜ信頼を回復できるのか。評価と信頼はどのようにつくられ、傷つき、変わるのか。レピュテーション研究の第一人者が、評価のしくみと評価を築き、維持するための戦略を初めて解き明かす。

2018:2./ 380p
978-4-8222-5561-9
本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/04/07



職業としての学問～現代訳～

マックス・ウェーバー、三浦 展 著
プレジデント社

1917 年、過去の成功体験が役に立たなくなった混沌の時代の中で、新しい生き方を求める若者に向けて行われたマックス・ウェーバーの講演録を、三浦展が現代の問題として邦訳。三浦展×姜尚中の特別対談も収録する。

2017:3./ 151p
978-4-8334-2220-8
本体 ¥1,100+税



日本経済新聞 2018/04/07



スペシャルティコーヒー物語～最高品質コーヒーを世界に広めた人々～

マイケル・ワイスマン、旦部 幸博、久保 尚子 著
楽工社

1 杯のコーヒーには無数の人間ドラマが詰まっている! 世界各地のスペシャルティコーヒーの“現場”を探访し、キーパーソンに密着取材。彼らの発言・行動・苦悩・歓喜を通して、コーヒー業界の実像を描くルポ。

2018:2./ 415p
978-4-903063-82-9
本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/04/07



異常探偵宇宙船

前田 司郎 著
中央公論新社

一人の主婦が、この街を救う。異常者たちの異常な事件を専門にする主婦探偵・宇宙船は、ある小児性愛者の死の謎を追うが…。脱力系探偵小説。『アンデル小さな文芸誌』連載を加筆修正して単行本化。

2018:2./ 317p
978-4-12-005050-3
本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/04/07、朝日新聞 2018/04/28



官僚たちのアベノミクス～異形の経済政策はいかに作られたか～(岩波新書 新赤版 1703)

軽部 謙介 著
岩波書店

アベノミクスは、いつ、どこで、誰によって形成されていったのか。圧倒的な取材力を誇る著者が、延べ約 120 人へのインタビュー、公文書、議事録など様々なソースによって、異例の政策の生成過程をつぶさに再現する。

2018:2./ 10p,252p,5p
978-4-00-431703-6
本体 ¥860+税



日本経済新聞 2018/04/07、東京・中日新聞 2018/04/15



クローゼット

千早 茜 著
新潮社

秘密に束縛される洋服補修士の女。好きな事から逃げてばかりいるカフェ店員。服を愛している。それだけが共通点のはずだった…。心の中のいちばん弱くて大事なところを刺激する長編小説。『小説新潮』連載を単行本化。

2018:2./ 208p
978-4-10-334192-5
本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2018/04/07、東京・中日新聞 2018/04/22



日本史のツボ(文春新書 1153)

本郷 和人 著

文藝春秋

天皇、宗教、土地、軍事、地域、女性、経済。7つのツボを押さえれば、日本の歴史の流れは一気につかめる。ヤマト朝廷の成立から明治維新まで、歴史学者が明快に日本史を解き明かす、コンパクトでわかりやすい通史。

2018:1./ 222p

978-4-16-661153-9

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2018/04/07、読売新聞 2018/04/15



辞書から消えたことわざ(角川ソフィア文庫 E110-1)

時田 昌瑞 著

KADOKAWA

「花の下より鼻の下」「心太の幽霊をこんにゃくの馬に乗せる」など、200本のことわざを厳選。言葉の成り立ち、使われた文学作品、時代背景といったうんちくを記しながら解説する。ことわざを視覚化した絵画やカルタも掲示。

2018:2./ 269p

978-4-04-400346-3

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2018/04/14



西南役伝説(講談社文芸文庫 いR2)

石牟礼 道子 著

講談社

「西南戦争」の戦場となった九州の中南部で名もなき人々によって語り継がれてきた声に耳を澄ます。百年というスケールでこの国の「根」の在処を探った、名作「苦海浄土」につらなる石牟礼文学の代表作。

2018:3./ 315p

978-4-06-290371-4

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/04/14



人工知能時代に生き残る会社は、ここが違う!~リーダーの発想と情熱がデータをチャンスに変える~

ジョシュ・サリヴァン、アンジェラ・ズタヴァーン、尼丁 千津子 著

集英社

ビッグデータを生かせるリーダーの共通点は、文系力だった! 米コンサルタント会社のデータサイエンティストが、豊富な事例を交えて、人工知能時代の成功セオリーを伝授する。

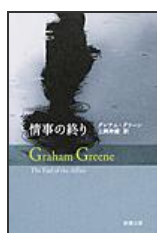
2018:3./ 391p

978-4-08-786093-1

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2018/04/14



情事の終り(新潮文庫 ク-6-1)

グレアム・グリーン 著

新潮社

人妻サラとの道ならぬ恋から1年半。作家ベンドリックスは、サラの夫と邂逅する。妻の行動を疑い、悩む夫を言葉巧みに説得した作家は、サラを探偵に監視させることに成功するが…。究極の愛と神の存在を問う名篇。

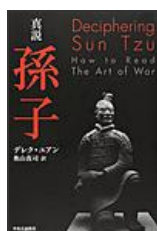
2014:5./ 382p

978-4-10-211004-1

本体 ¥670+税



日本経済新聞 2018/04/14



真説孫子

デレク・ユアン、奥山 真司 著

中央公論新社

気鋭の戦略思想家が、中国圏と英語圏の「孫子」の解釈の相違と継承の経緯を分析し、東洋思想の系譜からタオイズムとの相互関連を検証。中国戦略思想の成立と発展を読み解く。

2018:2./ 279p

978-4-12-005047-3

本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2018/04/14



知ってるつもり〜無知の科学〜

スティーブン・スローマン、フィリップ・ファーンバック、土方 奈美 著
早川書房

人はなぜ、自らの理解度を過大評価してしまうのか？ 気鋭の認知科学者コンビが、行動経済学から人工知能まで各分野の研究成果を総動員して、人間の「知ってるつもり」の正体と、知性の本質に挑む。

2018:4./ 310p
978-4-15-209757-6
本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2018/04/14



AI化する銀行

長谷川 貴博 著

幻冬舎メディアコンサルティング

銀行を中心とする金融業界で着々と導入が進む AI。人間は不要になってしまうのか？ 海外の AI 導入状況から、求められる能力まで、「AI 時代」の銀行業務をわかりやすく解説する。

2017:12./ 193p
978-4-344-97310-7
本体 ¥800+税



日本経済新聞 2018/04/14



光悦考

十五代樂吉左衛門 著

淡交社

光悦茶碗とは。本阿弥光悦とは。「不二山」「毘沙門堂」「乙御前」など伝世の光悦茶碗から選び抜いた名碗について、15 代樂吉左衛門が実作者ならではの視点で語る。『京都新聞』連載をもとに加筆、再構成して書籍化。

2018:1./ 319p
978-4-473-04229-3
本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2018/04/14



地方創生のための地域金融機関の役割～金融仲介機能の質向上を目指して～

家森 信善 著

中央経済ホールディングス

全国の地域金融機関の支店長に向けたアンケート調査に基づき、地域金融の現場の事業性評価への取り組みの現状と課題を明らかにし、人事評価改革や外部専門家等との連携の強化などの処方箋を示す。研究者らの論考も収録。

2018:3./ 3p,8p,254p
978-4-502-25271-6
本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2018/04/14



風味は不思議～多感覚と「おいしい」の科学～

ボブ・ホルムズ、堤 理華 著

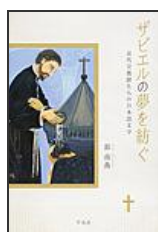
原書房

「おいしい」とはなんだろう？ なぜおいしいの？ どうしてまずいの？ 最新の研究でわかってきた不思議で魅力的な「風味」の世界を、進化生物学者が徹底解剖する。

2018:3./ 327p
978-4-562-05482-4
本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/04/14



ザビエルの夢を紡ぐ～近代宣教師たちの日本語文学～

郭 南燕 著

平凡社

キリスト教と日本の出会いは、美しい言葉を生み出した。先駆者フランシスコ・ザビエルから 20 世紀の「酒場神父」ジョルジュ・ネランまで 5 人の宣教師を取り上げ、彼らが綴った「日本語文学」などの業績と人物像を伝える。

2018:3./ 328p
978-4-582-70358-0
本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2018/04/14



銀行不要時代～生き残りの条件～

吉澤 亮二 著

毎日新聞出版

7 割の地銀ではすでに本業が赤字化、5 年後にはほとんどの地銀が赤字経営に転落?! 人口減少、フィンテックで「いらなくなった銀行」はどこか? 格付けアナリストが大手行の国際比較も交えて徹底分析する。

2017:12./ 239p

978-4-620-32487-6

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/04/14



ウェルス・マネジャー 富裕層の金庫番～世界トップ 1%の資産防衛～

ブルック・ハリントン、庭田 よう子 著

みすず書房

インタビューから明らかになったのは、大富豪の懐に入り、世界規模でマネーを操る、資産管理のプロたちの姿だった。ウェルス・マネジャー世界標準資格を取得した社会学者が、「富裕層の執事」たちの実態を学術的に分析する。

2018:2./ 273p,45p

978-4-622-08680-2

本体 ¥3,800+税



日本経済新聞 2018/04/14



グレアム・グリーンある映画的人生

佐藤 元状 著

慶應義塾大学出版会

映画批評家としても活躍した小説家グレアム・グリーン of 映画の側面に光をあて、ヒッチコック、チャップリンなど、同時代の映画作家とのかかわりからグリーンを<遅れてきたモダニスト>として捉えなおした研究書。

2018:3./ 344p,22p

978-4-7664-2510-9

本体 ¥2,800+税



日本経済新聞 2018/04/14



通勤の社会史～毎日 5 億人が通勤する理由～(ヒストリカル・スタディーズ 17)

イアン・ゲートリー、黒川 由美 著

太田出版

19 世紀に生まれ、移動・職業選択の自由をもたらし、都市と生活を激変させ、近代社会を発展させる原動力となった通勤の歴史、現状、未来を考察する。「通勤大国」日本をはじめ、世界の通勤事情も網羅する。

2016:4./ 350p

978-4-7783-1510-8

本体 ¥2,600+税



日本経済新聞 2018/04/14



誰でもない(韓国文学のオクリモノ)

ファン ジョンウン、斎藤 真理子 著

晶文社

韓国で現在最も期待される作家、ファン・ジョンウンの短編集。恋人をなくした老婦人や、非正規労働で未来に希望を見出せない若者など、今をкаろうじて生きる人々の切なく、まがまがしいまでの日常を描いた 8 つの物語を収録。

2018:1./ 253p

978-4-7949-6987-3

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/04/14



東南アジアのポピュラーカルチャー～アイデンティティ・国家・グローバル化～
福岡 まどか、福岡 正太、井上 さゆり、ウィンダ・スチ・プラティウィ、金 悠進、小池 誠、坂川 直也、鈴木 勉、竹下 愛、竹村 嘉晃、津村 文彦、馬場 雄司、平田 晶子、平松 秀樹、丸橋 基、盛田 茂、山本 博之 著
スタイルノート
東南アジアの人々は文化に関わる多様な価値観とどのように向き合っているのか、文化実践を通して自分をどのような存在として位置づけていくのか。ポピュラーカルチャーを対象に、人類学・地球研究の立場から考察する。

2018:3./ 478p
978-4-7998-0167-3
本体 ¥4,000+税
* 9 7 8 4 7 9 9 8 0 1 6 7 3 *

日本経済新聞 2018/04/14



常勝集団のプリンシプル～自ら学び成長する人材が育つ「岩出式」心のマネジメント～
岩出 雅之 著
日経BP社
メンバー一人ひとりが自律的に考え、行動し、仲間と助け合いながら、自ら学習、成長する。9 連覇を達成した帝京大学ラグビー部の監督が、自律型成長組織のつくり方やモチベーションを引き出すマネジメント術を紹介する。

2018:3./ 245p
978-4-8222-5554-1
本体 ¥1,500+税
* 9 7 8 4 8 2 2 5 5 5 4 1 *

日本経済新聞 2018/04/14



第三の男～名作映画完全セリフ集～(スクリーンプレイ・シリーズ 152)
フォーインスクリーンプレイ事業部
日本経済新聞 2018/04/14

2011:1./ 179p
978-4-89407-460-6
本体 ¥1,500+税
* 9 7 8 4 8 9 4 0 7 4 6 0 6 *



カステラ
パク ミンギュ、ヒョン ジェフン、斎藤 真理子 著
クレイン
1985 年、UEFA チャンピオンズカップ決勝戦、リヴァプール対ユベントス。ヘイゼルの悲劇から、物語は始まる。表題作をはじめ韓国最高の文学賞“李箱賞”受賞作「朝の門」など全 11 編を収録した短編小説集。

2014:4./ 336p
978-4-906681-39-6
本体 ¥1,700+税
* 9 7 8 4 9 0 6 6 8 1 3 9 6 *

日本経済新聞 2018/04/14



野蛮なアリスさん
ファン ジョンウン、斎藤 真理子 著
河出書房新社
ソウル郊外に建設される、大規模マンションを巡り加熱する人々の欲望。凶暴な母と年老いた父、そして沢山の食用犬と暮す少年アリスのたったひとりの戦い…。強烈なイメージで描く怒りと敗北、無垢な祈りの物語。

2018:3./ 207p
978-4-309-20740-7
本体 ¥1,600+税
* 9 7 8 4 3 0 9 2 0 7 4 0 7 *

日本経済新聞 2018/04/14、朝日新聞 2018/04/21



法の番人として生きる～大森政輔元内閣法制局長官回顧録～
大森 政輔、牧原 出 編
大森 政輔 著
岩波書店
バブル、昭和から平成への改元、阪神・淡路大震災、金融危機、9 条解釈…。激動の政治の中で、内閣法制局はどう対応したのか。裁判官から法務省民事局を経て、内閣法制局に転じ、長官を務めた著者がこれまでの歩みをふり返る。

2018:2./ 14p,340p
978-4-00-024800-6
本体 ¥2,800+税
* 9 7 8 4 0 0 0 2 4 8 0 0 6 *

日本経済新聞 2018/04/14、朝日新聞 2018/04/28



ベルルスコーニの時代～崩れゆくイタリア政治～(岩波新書 新赤版 1705)

村上 信一郎 著

岩波書店

大衆的な人気、マフィアとの癒着、メディアの買収…。民主主義の復興を模索するイタリアに、新たな腐敗の構図をもたらした“先駆的”なポピュリスト政治家ベルルスコーニ。スキャンダラスな政治家の実像に迫るイタリア現代史。

2018:2./ 9p,274p

978-4-00-431705-0

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2018/04/14、読売新聞 2018/04/15



古寺巡礼(ワイド版岩波文庫)

岩波書店

日本経済新聞 2018/04/21

2001:1.

978-4-00-007004-1

本体 ¥1,300+税



菊と刀～日本文化の型～(講談社学術文庫)

ルース・ベネディクト 著

講談社

日本人の行動と性格を分析し「恥の文化」を鋭く見抜いた名著菊の優美と刀の殺伐第二次大戦中の米国戦時情報局による日本研究をもとに執筆され、後の日本人論の源流となった不朽の書。

2005:5./ 423p

978-4-06-159708-2

本体 ¥1,310+税



日本経済新聞 2018/04/21



ボトスライムの舟(講談社文庫 つ31-1)

津村 記久子 著

講談社

日本経済新聞 2018/04/21

2011:4./ 198p

978-4-06-276929-7

本体 ¥450+税



公文書問題～日本の「闇」の核心～(集英社新書 0920)

瀬畑 源 著

集英社

公文書が破棄、隠蔽される事態が行政の中核で常態化している。この「無責任の体系」の背後にある情報公開と公文書管理体制の不備、その弊害を、最新情報を交えながら明快に解説する。『時の法令』連載に加筆し新書化。

2018:2./ 216p

978-4-08-721020-0

本体 ¥740+税



日本経済新聞 2018/04/21



トーマの心臓～萩尾望都パーフェクトセレクション 1～<1>(Flower comics special)

萩尾望都 著

小学館

日本経済新聞 2018/04/21

2007:7./ 324p

978-4-09-131119-1

本体 ¥1,400+税





春の夢～ポーの一族～(フラワーコミックススペシャル)

萩尾 望都 著

小学館

永遠の時を生きるバンパネラ(吸血鬼)であるエドガーとアランは、1940 年代戦火のヨーロッパ、イギリス郊外でナチスドイツから逃れてきたドイツ人姉弟と出逢う...そしてその出逢いが新たな運命の歯車をまわす。

2017:7./ 192p

978-4-09-139560-3

本体 ¥648+税



日本経済新聞 2018/04/21



復興の書店(小学館文庫 い 10-1)

稲泉 連 著

小学館

絶対に忘れない。本が街に灯りをともしたあの日のことを-。東日本大震災で深く傷つき、棚の商品を一度は全て失いながらも、少しずつ確実に店を復旧していくとする、東北の書店経営者や書店員の姿を描く感動ドキュメント。

2014:11./ 262p

978-4-09-406101-7

本体 ¥580+税



日本経済新聞 2018/04/21



小屋を燃す

南木 佳士 著

文藝春秋

定年退職後、同世代の男たちと魚を釣り、小屋を作って酒を呑む。夕暮れに古い記憶が訪れ...。医師として生死を誠実に見守りつづけた著者にしか描きえぬ、充実の作品集。『文学界』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

2018:3./ 202p

978-4-16-390819-9

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2018/04/21



北斗の拳 イチゴ味 8(ゼノンコミックス)

武論尊/原 哲夫/河田 雄志 著

徳間書店

第三の羅将ハンに続き、第二の羅将ヒョウも登場。修羅の国を目指すラオウ、ジャギ、シャチ、リュウガら一行を迎え撃つ!!一方、サウザー様はガキ共を連れ、領地で宝探し中。そこに郡将カイゼル率いる修羅の軍団が襲いかかる!!

2017:12./ 164p

978-4-19-980464-9

本体 ¥562+税



日本経済新聞 2018/04/21



「本を売る」という仕事～書店を歩く～

長岡 義幸 著

潮出版社

次々閉店していく街の本屋の中で、新たな挑戦を模索する現場の“知恵”と“情熱”。全国 100 書店を徹底取材。“本の目利き”たちが苦悩と逡巡、本への愛を語る。『潮』連載をもとに単行本化。

2018:1./ 312p

978-4-267-02112-1

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/04/21



キュレーションの方法～オブリストは語る～

ハンス・ウルリッヒ・オブリスト、中野 勉 著

河出書房新社

私は、キュレーターをクリエイティヴな存在だとは考えていない。驚嘆すべき数の展覧会を企画実行する世界のトップ・キュレーターが、自身の活動を振り返り、芸術文化の過去・現在・未来を語り尽くす。

2018:2./ 245p

978-4-309-27919-0

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2018/04/21



私はガス室の「特殊任務」をしていた～知られざるアウシュヴィッツの悪夢～(河出文庫 ウ 8-1)

S. ヴェネツィア、鳥取 絹子 著

河出書房新社

アウシュヴィッツ収容所で、同胞のユダヤ人をガス室に送り、遺体を焼き、遺灰を川に捨てる仕事を強制された特殊任務部隊があった。奇跡的に収容所を逃れて生き残った著者が、その惨劇を克明に語る。

2018:4./ 289p

978-4-309-46470-1

本体 ¥880+税



日本経済新聞 2018/04/21



私はすでに死んでいる～ゆがんだ<自己>を生みだす脳～

アニル・アナンサスワミー、藤井 留美 著

紀伊國屋書店出版部

あっけなく崩壊する自己とは何なのか。コタール症候群、認知症、離人症…。当事者や研究者へのインタビューをはじめドッペルゲンガー実験や違法手術の現場も取材し、不思議な病の実相と自己意識の謎に神経科学の視点から迫る。

2018:2./ 345p

978-4-314-01156-3

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/04/21



蘇るサバ缶～震災と希望と人情商店街～

須田 泰成 著

廣済堂出版

東日本大震災で壊滅した、木の屋石巻水産の缶詰工場。その跡地に埋まっていた泥まみれの缶詰を掘り出し、磨き、販売したのは、以前からつながりのあった東京・経堂の商店街の人たちだった…。人のつながりと復興の足跡を綴る。

2018:3./ 221p

978-4-331-52150-2

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2018/04/21



誰もが嘘をついている～ビッグデータ分析が暴く人間のヤバい本性～

セス・スティーン、酒井 泰介 著

光文社

検索は口ほどに物を言う! 米国の隠れた人種差別、世界の男女の性的な悩みや願望、名門校入学の効果、景気と児童虐待の関係…。グーグルの元データサイエンティストが、ビッグデータを分析して人間と社会の真の姿を明かす。

2018:2./ 345p

978-4-334-96216-6

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2018/04/21



文化戦争～やわらかいプロパガンダがあなたを支配する～

ネイトー・トンブソン、大沢 章子 著

春秋社

大統領選挙キャンペーン、イラク占領、都市開発、アップルやスターバックスの企業戦術…。巨大権力の<文化>をまとった人心操作術は、社会にどんな影響を与えているのか。世界を動かす力学を考察した、切れ味鋭い社会批評。

2018:3./ 291p,8p

978-4-393-33361-7

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2018/04/21



禅談(ちくま文庫 さ 47-1)

澤木 興道 著

筑摩書房

「絶対のめでたさ」とは何か。「自己に親しむ」とはどういうことか。仏教を決して高尚なもの、多くの人の手の届かないところにあるものとはしない著者が、軽妙な語りによって深遠なる仏教を説き明かした禅の名著。

2018:4./ 349p

978-4-480-43516-3

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2018/04/21



「本をつくる」という仕事

稲泉 連 著

筑摩書房

校閲がないとミスが出るかも。色々な書体で表現したい。もちろん紙がなければ本はできない…。装丁、印刷、製本など本の製作を支えるプロを訪ね、仕事に対する姿勢や思いを聞く。PR 誌『ちくま』連載をもとに単行本化。

日本経済新聞 2018/04/21

2017:1./ 235p

978-4-480-81534-7

本体 ¥1,600+税



本屋という「物語」を終わらせるわけにはいかない

松本 大介 著

筑摩書房

「思考の整理学」「文庫 X」等のベストセラーを連発してきた、岩手県盛岡市を中心とする<さわや書店>。さわや書店から出版業界を見てきた著者が、本屋の仕事と日常、本のこれからを綴る。『web ちくま』連載を基に書籍化。

日本経済新聞 2018/04/21

2018:3./ 249p

978-4-480-86457-4

本体 ¥1,500+税



文明論～文明興亡の法則～

岸根卓郎 著

東洋経済新報社

日本経済新聞 2018/04/21

1990:2./ 234p

978-4-492-06051-3

本体 ¥1,845+税



探求～エネルギーの世紀～<上>

ダニエル・ヤーギン、伏見 威蕃 著

日本経済新聞出版社

21 世紀の生活を支える未来のエネルギーとは何か？ 福島第一原発事故は、不可欠と考えられてきた原子力エネルギーに疑問を投げかけた。エネルギーの重要性を説明し、現代のエネルギー・システムの発展の過程などを考察する。

日本経済新聞 2018/04/21

2015:2./ 8p,508p 図版
16p

978-4-532-16953-4

本体 ¥1,500+税



探求～エネルギーの世紀～<下>

ダニエル・ヤーギン、伏見 威蕃 著

日本経済新聞出版社

今後、増えたと予想される電力・エネルギー消費をまかなうエネルギー源は何か？ バイオ燃料、再生可能エネルギー、内燃機関の進化、電気・水素自動車など未来の技術を解説し、効率や節約についても取り上げる。

日本経済新聞 2018/04/21

2015:2./ 512p 図版
16p

978-4-532-16954-1

本体 ¥1,500+税



南アフリカの衝撃(日経プレミアシリーズ)

平野 克己 著

日本経済新聞出版社

アフリカ最大の経済力を擁し、グローバル化が進む南アフリカ共和国。一方では凶悪犯罪が多発し、世界最大の所得格差になるなど、グローバリゼーションの危険な側面が露呈している。アパルトヘイト脱却後の現実を赤裸々に描く。

日本経済新聞 2018/04/21

2009:12./ 206p

978-4-532-26064-4

本体 ¥850+税





江戸の科学者～西洋に挑んだ異才列伝～(平凡社新書 875)

新戸 雅章 著

平凡社

世界に匹敵する異能の科学者たちが江戸時代の日本にもいた! 平賀源内、関孝和、緒方洪庵など、日本の近代科学技術の礎をつくった 11 人の波瀾万丈の生涯を描きながら、江戸科学の魅力を探究する。

日本経済新聞 2018/04/21

2018:4./ 251p

978-4-582-85875-4

本体 ¥820+税



* 9 7 8 4 5 8 2 8 5 8 7 5 4 *



大奥<15> ドラマ CD 付き特装版

よしなが ふみ 著

白泉社

日本経済新聞 2018/04/21

2017:12.

978-4-592-10584-8

本体 ¥2,150+税



* 9 7 8 4 5 9 2 1 0 5 8 4 8 *



アメリカから〈自由〉が消える(扶桑社新書)

堤 未果 著

扶桑社

飛行機に乗れない、突然逮捕される、言いたいことが言えない…。これが「自由の国」で頻繁に起きている! 「言論の自由」を抑えこまれている、アメリカ社会の驚愕の実態を明かす。

日本経済新聞 2018/04/21

2010:3./ 199p

978-4-594-06164-7

本体 ¥700+税



* 9 7 8 4 5 9 4 0 6 1 6 4 7 *



銃・病原菌・鉄～一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎～<上巻>(草思社文庫ダ 1-1)

ジャレド・ダイヤモンド 著

草思社

アメリカ大陸の先住民はなぜ、旧大陸の住民に征服されたのか。世界に広がる富とパワーの「地域格差」を生み出したものとは。人類史に隠された壮大な謎を、広範な知見を駆使して解き明かす。

日本経済新聞 2018/04/21

2012:2./ 395p, 17p

978-4-7942-1878-0

本体 ¥900+税



* 9 7 8 4 7 9 4 2 1 8 7 8 0 *



銃・病原菌・鉄～一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎～<下巻>(草思社文庫ダ 1-2)

ジャレド・ダイヤモンド 著

草思社

世界史の勢力地図は侵略と淘汰が繰り返される中で幾度となく塗り替えられてきた。勝者と敗者を分けた要因とは、地域による差を生み出した真の要因とはなにか。人類史に隠された壮大な謎を、広範な知見を駆使して解き明かす。

日本経済新聞 2018/04/21

2012:2./ 412p, 18p

978-4-7942-1879-7

本体 ¥900+税



* 9 7 8 4 7 9 4 2 1 8 7 9 7 *



誤解された大統領～フーヴァーと総合安全保障構想～

井口 治夫 著

名古屋大学出版会

大恐慌への対応を批判され、無能とされた大統領フーヴァーの役割やその活動の意義について、人道支援・環境保護などの先駆的政策から再評価。米国政治の群像を鮮やかに捉えるとともに、日本の占領政策にも新たな光を当てる。

日本経済新聞 2018/04/21

2018:3./ 6p, 366p, 48p

978-4-8158-0904-1

本体 ¥5,800+税



* 9 7 8 4 8 1 5 8 0 9 0 4 1 *



伝説のハッカーが教える超監視社会で身を守る方法

ケビン・ミトニック、ロバート・バモシ、高取 芳彦 著

日経BP社

電子メールも、電話も、インターネットも、スマホも容易に監視されている!? 適切にパスワードを管理してデータを守る方法や匿名性を守る方法など、デジタル世界でプライバシーを守る具体的な方法を紹介する。

日本経済新聞 2018/04/21

2018:2./ 429p

978-4-8222-8550-0

本体 ¥2,000+税



* 9 7 8 4 8 2 2 2 8 5 5 0 0 *



リボンの騎士《なかよしオリジナル版》復刻大全集<2>

手塚 治虫 著

復刊ドットコム

女と男、2 つの心を持つ美しきサファイアの恋と冒険を描いた手塚治虫の名作「リボンの騎士」全話を、雑誌掲載時のオリジナル・バージョンで刊行。2 は、『なかよし』1964 年 2 月号?1965 年 6 月号掲載分を収録する。

日本経済新聞 2018/04/21

2015:11./ 271p

978-4-8354-5237-1

本体 ¥9,200+税



* 9 7 8 4 8 3 5 4 5 2 3 7 1 *



動的平衡<1> 生命はなぜそこに宿るのか

福岡 伸一 著

木楽舎

生命とは、絶え間ない流れの中にある動的なものである。哲学する分子生物学者・福岡伸一が問う生命のなりたち、ふるまい、ありよう。10 年におよぶ論考をすべて収録し、「生命の流れ」を流麗な文体で綴る。

日本経済新聞 2018/04/21

2009:2./ 254p

978-4-86324-012-4

本体 ¥1,524+税



* 9 7 8 4 8 6 3 2 4 0 1 2 4 *



密談の戦後史(角川選書 601)

塩田 潮 著

KADOKAWA

幣原喜重郎とダグラス・マッカーサーによる憲法 9 条誕生の密談から、安倍晋三が再登板を決意する密談まで、政治を変える決定的な役割を果たした密談・密約を通して、知られざる戦後史をたどる。

日本経済新聞 2018/04/21、産経新聞 2018/04/22

2018:3./ 318p

978-4-04-703619-2

本体 ¥1,700+税



* 9 7 8 4 0 4 7 0 3 6 1 9 2 *



世界経済史概観~紀元1年-2030年~

アンガス・マディソン、政治経済研究所 著

岩波書店

世界各地域の実質 GDP の歴史統計に基づき、西暦 1 年から 2003 年までの世界経済史の輪郭を描きだし、数量的経済分析の研究史とそこでの論争を紹介。また、2030 年の世界経済を大胆に予測する。

日本経済新聞 2018/04/28

2015:6./ 9p,503p

978-4-00-061033-9

本体 ¥7,400+税



* 9 7 8 4 0 0 0 6 1 0 3 3 9 *



インド哲学10講(岩波新書 新赤版 1709)

赤松 明彦 著

岩波書店

難解と思われがちなインド哲学のおもしろさと広がりをつめる入門書。世界の成り立ち、存在と認識、物質と精神、業と因果、言葉それ自体についての深い思索の軌跡を、原典読解をふまえながら考察する。

日本経済新聞 2018/04/28

2018:3./ 3p,241p,14p

978-4-00-431709-8

本体 ¥840+税



* 9 7 8 4 0 0 4 3 1 7 0 9 8 *



中国新興企業の正体(角川新書 K-204)

沈 才彬 著

KADOKAWA

配車アプリ、シェア自転車、出前サイト、民泊…。中国人の生活を一変させたニューエコノミー分野の新企業は、今や世界最大規模にまで急成長している。「スマホ決済」を媒介に進化を遂げる中国ニュービジネスの最前線を追う。

2018:4./ 323p

978-4-04-082197-9

本体 ¥940+税



日本経済新聞 2018/04/28



だから、生きる。(新潮文庫 つ-39-1)

つんく♂ 著

新潮社

歌手、音楽プロデューサーとして成功を収める著者を突然襲った喉頭癌。声帯摘出に至るまでの壮絶な日々、なによりも大切な家族のこと、プロデューサーとして思うこと、そして声を失って歩き始めた人生について綴る。

2018:4./ 265p

978-4-10-121196-1

本体 ¥520+税



日本経済新聞 2018/04/28



秘録イスラエル特殊部隊～中東戦記 1948-2014～

マイケル・バー＝ゾウハー、ニシム・ミシャル、上野 元美 著

早川書房

建国以来、常に戦乱の只中にあったイスラエル。同国特殊部隊が関与した諸作戦の全貌を、自らも中東戦争を戦ったスパイ小説の巨匠が語った瞠目の戦記ノンフィクション。

2018:3./ 384p

978-4-15-209752-1

本体 ¥2,300+税



日本経済新聞 2018/04/28



緋色の記憶(文春文庫)

トマス・H・クック 著

文芸春秋

日本経済新聞 2018/04/28

1998:3./ 398p

978-4-16-721840-9

本体 ¥720+税



夏草の記憶(文春文庫)

トマス・H・クック 著

文芸春秋

日本経済新聞 2018/04/28

1999:9./ 449p

978-4-16-721858-4

本体 ¥667+税



私という名の変奏曲(文春文庫 れ 1-17)

連城 三紀彦 著

文芸春秋

美容整形で完璧な美貌を手に入れたモデル、美織レイ子が死んだ。レイ子を殺す動機を持つ 7 人の男女は、全員が「美織レイ子を殺したのは自分だ」と信じていて…。ミステリー史上出色のヒロインをめぐる愛憎劇を超絶技巧で描く。

2014:4./ 326p

978-4-16-790075-5

本体 ¥700+税



日本経済新聞 2018/04/28



モラル・ハラスメント～人を傷つけずにはいられない～

マリー＝フランス・イルゴイエヌ 著

紀伊國屋書店

言葉や態度によって、巧妙に人の心を傷つける精神的な暴力＝モラル・ハラスメント。どんな人間がこのような暴力をふるうのか、いかなる方法がよく使われるのかなど、経験豊富な精神科医がその実態を徹底解剖。

1999:12./ 332p

978-4-314-00861-7

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/04/28



新選組颯爽録(光文社文庫 か53-4)

門井 慶喜 著

光文社

剣ではなく人を自在に操った土方歳三。生真面目な能吏、尾形俊太郎。若き天才剣士、沖田総司。若き隊士たちを、時に爽やかに、時に伶俐に、そして時に凄惨に描く。単行本未収録短編「戦いを避ける」を追加。

2018:4./ 416p

978-4-334-77641-1

本体 ¥720+税



日本経済新聞 2018/04/28



鉄道人とナチス～ドイツ国鉄総裁ユリウス・ドルプミュラーの二十世紀～

【パン】澤 歩 著

国書刊行会

技術官吏の出身ながら異例の栄達をとげ、戦間期のドイツ国鉄総裁として名声を得た鉄道人ユリウス・ドルプミュラー。鉄道行政の責任者として戦争とユダヤ人虐殺に加担するまでを、ドイツ社会経済史の枠組みで描く評伝。

2018:3./ 358p

978-4-336-06256-7

本体 ¥3,400+税



日本経済新聞 2018/04/28



港の日本史(祥伝社新書 520)

吉田 秀樹、歴史とみなと研究会 著

祥伝社

三内丸山遺跡にあった海運の痕跡。平家一門や幕府将軍、戦国大名たちが描いた国際貿易の夢。海洋大国の礎となる幕末・明治の築港事業…。古代から近現代に至るまで、港湾の専門家が港と日本の歴史との関わりを見つめ直す。

2018:3./ 253p

978-4-396-11520-3

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2018/04/28



雇用は契約～雰囲気には負けない働き方～(筑摩選書 0158)

玄田 有史 著

筑摩書房

契約期間を軸に、多様化が進む 21 世紀日本の雇用の現実を見据え、誰もが納得できる職業人生を歩んでゆくための、望ましい雇用社会のあり方を提言する。悔いなき職業人生を送るためのヒントが満載。

2018:3./ 251p

978-4-480-01665-2

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2018/04/28



世界経済大いなる収斂～IT がもたらす新次元のグローバル化～

リチャード・ボードウィン、遠藤 真美 著

日本経済新聞出版社

情報通信技術の進歩がもたらした知識の分布の歴史的な変化。モノ、アイデア、ヒトの移動コスト「距離」に着眼し、世界経済をめぐる通念を打ち破り、知識のフローが主導する経済の変容と、その影響をダイナミックに解き明かす。

2018:2./ 397p

978-4-532-35763-4

本体 ¥3,500+税



日本経済新聞 2018/04/28



夜よ鼠たちのために(宝島社文庫 C れ-1-1)

連城 三紀彦 著

宝島社

脅迫電話に呼び出された医師とその娘婿が、白衣を着せられ、首に針金を巻きつけられた奇妙な姿で遺体となって発見された。犯人の目的は一体…。表題作をはじめ、意外な真相が胸を打つサスペンス・ミステリーの傑作9編を収録。

2014:9./ 413p

978-4-8002-3173-4

本体 ¥730+税



日本経済新聞 2018/04/28



大塚久雄から資本主義と共同体を考える～コモンウィール・結社・ネーション～

梅津 順一、小野塚 知二 著

日本経済評論社

戦後社会科学の旗手であった大塚久雄。彼の提起した様々な基本的論点は、日本経済のグローバル化に対してどのような問いを投げ掛けているのかを論じる。2016年11月に青山学院大学で開催されたシンポジウムを基に書籍化。

2018:1./ 8p,319p

978-4-8188-2483-6

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2018/04/28



野生のベリージャム

小島 聖 著

青幻舎

国内にとどまらず海外の様々な山にも登る山好きの女優・小島聖が、ネパールでのトレッキングや、20日間、アメリカの大自然をひたすら歩く「ジョン・ミューア・トレイル」などでの、“食”にまつわるエピソードを綴る。

2018:3./ 270p

978-4-86152-642-8

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2018/04/28



悲体

連城 三紀彦 著

幻戯書房

40年前に消えた母を探し韓国へ来た男の物語は、それを書きつつある作者自身の記憶と次第に混じり合う…。出生の秘密をめぐるミステリと私小説的メタフィクションを融合させた実験長篇。『すばる』連載を単行本化。

2018:3./ 267p

978-4-86488-143-2

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2018/04/28



近代仏教と青年～近角常観とその時代～

岩田 文昭 著

岩波書店

歎異抄の存在を広く伝えた宗教者・近角常観。「絶対の慈悲」を説き続けた彼の生涯と宗教活動に新たな光を当て、その影響を受けた青年知識人たちの活動を通して、近代精神史における絶対への希求とその痕跡を読み解く。

2014:8./ 19p,307p,5p

978-4-00-025988-0

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2018/04/01



金子兜太の俳句入門(角川ソフィア文庫 SP D-112-1)

金子 兜太 著

角川学芸出版

誰もが気軽に楽しむようになった「俳句」。俳人・金子兜太が、俳句形式の不思議な表現力や、連歌から俳句にいたる歴史の中で育てられた「俳諧」の世界、そこに胎蔵される「情」などについて語る。

2012:5./ 242p

978-4-04-406509-6

本体 ¥629+税



毎日新聞 2018/04/01



水滸伝<1>(講談社学術文庫 2451)

講談社

中国四大奇書のひとつ“水滸伝”。北宋末期の乱世を舞台に、好漢 108 人が暴力・知力・胆力を発揮し、戦いを繰り広げながら「梁山泊」へと集結。1 は冒頭の「引首」から「第 22 回」までを収録。

毎日新聞 2018/04/01

2017:9./ 715p

978-4-06-292451-1

本体 ¥1,850+税



私はあなたの記憶のなかに

角田 光代 著

小学館

K 和田くんは、他人の弱さに共振して自分をすり減らす消しゴムのような男の子で…。「猫男」をはじめ、「父とガムと彼女」「水曜日の恋人」など全 8 編を収録。雑誌や単行本に掲載された作品をまとめる。

毎日新聞 2018/04/01

2018:2./ 280p

978-4-09-386491-6

本体 ¥1,500+税



庭

小山田 浩子 著

新潮社

ままならない日々を生きる人間のすぐそばで、虫や草花や動物たちが織り成す、息をのむような不可思議な世界。風景が静かに決定的に姿を変える瞬間を克明に描き出す、15 の物語を収録する。

毎日新聞 2018/04/01

2018:3./ 235p

978-4-10-333643-3

本体 ¥1,700+税



思想としての近代仏教(中公選書 030)

末木 文美士 著

中央公論新社

日本において「近代仏教」はどのように形成され、展開していったのか。思想と実践の両面から、代表的知識人の営為に光を当てる。また、浄土、日蓮、禅という三系統について、それぞれの複雑な思想動向を取りあげる。

毎日新聞 2018/04/01

2017:11./ 421p

978-4-12-110030-6

本体 ¥2,400+税



トム・ストッパード<4> アルカディア(ハヤカワ演劇文庫 43)

トム・ストッパード 著

早川書房

19 世紀の英国。詩人バイロンが長逗留する貴族の館にはあらゆる人間の織り成すカオスな関係が渦巻いていた。200 年の時を経て、現代のバイロン研究者らは、その謎を解き明かせるのか…。知的隠喩に満ちた傑作戯曲。

毎日新聞 2018/04/01

2018:2./ 270p

978-4-15-140043-8

本体 ¥1,200+税



金子兜太～自選三百句～(俳句文庫)

金子兜太 著

春陽堂書店

毎日新聞 2018/04/01

1993:1./ 206p

978-4-394-70037-1

本体 ¥777+税





聴くと聞こえる〜on Listening 1950-2017〜

谷川 俊太郎 著

創元社

きらめく朝の陽差しの中で あなたの裸の心を見たい そよ風のわたる林の中で
かくされたのぞみを知りたい(「ひとり」より) 初期の作品から最新の書き下ろしま
で、「聴く」ことをめぐる詩とエッセイを収録。

2018:2./ 125p

978-4-422-91034-5

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/04/01



チボー家の人々<1> 灰色のノート(白水 U ブックス)

ロジェ・マルタン・デュ・ガール 著

白水社

毎日新聞 2018/04/01

1984:3./ 203p

978-4-560-07038-3

本体 ¥850+税



戦争文化と愛国心〜非戦を考える〜

海老坂 武 著

みすず書房

教科書に歴史物語、軍歌、家庭では新聞や雑誌、ラジオを通じて、戦争の言葉
を、時代の狂気を擦り込まれた少年時代。戦争を誘発し、戦争への道を用意する
<戦争文化>がどのように日本を覆っていったかを検証する。

2018:3./ 8p,341p

978-4-622-08518-8

本体 ¥3,800+税



毎日新聞 2018/04/01



ルポ地域再生〜なぜヨーロッパのまちは元気なのか?〜(イースト新書 096)

志子田 徹 著

イースト・プレス

なぜ欧州では、地方の小さなまちでも満足しながら暮らすことができるのか。欧州
各地で取材を重ねた著者が、人口減少、観光客減、農業の衰退などの危機的状
況に立ち向かってきた現場の人たちの原動力と取り組みに迫る。

2018:2./ 255p

978-4-7816-5096-8

本体 ¥861+税



毎日新聞 2018/04/01



ぼくは虫ばかり探っていた〜生き物のマイナーな普遍を求めて〜

池田 清彦 著

青土社

人類の進化と少子化、iPS 細胞がもたらす未来、生き返るクマムシ、「マイナーな
普遍」としての虫の楽しみ…。主に構造主義生物学から見た進化について解説す
る。『現代思想』ほか掲載のエッセイやインタビューを集成。

2018:2./ 230p

978-4-7917-7052-6

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/04/01



死の貌(かたち)〜三島由紀夫の真実〜

西 法太郎 著

論創社

果たされなかった遺言、自身がモデルのブロンズ裸像、「花ざかりの森」自筆原稿
発見、楯の会突入メンバーの想い、川端康成との確執…。驚愕の事実を明らかに
し、三島由紀夫研究に新たな一石を投じる書。

2017:12./ 300p

978-4-8460-1669-2

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/04/01



塚本邦雄全歌集<第1巻>(短歌研究文庫 23)

塚本 邦雄 著
短歌研究社

「前衛短歌の三雄」のひとり、塚本邦雄の全歌集。第1巻は、塚本の遺した序数歌集のうち、「水葬物語」「装飾樂句」「日本人靈歌」を収録し、火原翔名義の俳句帖を翻刻・併載する。藤原龍一郎のエッセイ等も掲載。

2018:2./ 237p
978-4-86272-551-6
本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/04/01



動く墓～沖縄の都市移住者と祖先祭祀～

越智 郁乃 著
森話社

死者の安置所あるいは祭祀の場たる墓の移動は、特に沖縄本島都市部に移動してきた人々の生き方にどのように影響しているのだろうか。沖縄戦、米軍統治、本土復帰を経て、なお変容し続ける現代沖縄の生と死のリアリティ。

2018:2./ 239p
978-4-86405-127-9
本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2018/04/01



ふるさとの駄菓子～石橋幸作が愛した味とかたち～(LIXIL BOOKLET)

石黒 知子、成合 明子 編
LIXIL出版

駄菓子を定義づけるものは歴史と風土である。駄菓子職人・石橋幸作が、東北を皮切りに北海道から九州まで、日本の主な都市の駄菓子を实地踏査し、絵と文で書き残した詳細な記録を収録。「幸作さんの駄菓子分類」なども掲載。

2018:3./ 80p
978-4-86480-521-6
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/04/01



宮沢賢治妹トシの拓いた道～「銀河鉄道の夜」へむかって～ 第2版

山根 知子 著
朝文社

宮沢賢治の作品に大きな影を投げかけているその妹、宮沢トシ。彼女の存在そのものが、賢治にとってどのような意義をもつのか。トシの生涯や信仰についての研究を土台にして、賢治の人生と作品を論じる。

2007:1./ 389p
978-4-88695-193-9
本体 ¥4,000+税



毎日新聞 2018/04/01



きけわだつみのこえ～木村久夫遺稿の真実～(北東アジア研究叢書)

中谷 彪 著
桜美林大学北東アジア総合研究所

木村久夫の遺稿を編集したのは誰か。「きけわだつみのこえ」の中でも白眉の文章といわれる木村久夫の遺稿収録の過程を詳細に追跡。塩尻公明(久夫の恩師)研究の第一人者が、『東京新聞』の「恩師編集説」を根本から覆す。

2015:2./ 251p
978-4-904794-49-4
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/04/01



日本行脚俳句旅

金子 兜太 著
アーツアンドクラフツ

「定住漂泊」の俳人が、北はオホーツク海から南は沖縄までを行脚。道々、吐いた句を、時空を超えて、遊山の詩人が跡づける。全国を8地域にわけ、自句を解説したエッセイと、地域ごとのエピソードを俳句とともに綴る。

2014:8./ 187p
978-4-908028-00-7
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2018/04/01



鯉のぼり図鑑～おもしろそうにおよいでる～

林 直輝、日本鯉のぼり協会 編

林 直輝 著

小学館

鯉のぼり文化 300 年のすべてがわかる一冊。江戸中期に誕生した鯉のぼりの歴史を解説し、江戸時代から現代までの、100 点以上の逸品や、鯉のぼりができるまでの工程、日本各地の鯉のぼり祭りなどを紹介する。

2018:2./ 79p

978-4-09-682255-5

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/04/01、朝日新聞 2018/04/21、読売新聞 2018/04/29



絶滅危惧の地味な虫たち～失われる自然を求めて～(ちくま新書 1317)

小松 貴 著

筑摩書房

アリの死骸をまとうカメムシの幼虫、ロボットから生まれる蚊、オケラに卵を産みつけるハチ、鍵つきの巣に住むクモ…。絶滅危惧の虫の中でも殊更に世間で話題にのぼらない種を取り上げ、彼らへの惜しめない「愛」を語る。

2018:3./ 318p

978-4-480-07126-2

本体 ¥950+税



毎日新聞 2018/04/01、日本経済新聞 2018/04/14



凶犬の眼

柚月 裕子 著

KADOKAWA

田舎の駐在所に異動となり、穏やかな毎日に虚しさを感じている日岡。ある日、懇意のヤクザから紹介された男が、指名手配中の国光であることに気づき…。『小説野性時代』連載を加筆し単行本化。

2018:3./ 333p

978-4-04-104955-6

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2018/04/07



乗客ナンバー23の消失

セバスチャン・フィツェック、酒寄 進一 著

文藝春秋

次々に乗客が消える客船に妻子失踪の謎を解くべく乗船した捜査官が直面する謎また謎。鬼気迫る捜査がたどりついた真相とは? ドイツ屈指のベストセラー作家が轟進させる閉鎖空間サスペンス。

2018:3./ 381p

978-4-16-390818-2

本体 ¥2,250+税



毎日新聞 2018/04/07



伊能忠敬

大谷亮吉、長岡半太郎 著

岩波書店

毎日新聞 2018/04/08

2001:3./ 766p

978-4-00-009887-8

本体 ¥32,000+税



我々はなぜ我々だけなのか～アジアから消えた多様な「人類」たち～(ブルーバックス B-2037)

川端 裕人 著

講談社

我々ホモ・サピエンスの出現前、アジアにいた多様な「人類」はなぜ滅んだのか。我々はなぜ生き残ったのか。アジア人類進化学の第一人者と、彼に導かれ「我々とは何か」を問い続けた著者による人類学の最新成果。

2017:12./ 283p

978-4-06-502037-1

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/04/08



鳥!驚異の知能～道具をつくり、心を読み、確率を理解する～(ブルーバックス B-2053)

ジェニファー・アッカーマン 著

講談社

鳥は道具を操り、他者の心を読み、確率を理解し、数百の歌を学び、数千キロを地図なしで旅する。最新科学に基づいて、世界中にいる翼の生えた天才たちの知的な行動や能力を紹介し、「知能とは何か」に迫る。

2018:3./ 411p

978-4-06-502053-1

本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2018/04/08



伊能忠敬測量隊

渡辺 一郎 著

小学館

華麗さと正確さで知られる伊能忠敬の地図。初の実測地図はどのように作られたのか、伊能測量の全貌に迫る。カラー図版を多数収録、忠敬の 4 人目の妻の身元などのコラムも満載。

2003:7./ 303p 図版
16p

978-4-09-626205-4

本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2018/04/08



巡礼(新潮文庫 は15-7)

橋本 治 著

新潮社

ひとりゴミ屋敷に暮らし、周囲の住人たちの非難の目にさらされる老いた男。彼は、いつ、なぜ、家族も道も失ったのか? その孤独な魂を鎮魂の光のなかに描き出す。

2012:2./ 289p

978-4-10-105417-9

本体 ¥490+税



毎日新聞 2018/04/08



リア家の人々(新潮文庫 は-15-8)

橋本 治 著

新潮社

帝大出の文部官僚である砺波文三は、妻との間に 3 人の娘をもうけた。敗戦後、妻はがんで逝き、上の 2 人の娘たちは次々に嫁ぎ、末娘は高度成長の喧噪をよそに自分の幸せを探し始めていた…。昭和の家族の歳月を描く傑作長編。

2013:1./ 363p

978-4-10-105418-6

本体 ¥550+税



毎日新聞 2018/04/08



玄鳥さりて

葉室 麟 著

新潮社

藩内で出世を遂げる三浦圭吾。その陰には、遠鳥を引き受けてまで彼を守ろうとした剣の達人・樋口六郎兵衛の献身があった。だが、藩主の企てにより、六郎兵衛は圭吾に敵対するよう仕立てられ…。『小説新潮』連載を単行本化。

2018:1./ 246p

978-4-10-328015-6

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/04/08



草薙の剣

橋本 治 著

新潮社

10 代から 60 代まで、世代の異なる 6 人の男たちと彼らの祖父母まで遡るそれぞれの人生を辿り、日本人の心の 100 年を描き、現代のありようを根底から問い返す。作家デビュー 40 周年記念長篇小説。『新潮』掲載を単行本化。

2018:3./ 347p

978-4-10-406115-0

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2018/04/08



立憲君主制の現在～日本人は「象徴天皇」を維持できるか～(新潮選書)

君塚 直隆 著

新潮社

21 世紀の今、なぜ「君主制」が評価されるのか？ 立憲君主制の歴史から、君主制が民主主義の欠点を補完するメカニズムを解き明かし、日本の天皇制が「国民統合の象徴」であり続けるための条件を問う。

2018:2./ 299p

978-4-10-603823-5

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2018/04/08



女王陛下のブルーリボン～英国勲章外交史～(中公文庫 き 39-1)

君塚 直隆 著

中央公論新社

創設から 500 年間見向きもされなかった「ガーター勲章」は、ヴィクトリア女王が 7 つの海を制したとき、世界中の王侯たちにとって垂涎の的となった。ブルーリボン外交、授与と?奪の 200 年を紹介する。

2014:1./ 335p

978-4-12-205892-7

本体 ¥914+税



毎日新聞 2018/04/08



橋(文春文庫 は 16-2)

橋本 治 著

文藝春秋

日本海に面した雪深い地方で、高度成長期に青春を過ごした正子と直子。彼女たちの娘は停滞の時代に家庭を持ち、そして、2 人はそれぞれ、静かに人生を転落してゆくのだった…。

2013:8./ 285p

978-4-16-734704-8

本体 ¥560+税



毎日新聞 2018/04/08



故郷忘じがたく候(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

毎日新聞 2018/04/08

2004:10./ 234p

978-4-16-766314-8

本体 ¥510+税



図説伊能忠敬の地図をよむ(ふくろうの本/日本の文化)

渡辺 一郎 著

河出書房新社

伊能図を知る上で格好の入門書。米国議会図書館で大図 207 枚が見つかるなど初版以来 10 年間の数々の発見を 24 頁増量して全紹介。

2010:12./ 136p

978-4-309-76153-4

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/04/08



伊能忠敬(三省堂選書)

小島一仁 著

三省堂

毎日新聞 2018/04/08

1978:3./ 207p

978-4-385-43616-6

本体 ¥1,300+税





昭和歌謡職業作曲家ガイド

馬飼野 元宏 著

シンコーミュージック

1950 年代後半から 80 年代末頃までの歌謡シーンに登場した作曲家やシンガー・ソングライターのプロフィールと作家性を解析しつつ、世に送り出したヒット曲や隠れた名曲などを紹介する。譜面解説、コラムも収録。

2018:3./ 284p

978-4-401-64371-4

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/04/08



海洋の環〜人類の共同財産「海洋」のガバナンス〜

エリザベス・マン・ボルゲーゼ、笹川平和財団海洋政策研究所 著

成山堂書店

海洋を人類の共同財産として治めるにはどうしたらよいか。「海洋の母」と呼ばれる著者が、高い理念と豊富な知見を活かして、自然科学的、文化的、経済的、法的、制度的な視点から具体的に考察し、そのあるべき姿を提示する。

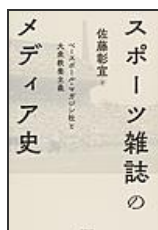
2018:1./ 26p,15p,245p

978-4-425-53181-3

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2018/04/08



スポーツ雑誌のメディア史〜ベースボール・マガジン社と大衆教養主義〜

佐藤 彰宣 著

勉誠出版

戦後初期のスポーツ雑誌には、「高尚さ」や「教養」を語る編集者や読者の声が少なからず存在する。1970 年までのベースボール・マガジン社の雑誌出版を事例に、スポーツ雑誌と「教養」が結びついた社会のあり様を解明する。

2018:1./ 296p,7p

978-4-585-23060-1

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2018/04/08



伊能忠敬の科学的業績〜日本地図作製の近代化への道〜

保柳 睦美 著

古今書院

「伊能忠敬の全国測量と経度問題」「世界の地図作製史上における伊能図の地位」など、忠敬の科学的業績に関する 11 論文と、高弟渡辺慎による伊能測量地伝習録、計器類の解説などを含む資料と年表およびその解説を収める。

1997:10./ 510p 図版 9

枚

978-4-7722-1013-3

本体 ¥25,000+税



毎日新聞 2018/04/08



佐々木敏のデータ栄養学のすすめ〜氾濫し混乱する「食と健康」の情報を整理する〜

佐々木 敏 著

女子栄養大学出版部

ビタミンにまつわる不安と誤解、炭水化物・糖と糖尿病・肥満の関連など、「食と健康の科学」を栄養疫学の考え方から解説する。『栄養と料理』連載に加筆し単行本化。「佐々木敏の栄養データはこう読む!」の姉妹書。

2018:2./ 367p

978-4-7895-5449-7

本体 ¥2,600+税



毎日新聞 2018/04/08



宮本研エッセイ・コレクション<1> 1957-67

宮本 研、宮本 新 編
宮本 研 著
一葉社

戦後を代表する劇作家のもうひとつの「作品」集。宮本研の創作作品以外で、雑誌、書籍、新聞、公演パンフレット等に発表された文章をまとめる。1 は、「夏雲の記憶」をはじめ、作家活動初期のエッセイを収録。

2017:11./ 351p
978-4-87196-066-3
本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2018/04/08



ひとかどの父へ

深沢 潮 著
朝日新聞出版

幼くして生き別れた、憧れの父が在日朝鮮人？ ある日突然知った事実衝撃を受けた朋美は…。『愛せない自分』と向き合う女性を描く、著者渾身の物語。『FeelLove』連載を大幅に加筆修正して単行本化。

2015:4./ 239p
978-4-02-251276-5
本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/04/15



永続敗戦論～戦後日本の核心～(講談社+a 文庫 G294-1)

白井 聡 著
講談社

1945 年以来、われわれはずっと「敗戦」状態にある。政治哲学や社会思想が専門の著者が、一種の義務感や切迫感に駆られて綴った時事的政論。戦争責任をきわめて不十分にしか問うていない戦後日本の問題を改めて指摘する。

2016:11./ 295p
978-4-06-281651-9
本体 ¥780+税



毎日新聞 2018/04/15



核兵器と原発～日本が抱える「核」のジレンマ～(講談社現代新書 2458)

鈴木 達治郎 著
講談社

「核の傘」は日本国民を本当に守ってくれるのか？ なぜ自民党は原発政策を逆行させようとするのか？ 原子力委員会の元委員長代理が、日本の核の真実を明かす。

2017:12./ 214p
978-4-06-288458-7
本体 ¥800+税



毎日新聞 2018/04/15



国体論～菊と星条旗～(集英社新書 0928)

白井 聡 著
集英社

「戦後の国体」とは、天皇制というピラミッドの頂点に、アメリカを鎮座させたものだ。なぜか奇妙な「国体」が生まれたのか。「戦後の国体」はわれわれをどこに導くのか。白井聡が、日本の深層を明らかにする。

2018:4./ 347p
978-4-08-721028-6
本体 ¥940+税



毎日新聞 2018/04/15



思い出トランプ(新潮文庫)

向田 邦子 著
新潮社

浮気の相手であった部下の結婚式に、妻と出席する男。などー日常生活の中で、誰もがひとつやふたつは持っている弱さや、狡さ、後ろめたさを、人間の愛しさとして捉えた 13 編。直木賞受賞作「花の名前」「犬小屋」「かわうそ」を収録。

1983:5./ 225p
978-4-10-129402-5
本体 ¥460+税



毎日新聞 2018/04/15



宇宙からの帰還(中公文庫)

立花 隆 著

中央公論新社

毎日新聞 2018/04/15

1985:7./ 375p

978-4-12-201232-5

本体 ¥800+税



海を抱いて月に眠る

深沢 潮 著

文藝春秋

親戚や家族に疎まれながら死んでいった在日一世の父。遺品のノートには、家族も知らなかった父の半生が記されていた。ノートから浮かび上がる父の真実の姿とは。自らのルーツに迫る長編小説。『別冊文藝春秋』掲載を単行本化。

2018:3./ 313p

978-4-16-390812-0

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/04/15



恋愛譚～東郷青児文筆選集～

東郷 青児、野崎 泉 編

東郷 青児 著

創元社

画家・東郷青児の知られざる“文筆”世界。少女の生態や恋愛をテーマに、東郷の“ことば”がもっとも魅力的に綴られた詩的で夢幻的な文筆作品を、既刊単著および単行本未収録の文章から精選して収録。

2018:3./ 255p

978-4-422-93078-7

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/04/15



イザベラ・バードの『日本奥地紀行』を読む(平凡社ライブラリー)

宮本 常一 著

平凡社

西の大紀行家・イザベラ・バードの名紀行を、東の民俗学者・宮本常一が読む。日本民族と日本文化の基層を成す岩盤を、深く鋭く穿つ!未来社 84 年刊の「古川古松軒 イサベラ・バード」のイザベラ・バード篇を改題。

2002:12./ 285p

978-4-582-76453-6

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/04/15



逝きし世の面影(平凡社ライブラリー)

渡辺 京二 著

平凡社

昭和を問うなら開国を問え。そのためには開国以前の文明を問え…。幕末から明治に日本を訪れた、異邦人による訪日記を読破。日本近代が失ったものの意味を根本から問い直した超大作。

2005:9./ 604p

978-4-582-76552-6

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/04/15



完訳 日本奥地紀行<1> 横浜一日光一会津一越後(東洋文庫 819)

イザベラ・バード 著

平凡社

イザベラ・バードの明治日本への旅の真実に鋭く迫る決定版。正確を期した翻訳に、丹念な調査に基づく巨細を究めた徹底的な注を付す。1 は、横浜から、日光、会津、越後までの旅を収録。折込式の原著収載の日本地図付き。

2012:3./ 391p

978-4-582-80819-3

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2018/04/15



新訳日本奥地紀行(東洋文庫 840)

イザベラ・バード 著

平凡社

イザベラ・バードの原著簡略本の新訳。明治日本を旅した英国人女性のこまやかで鋭い観察力と描写が、当時の日本の習俗、気風、風景を伝える、旅と冒険の本。

2013.10./ 537p

978-4-582-80840-7

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2018/04/15



イザベラ・バードと日本の旅(平凡社新書 754)

金坂 清則 著

平凡社

「日本奥地紀行」で知られるイギリスの女性旅行家イザベラ・バード。当時は外国人の旅行に厳しい制限があったにもかかわらず、日本各地への旅ができたのはなぜか。バード研究の第一人者が、彼女の生涯と日本の旅の真実を描く。

2014.10./ 271p

978-4-582-85754-2

本体 ¥880+税



毎日新聞 2018/04/15



イサム・ノグチエッセイ

イサム・ノグチ、北代 美和子 著

みすず書房

世界的彫刻家が石を彫る手で紡いだ思索の軌跡。種々の素材による彫刻作品にくわえ、庭園とランドスケープの自作解説から、ルイス・カーンの思い出まで、エッセイやインタビュー全 28 篇を収録。図版も多数掲載する。

2018.4./ 217p

978-4-622-08674-1

本体 ¥4,600+税



毎日新聞 2018/04/15



県都物語～47 都心空間の近代をあるく～

西村 幸夫 著

有斐閣

生糸商人の心意気都市「前橋」、関ヶ原合戦の遺産都市「岐阜」、海に開いた城下町「高松」…。あらゆる都市に物語がある！都市計画の第一人者が全国行脚し相対した 47 都道府県すべての中心部について成り立ちから読みとく。

2018.3./ 2p,334p,13p

978-4-641-16516-8

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2018/04/15



プラットフォーム革命～経済を支配するビジネスモデルはどう機能し、どう作られるのか～

アレックス・モザド、ニコラス・L.ジョンソン、藤原 朝子 著

英治出版

プラットフォーム企業はなぜ爆発的に成長するのか。何がその成否を分け、どうすれば次の機会を見出し活かせるのか。豊富な事例と理論的枠組み、実践経験に基づいて、そのビジネスモデルのすべてを解き明かす。

2018.2./ 357p

978-4-86276-249-8

本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2018/04/15



老いばれ記者魂～青山学院春木教授事件四十五年目の結末～

早瀬 圭一 著

幻戯書房

女子学生はなぜ「強姦」を訴えたのか。派閥争いや「地上げの帝王」が絡み、地位も名誉も信用も家庭も失った男は、死ぬまで「冤罪」を晴らそうとした。有罪か無実か。事件を約半世紀追究した元新聞記者が、その結末を綴る。

2018.2./ 273p

978-4-86488-141-8

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2018/04/15



**熊本城の被災修復と細川忠利～近世初期の居城普請・公儀普請・地方普請～
(熊日新書)**

後藤 典子 著

熊本日日新聞社

加藤家の跡をうけ、熊本城の被災に立ち向かう明君・細川忠利。江戸時代初期の城の被災、苦難に満ちた修復の過程、熊本城や花畠屋敷の様相…。細川忠利が城の修復と国の支配に打ち込んだ9年間を描く。

2017:12./ 230p
978-4-87755-568-9
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/04/15



なぜオックスフォードが世界一の大学なのか

コリン・ジョイス、菅 しおり 著

三賢社

国立でも私立でもない、38 のカレッジに分かれている、個別指導が中心…。オックスフォード大学のセント・アンズ・カレッジで学んだ知日家イギリス人が、自身の体験を通してオックスフォード大学のしくみや魅力を語る。

2018:3./ 237p
978-4-908655-09-8
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/04/15、産経新聞 2018/04/22



事典和菓子の世界 増補改訂版

中山 圭子 著

岩波書店

代表的な菓子、身近な菓子、年中行事に欠かせない菓子などを幅広く収録。菓子のモチーフも多数掲載し、基本的な素材や製法用語についても解説する。和菓子研究の成果や、絵巻、錦絵などのビジュアル要素を加えた増補改訂版。

2018:3./ 16p,309p,25p
978-4-00-061259-3
本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/04/22



なぜ世界は存在しないのか(講談社選書メチエ 666)

マルクス・ガブリエル 著

講談社

1980 年生まれのドイツ哲学界の新星が、ポストモダン以後の時代を表す「新しい実在論」をキーワードに示す、哲学の原則。「なぜ世界は存在しないのか」という大胆な問いを投げかけ、豊富な具体例とともに解きほぐす。

2018:1./ 335p
978-4-06-258670-2
本体 ¥1,850+税



毎日新聞 2018/04/22



ペインレス<上>

天童 荒太 著

新潮社

医師として診察したいんです。あなたのセックスを-。テロによって体の痛みを失った青年は、女性麻酔科医にとって舌なめずりするような実験台だった-。構想 20 年の長編小説。『新潮』連載に加筆訂正して単行本化。

2018:4./ 301p
978-4-10-395703-4
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/04/22



ペインレス<下>

天童 荒太 著

新潮社

心の痛みのない女性麻酔科医と、体の痛みを失った青年。そこに愛は生まれるのか? 進化の扉は開かれるのか? 倫理や常識を超え、今、DNA の壁が決壊する-。構想 20 年の長編小説。『新潮』連載に加筆訂正して単行本化。

2018:4./ 307p
978-4-10-395704-1
本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2018/04/22



ゴリラは戦わない～平和主義、家族愛、楽天的～(中公新書ラクレ 575)

山極 壽一、小菅 正夫 著

中央公論新社

ゴリラの世界は、誰にも負けず、誰にも勝たない平和な社会。家族を愛し、仲間を敬い、楽天的に生き…。人間がいつのまにか忘れた人生観を思い出そう！ 京都大学総長と旭山動物園前園長が、ゴリラの魅力について語り合う。

2017:2./ 190p

978-4-12-150575-0

本体 ¥800+税



毎日新聞 2018/04/22



ブレーションソング(中公文庫)

保坂 和志 著

中央公論新社

毎日新聞 2018/04/22

2000:5./ 245p

978-4-12-203644-4

本体 ¥686+税



1984 年(ハヤカワ文庫 NV)

ジョージ・オーウェル 著

早川書房

毎日新聞 2018/04/22

1982:1./ 421p

978-4-15-040008-8

本体 ¥840+税



えっ! そうなの?! 私たちを包み込む化学物質

浦野 紘平、浦野 真弥 著

コロナ社

農薬、化学肥料、プラスチック、合成洗剤、家庭用の殺虫剤…。化学物質による生活への貢献と被害例を紹介するとともに、関連する法律の現状を解説し、化学物質と上手に付き合う方法を示す。

2017:12./ 12p, 193p

978-4-339-06643-2

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2018/04/22



モスクワの誤解

シモーヌ・ド・ボーヴォワール、井上 たか子 著

人文書院

老いるとは? 長年つれそった夫婦の愛情とは? 共産党時代のソ連への旅のなかで、ささいな誤解から生じた老年カップルの危機と和解。男女それぞれの語りが視点を交互に替えて展開される、老いを見つめた傑作小説。

2018:3./ 170p

978-4-409-13039-1

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2018/04/22



愚者が訊く<その2>

倉本 聡、林原 博光 著

双葉社

旭山動物園元園長、防災研究者、発酵学者…。倉本聡が、賢者たちに素朴な質問をぶつける対談集。NPO 法人富良野自然塾の季刊誌『カムイミントラ』連載に加筆・再編集して単行本化。

2018:2./ 301p

978-4-575-31333-8

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/04/22



もう一つの上野動物園史(丸善ライブラリー)

小森 厚 著

丸善出版

シブゾウ嬰兒盗難事件、戦時猛獣処分、インディラと吉田首相...等、明治15年開園以来100年を超える上野動物園の歴史の中から事件といえる話題を集めた。見慣れた動物園の違った姿を見ることができる一冊。(ソフトカバー)

1997:7./ 176p

978-4-621-05236-5

本体 ¥620+税



毎日新聞 2018/04/22



解雇規制を問い直す～金銭解決の制度設計～

大内 伸哉、川口 大司、山本 陽大、川田 恵介 著

有斐閣

法学者と経済学者が協働して、新たな解雇規制を提案。解雇の金銭解決制度を取り上げ、理論的に推計された金銭補償額を提示し、政策議論のブレイクスルーを図る。

2018:2./ 12p,326p

978-4-641-16521-2

本体 ¥2,800+税



毎日新聞 2018/04/22



マッドジャーマンズ～ドイツ移民物語～

ビルギット・ヴァイエ、山口 侑紀 著

花伝社

モザンビークからやってきた若者たちは欧州で何を見、何を感じたのか? 3人のストーリーを通して移民問題の本質に迫る社会派コミック。2016年マックス&モーリッツ賞最優秀ドイツ語コミック賞受賞。

2017:10./ 243p

978-4-7634-0833-4

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2018/04/22



ENDANGERED～絶滅の危機にさらされた生き物たち～

ティム・フラック、ジョナサン・ベイリー、サム・ウェルズ、千葉 啓恵 著

青幻舎

地球最後のキタシロサイ、棲家を追われるホッキョクグマ...。世界各地の絶滅の危機に瀕した野生動物の姿をおさめた写真集。自然界で起きている変化が、悲痛なほど速いものであることを綴った文章を添える。

2017:11./ 335p

978-4-86152-640-4

本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2018/04/22



あべ弘士の動物よもやまばなし

あべ 弘士 著

北海道新聞社

毎日新聞 2018/04/22

2011:1.

978-4-89453-582-4

本体 ¥1,500+税



田舎教師 改版(岩波文庫 31-021-2)

田山 花袋 著

岩波書店

文学を志しながらも、家庭貧しく代用教員として人生を歩み始めた青年・清三が、田舎教師として埋没しゆく煩悶を日記に記す。世間が日露戦争の勝利に沸くなか病没した実在の青年の日記を元に描く、自然主義文学の代表作。

2018:3./ 332p

978-4-00-360032-0

本体 ¥740+税



毎日新聞 2018/04/29



日本文学盛衰史(講談社文庫)

高橋 源一郎 著

講談社

毎日新聞 2018/04/29

2004:6./ 660p

978-4-06-274781-3

本体 ¥1,000+税



滝山コミュニティー九七四(講談社文庫)

原 武史 著

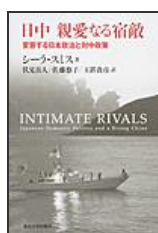
講談社

毎日新聞 2018/04/29

2010:6./ 343p

978-4-06-276654-8

本体 ¥610+税



日中 親愛なる宿敵～変容する日本政治と対中政策～

シーラ・スミス、伏見 岳人、佐藤 悠子、玉置 敦彦 著

東京大学出版会

靖国問題、海洋権益、食の安全、尖閣諸島を巡る対立などの日中関係の問題点を、米国の知日派が冷静に分析。大国へと台頭する中国に対応する日本の取り組みを詳しく解明する。

2018:3./ 17p,307p

978-4-13-036268-9

本体 ¥4,800+税



毎日新聞 2018/04/29



椿の海の記(河出文庫 い31-1)

石牟礼 道子 著

河出書房新社

はだしで盲目で心もおかしくなって、さまよってゆくおもかさ。みっちゃんはその手をしっかりと握り、甘やかな記憶の海を漂う…。失われたふるさと水俣の豊穡な風景、「水銀漬」「生き埋め」にされた壮大な魂の世界がいま甦る。

2013:4./ 311p

978-4-309-41213-9

本体 ¥850+税



毎日新聞 2018/04/29



バルト自伝(新教新書 277)

カール・バルト、佐藤 敏夫 著

新教出版社

米国の雑誌『クリスチャン・センチュリー』の求めに応じてバルトが 10 年ごとに綴った 3 編の自伝的文章を収録。42 歳から 72 歳までの 30 年間の生活の変化と神学の展開がわかる。佐藤敏夫による巻頭解説付き。

2018:4./ 139p

978-4-400-34050-8

本体 ¥1,200+税



毎日新聞 2018/04/29



ニュルンベルク合流～「ジェノサイド」と「人道に対する罪」の起源～

フィリップ・サンズ、園部 哲 著

白水社

2 人のユダヤ系法学者とナチスの法律家ハンス・フランク。それぞれの人生と運命が交錯し、戦後のニュルンベルク裁判へ。ホロコーストの新たな稜線を描く、英国の勅撰弁護士・国際法学者によるノンフィクション。

2018:4./ 563p,57p

978-4-560-09625-3

本体 ¥5,200+税



毎日新聞 2018/04/29



枝野幸男の真価

毎日新聞取材班 著

毎日新聞出版

野党の混迷に終止符を打ち、政権交代も視野に入れる、立憲民主党代表・枝野幸男のビジョンとは？ 立憲民主党の舞台裏を検証しつつ、今後の展望を探る。『毎日新聞』掲載に加筆。

2018:3./ 191p

978-4-620-32513-2

本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2018/04/29



日韓国交正常化交渉の政治史

金 恩貞 著

千倉書房

日韓国交正常化交渉の、日韓請求権問題をめぐる日本政府内の省庁間の対立や官僚と政治家の相互作用を分析。新たに公開された外交資料から、妥結まで14年の歳月を要した日韓会談の全体像に迫る。

2018:3./ 398p

978-4-8051-1138-3

本体 ¥6,400+税



毎日新聞 2018/04/29



苦海浄土 全三部

石牟礼 道子 著

藤原書店

「水俣病」患者とその家族の、そして海と土とともに生きてきた不知火の民衆の、魂の言葉を描ききる。「苦海浄土」「神々の村」「天の魚」全3部作を収録。赤坂真理、池澤夏樹、加藤登紀子らの解説も掲載。

2016:8./ 1,140p

978-4-86578-083-3

本体 ¥4,200+税



毎日新聞 2018/04/29



完本春の城

石牟礼 道子 著

藤原書店

天草生まれの著者が、十数年かけた徹底した取材調査ののち完成させた、天草・島原の乱を描いた最高傑作「春の城」。取材紀行文「草の道」、多彩な執筆陣による解説、地図、年表、登場人物紹介、系図、関係図等を附した完全版。

2017:7./ 899p

978-4-86578-128-1

本体 ¥4,600+税



毎日新聞 2018/04/29



石牟礼道子全集・不知火<第12巻> 天湖ほか

石牟礼 道子 著

藤原書店

毎日新聞 2018/04/29

2005:5./ 517p

978-4-89434-450-1

本体 ¥8,500+税

